

訳語彙の研究

《資料編》 続 I

— 『辞林44年版(「明治版」)』 —

山本いずみ

報告番号 甲第 3382 号

《資料編》続 I

—『辞林44年版(「明治版」)』—

《資料編続 総目次》

- 《資料3》『辞林44年版（「明治版」）』に登録されたカタカナ見出し P 1
- 《資料4》『辞林44年版（「明治版」）』に登録された原語付き和語・漢語見出し、
および、語釈（の一部）として外来語を用いている見出し語 P 167
- 《資料5》『広辞林（「大正版」）』に登録された外来語見出し P 195
- 《資料6》『広辞林（「大正版」）』に登録された原語付き和語・漢語見出し、
および、語釈（の一部）として外来語を用いている見出し語 P 397
- 《資料7》『広辞林新訂版（「昭和版」）』に登録された外来語見出し P 767
- 《資料8》『広辞林新訂版（「昭和版」）』に新たに登録された原語付き和語・漢語見出し、
および、語釈（の一部）として外来語を用いている見出し語 P1111

《資料編続 I 目次》

- 《資料3》『辞林44年版（「明治版」）』に登録されたカタカナ見出し P 1
(P1 ~ P164)
- 《資料4》『辞林44年版（「明治版」）』に登録された原語付き和語・漢語見出し、
および、語釈（の一部）として外来語を用いている見出し語 P 167
(P1 ~ P 26)

《資料3》『辞林44年版（「明治版」）』に登録されたカタカナ見出し

『辞林44年版（「明治版」）』に登録されたカタカナ書きの見出し語およびカタカナ部分を含む見出し語を登録順に列挙する。

凡例

1. 各見出し語は、親見出し・子見出しを特に区別せず、登録順に挙げる。よって、必ずしも五十音順とはならない。
2. 「見出し」におけるひらがなとカタカナの使い分けは資料どおりとする。但し、語の区切りとしての「・」は、カタカナとカタカナの場合のみ残し、他の場合は省略した。
ex. アウト・カーブ → アウト・カーブ
あえん・イオン → あえんイオン
あ・せうさん・アミール → あせうさんアミール
3. 「漢字表記」ではそのままカタカナで表される部分は「ー」で表す。
ex. あえん・イオン → 亜鉛ー
あ・せうさん・アミール → 亜硝酸亜密爾
4. 「原語」および「出（出自）」は資料の原語欄に掲載されたものを用いた。語釈中に原語が示されている場合は、資料どおり語釈中に示した。
5. 「詞」は品詞を、「野」は分野を表す。この欄の記載内容も資料どおりとする。
6. 語釈はなるべく資料どおりに記載するよう務めたが、長すぎる場合は適宜省略し、旧漢字の一部は新漢字に直した。
7. 『辞林44年版（「明治版」）』の凡例は以下のとおりである。この凡例に基づいてカタカナ書きされたものをすべて挙げたため、『広辞林（「大正版」）』・『広辞林新訂版（「昭和版」）』ではカタカナ書きされていないものも含んでいる。

<参考>

『辞林44年版（「明治版」）』凡例

- 一、語詞の排列は五十音順に従ひ、促音は「ツ」の部に、撥音「ン」は最後、即ち和行の後に配置したり。
- 一、語詞の排列は歴史的假名遣に従ひ、尚、一般の便宜を計らんがため、其直下に標音的假名遣を記入し、これを表はすに細字の片假字を以てせり。
- 一、「イギリス」語・「フランス」語・「ドイツ」語・「ロシア」語・「スペイン」語・「ホルトガル」語・「オランダ」語・梵語・「アイヌ」語・琉球語・朝鮮語及漢字の唐宋音に屬するものは片假名を以て記し、其他のものと區別せり。
- 一、語詞の上に冠したる符號の中、は古語、は俚語、は字音たることを示す。故に、外來語にあらずして、何等の符號をも有せざるものは、古今に通じて一般に用ひらるゝ國語なりと知るべし。
- 一、語原に関する事項は著者自ら所見ありと雖も、古來、其説の紛々たるものに至りては、見ん人の紛亂を惹き起す基とならんことを恐れて、全くこれを除きたり。而して原義の轉々して漸次其意義を異にするに至りたるものは、①②③の符號によりてこれを區別し、力めて其例證を挙げん事を期したり。
- 一、本書には發音・難訓字音の三種の索引を設けたり。（以下略）
- 一、本書の編纂に関しては、足助直次郎氏終始予を助け、刻苦精勵克く其業を完からしめたり。茲に特記して謝意を表す。

見出し	漢字表記	原語	出 詞	野 語 釈
アークとう	一燈	Arc lamp	名	「ことう」(弧燈)に同じ。
アーク・ライ ト		Arc light	名	「ことう」(弧燈)に同じ。
アーチ		Arch	名	1. 石或は煉瓦等の材料にて、上部を圓く積み立てたもの。迫持ち(セリモチ)等。2. 杉・松等の緑葉を持って包み飾りたる弓形の門、多く祝賀のときなどに建つ。緑門。
アートタイプ		Artotype	名	一種の写真版、膠と重「クロム」酸との混合物の感光性を利用せるもの。
アームストロ ングはう	一砲	Armstrong gun	名	「イギリス」國「アームストロング」社にて製造する速射砲及鋼線砲の称。アームストロングが千八百五十四年に創案せし装施條砲に基因して…
アーメン		Amen	感	「キリスト」教徒が祈祷の終りに唱ふる語、もと「ヘブライ」語にて実といふ意を表す。
アール		Are	名	「フランス」國地積の名、一〇〇平方「メートル」、即ち我國の三十坪二合五勺。
アイス・クリ ーム		Ice-cream	名	一種の食品、最も普通なる製造法は、牛乳四合・玉子五個と砂糖三十目程の割合に混入して湯煎し、糖をまじり、製氷器に入れ氷結せしむるなり。氷菓子。
アイヌ		Ainu	名	北海道旧土人の称、元來彼等の語にて人類の義なるを、広くこれを以て其種族の名とす。
アイノ			名	「アイヌ」に同じ。
アイボリー		Ivory	名	厚くして光沢ある西洋紙、名詞等を作るに用ふ。
アウエルとう	一燈	Auer lamp	名	「はくねつとう」に同じ。
アウシキナ		Aush-kina	ア 名 植	毛茛科に属する多年草、北海道などに産す、茎の高さ二尺五寸許、六七月の頃、茎頂に小白花開く。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
アウト		Out	名 「ローンテニス」「ベースボール」などに用ふる語、技術を誤りて一点を失ひたること。
アウト・カーブ		Out curve	名 魔球の一種、打手より遠き方に曲がるもの。
アウン			名 仏 氣息の出入、悉曇音韻学により、アは一切開口の始め、ウンは諸声合唇の終りなればいふ。(阿呼。阿)
あえんイオン	亜鉛-		名 化 無色にして二価の陽イオン、高等生物に対して毒性あり。
アカ	關伽	Argha	梵 名 1. 仏に奉る供物。2. 水。
あかガツバ	赤合羽		名 紅がら色の桐油紙にて製したる合羽、徳川時代におもに卑賤なる者これを着用したり。
アカキ	關伽器		名 「アカ」を仏に供する器具。
あかゲツト	赤毛布		名 田舎より都会見物に出でたる人。
アカシア		Acacia	名 植 荳科に属する植物、温暖なる地方に産し、樹の高さ一二丈に及び、枝の末端に白き蝶形の花開く、樹幹は材木とし、或はアラビアゴムの製造に用ひらる。
アカダ	阿伽陀	Agada	梵 名 1. 一種の解毒剤、真言宗にて用ふ。2. 酒。
アカだな	關伽櫃		名 仏に供物などをそなふる櫃。
アカつき	關伽杯		名 仏に供物を盛りて奉る器。
アカデミー		Academy	名 西洋諸国の高等なる学校又は学士会院の称。
あかミソ	赤味噌		名 麦麴にて作りたる味噌。
アカみづ	關伽水		名 仏に供ふる水。
アカる	關伽井		名 仏に供ふる水を汲む井戸。
アカをけ	關伽桶		名 仏に供ふる水をくみ入るゝ桶。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
アカンサス		Acanthus	名 1. 【植】全世界に存し、鋸歯状の葉を有したる多年生蕨(草/刀)科の温帯植物。2. 「アカンサス」の葉を建築上に応用したる模様。
アクセント		Accent	名 発音の調子。音調。
あくソウ	悪僧		名 仏教の戒を守らず、道にそむきたる行為をなす僧侶。
あくマ	悪魔		名 善事に障害をなす妖怪。人の心を乱す悪霊。
アクロレイン		Acrolein	名 化 「グリセリン」を強熱する時に生ずる、無色にして不快なる刺激性の臭気をも有する液体。
あげマンヂユウ	揚饅頭		名 油にてあげたる饅頭。
アコ	下火		名 (字の唐音) 禪宗にて火葬のとき、死体に火をつくる法師の役名。(下炬)。
アコウ	榕		名 植 (語源不詳) 桑科に属する木、葉は革質にし、葉柄は細長なり、台湾地方等に繁茂し、樹幹は根を出だして成長繁茂す、…観賞用として栽培す。
アゴン	阿含	Agoma	梵 名 仏 1. 教法の義、特に釈迦牟尼仏の説けりし教法をいふ。2. 特に小乗を指していふことあり。
あさスハウ	浅蘇芳		名 すはう色の薄きもの。
あさひマンヂユウ	朝日饅頭		名 紅色にそめたる饅頭。
アザリ	阿闍梨	Acarya	梵 名 仏 (い) 師となるべき僧の称。(ろ) 僧の官名。
アさんれん	下三連		名 (アは下の唐音) 漢詩にて、一句の下三字が平ならば平三つ、仄ならば仄三つ、共に同じきものが揃ふこと、近体にては、忌むべきものとす。
アじくわん	阿字観		名 仏 悉曇音韻学にて一切の言語は、「ア」の音より出づといふより、阿字を觀ずれば一切諸法の本不生の義を觀じて、諸法の空に達し一切の障を断つといふこと。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
アジャリ	阿闍梨		名 仏 「アザリ」に同じ。
アシユラ	阿修羅	Asura	梵 名 1. 印度の鬼神。2. 【仏】六道又は六趣の一、業果拙きもの、生を撰する所に於て、常に闘戦絶えず怖無極なる四種ありて、普通には其第三なる変化生のものを指す…
アシユラかい	阿修羅界		名 仏 阿修羅の住する所。
アシユラだう	阿修羅道		名 仏 阿修羅界へ趣く道。
アシユラわう	阿修羅王		名 仏 力つよくたくましく、梵天・帝釈とあらそひて、正法をほろぼさんとしたる悪魔。
アスファルト		Asphalt	名 どれきせい。
アスベスト		Asbestos	名 いしわた。
アスラ	阿修羅		名 仏 「アシユラ」に同じ。
あせうさんアミール	亜硝酸亜密爾		名 化 揮発可燃性黄色透明の液体、果実様の臭気と灼熱様の味とあり、医薬として用ふ。
あせうさんアンモニウム	亜硝酸アンモニウム		名 化 結晶状の塊、漸解し易く分解し易し、窒素の製法に使用せらる。
あせうさんカリウム	亜硝酸カリウム		名 化 淡黄色の水に溶解し易き塩、普通にはに棒状として製す、人工色素を製するに用ひらる。
あせうさんソーダ	亜硝酸曹達		名 化 あせうさんナトリウム。
あせうさんナトリウム	亜硝酸ナトリウム		名 化 水に溶解し易き塩、その水溶液は弱アルカリ性の反応を呈す、硝酸ナトリウムを鉛と共に熱して製し、亜硝酸製法の原料とす。
あぜゴロウ	畦呉絛		名 呉絛の一種、あぜおりに織りたる呉絛服。
アセチレン		Acetylene	名 化 無色の気体、特殊の臭気あり、点火し易く、光輝める焰をあげて燃ゆ、炭化「カルシウム」に水を加ふれば発生す。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
アセト・アニリド		Acet-anilid	名 化 「アンチヘブリン」。
アセト・アミード		Acet-amide	名 化 錯酸「アンモニウム」を蒸留して生ずる無色の結晶体にして、水・「アルコール」に溶解す。
アセトン		Acetone	名 化 無色の液体、一種の香気あり、木材を乾溜するとき、「メチルアルコール」と共に生ず、其少量は尿中にあり、溶剤として用ひらる。
アソウギ	阿僧祇	Asamkhya	梵 名 仏 無数又は無央数と訳す、無限の長時間をいふ。
アソウギゴフ	阿僧祇劫		名 仏 「ゴフ」に同じ。
アゾくわがふたい	アゾ化合物	Azo compound	名 化 「ニトロベンゼン」と「アミットベンゼン」との中間に位すべき化合物。
あつさくくうきポンプ	圧搾空気唧筒		名 空気若しくは他の気体を圧搾して濃縮せしむるに用ふるポンプ。
アツシ	厚子	Attush	ア 名 1. 織物の名、「アツニ」の樹皮より製したる糸にて織りたるもの、「アイヌ」人の常用衣服に用ひらる。2. 織物の名、和泉国より産出せる厚き平地の木綿、…(厚司)。
あつしゆくポンプ	圧縮唧筒		名 あつさくくうきポンプ。
アツニ		At-ni	ア 名 植 楡科に属する喬木、高さ十丈に達す、供…北海道に産し、材木は種々の用に供せらる、「アイヌ」は此樹の皮にて「アツシ」を製す。
あづまコート			名 一種の被服、形は被布に似て長さ裾に及ぶ、羅紗・セルなどに仕立つ。
アトロピン		Atropine	名 化 莨(草/宕)・莨曼陀羅華等の茄科植物中に含有する「アルカロイド」、白色絹糸様の光沢ある針状の結晶体にして、一種不快の苦味を有す、劇薬にして眼に注入す…
アナナス		Ananas	名 植 鳳梨科に属する熱帯地方の常緑草、葉は大松の葉に似て、花は多数集まる、実(鳳梨)。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
アニスゆ	- 油	Anise oil	名 大茴香の種子より搾取したる無色又は淡黄色の芳香ある油液、食料及び医薬用とす。
アニリン	亞尼林	Aniline	名 化 無色油状の液体、石炭を乾溜するとき多量に発生する物質「ニトロベンゼン」を原料として多く用ひらる。「アニリン」。
アニリンえん	- 塩		名 化 「アニリン」の塩化物。
アニリンゆ	- 油		名 化 「アニリン」に同じ。
アネロイドせ いうけい	- 晴雨計	Aneroid barometer	名 金属の袋より成り携帯に便なる晴雨計、袋の表面は…盤面の目盛りを読み、大気の圧力を知るべし。
アノード		Anode	名 理 「やうきよく」に同じ。
アノクタラサ ンミヤクサン ボダイ	阿耨多羅三 藐三菩提	Anuttara-s amyak-sam- hodhi	梵 名 仏 无上正偏知又は无上正等正覚と訳す。諸仏折証の最上の妙道をいふ。无上道。涅槃界。
アノクボダイ	阿耨菩提		名 仏 「アノクタラサンミヤクサンボダイ」に同じ。
アバウラセツ	阿防羅刹	Avo-raksas	梵 名 仏 下方可畏鬼と訳す、獄卒にして牛頭人身牛蹄なるもの。(阿旁羅刹)。
あはせガツバ	裕合羽		名 裏をつけたる合羽。
アビ		Avici	梵 名 仏 無間と訳す、八大地獄の一、間断なく苦を受くるところ。
アビちごく	阿鼻地獄		名 「アビ」に同じ。
アプトしきて つだう	- 式鉄道	Abtrack railway	名 汽車の峻路を上下するに設くる鉄道、二條の軌鉄の中間に、更に齒のある一條の軌鉄を敷設し、其齒と機関車の中中央部に装置せる齒車の齒とくひあひて進行するもの。
あふとつレン ズ	凹凸-		名 理 一方が、凹にして、他方が凸なる球面を有せる「レンズ」。
あぶみガハラ	鏡瓦		名 丸瓦の軒のところに葺たるもの。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
あぶらガス	油瓦斯		名 石油に高熱を與へて気化したるもの、他の燈用ひらる。
あふレンズ	凹-		名 物 中央薄く、周縁に厚み、中心を通過し、光線を作るとなす。
アヘン	阿片	Opium	名 一種の薬品、罂粟の未だ熟せざる果殻に切傷を付し、その汁を乾燥して味毒を有す。
アヘン・タバ コ	阿片煙草		名 阿片を加へて製したる煙草。
アヘンちゆう どく	阿片中毒		名 阿片の毒に中りて発する病、頭痛眩暈し、呼吸不正、皮膚蒼白となり、精神異常を呈し、又昏睡状態に陥る。
アボイルデュ ボイスかう	- 衡	Aavoirdupo is	名 「イギリス」国及び「アメリカ」合衆国に於て通用する一「ポンド」となるもの。
アボウ	下棒		名 仏 (字の唐音) 禪師家が杖にて学徒をうつこと。
アボス			名 吸出の青葉。
アポストロフ		Apostrophe	名 英語等を綴る際、文字を抄略し、又は所有格をあらはす時に用ふる符号、o'clock又はa boy's、hat等に於ける'の如し。
アマ	尼	Anima	バ 名 1. 【仏】世を捨て頭髪を剃りて、仏門に入りたる女。「ピクニ」。2. 【婦人】をのゝしりて呼ぶ語。
アマがべに	尼紅		夕日の傾くころ、西の空の赤くやくること。ゆうやけ。
アマ	亜麻	Amama	羅 名 植 亜麻科に属する栽培草本、細き茎と帯紫色の花とを有す、茎より繊維を採り、種子より油を搾る、用途多し。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
アマイト	亜麻糸		名	亜麻の繊維より紡ぎたる糸、「テーブル」掛・敷布等を織るに用ふ、多く「フランス」国に産し、我国にては北海道より出づ。
アマかう	尼講		名 仏	寺院にて婦人の信者のより集まること。
あまガッパ	雨合羽		名	雨をふせぐ為に衣服の上に着るもの、多くは油紙にてつくる。
アマがほ	尼顔		名	粉飾せざる顔容。すがほ。
アマカワ	亜瑪港		名	清国広東省澳門即ち古昔の亜瑪港より舶来したりといふ上品の珊瑚。(亜媽港、天川)
アマごろも	尼衣		名	尼のきる衣。
アマさぎ	尼鷲		名 動	さぎの一種、大いさも形も普通の白鷲にひとしく、たゞ背に赤茶色の羽あるを異なりとす。
アマゼ	尼前		名	(尼御前の略) 尼を敬ひて呼ぶ称。
アマそぎ	尼削		名	女の児の髪を首の頸の程にて切りそろへたるもの。「みぐしーのほどにてゆらゆらと」。
アマそり	尼剃		名	アマそぎ。「一なるほどの眼の髪の入るを」。
アマだふし	亜麻艶		名 植	旋花(ヒルガホ)科の寄生植物、索麵の纏ひつきたる如く亜麻の幼茎に寄生し、遂にこれを斃す。
アマちよらう	亜麻女郎		名 動	燈蛾(ヒトリムシ)の一種、前翅は赤褐、後翅は赤色にして黒紋あり、幼虫は褐色の毛虫にして、亜麻及び萱科植物の害虫なり。
アマデラ	尼寺		名 仏	尼の住む寺。
アマにふだう	尼入道		名 仏	「アマ」によぼう。
アマにゆ	亜麻仁油		名 仏	亜麻の実より製したる油、黄色又は褐色を帯び、一種の臭気、有肉等を製するに用ひらる。蓖麻子油。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
アマにようば	尼女房		名 仏	在家のまゝ入道したる尼。
あまぶたガハラ	雨蓋瓦		名	隅棟の端の方にて、両方の庇の瓦の会したる所を覆ふ瓦、動物などを彫刻したるものあり。
アマほふし	尼法師		名	比丘尼「アマ」。
アマヤ	尼屋		名	尼のゐる家。
アマヤキ	尼焼		名	楽焼の一種、宗慶の妻貞林尼の焼きたるもの。
アマルガム		Amalgam	名 化	水銀と他の金属との合金。
アマルガムは	一法		名 化	「アマルガム」より水銀を蒸留し去りて、金属を析出すること。
アミーバ		Amoeba	名 動	原生動物の一、極めて微細なる虫にして、池沼などに生息す、軀體表より自在に突起を出没して、移行又は捕食を営む。
あみアンドン	網行燈		名	方柱形の鉄骨に鉄網を覆ひたる行燈、その一方を開閉して火を点す。
あみシャツ	網襪衣		名	糸の網にて造りたる汗取の「シャツ」。
アミダ	阿彌陀	Amitabha	梵 名	1.【仏】無量壽又は無量光と訳す、西方浄土にありといふ仏の名号。2.あみだくじ。3.車の輪の周囲の木。これに輪金を箱む。4.あみだかぶり。 あみだくじ。
アミダのひか	阿彌陀光			
アミダがさ	阿彌陀笠		名	後の方へ仰ぎてかぶりたる笠。
アミダかぶり	阿彌陀被		名	帽子を後頂にずらしてかぶること。
アミダくじ	阿彌駄籤			一種の遊戯、金額の多寡をしるしたる籤を引き、其しるしある金額を出し、あひ、物を買ひてこれを等分すること。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
アミダゴマ	阿彌陀護摩		名 仏 阿彌陀如来を祈念する為に燃く護摩。
アミダだう	阿彌陀堂		名 1.【仏】阿彌陀仏を安置したる堂。2. 茶の湯に用ふる釜の一種。
アミダブ	阿彌陀仏		名 仏 「アミダ」に同じ。
アミダブツ	阿彌陀仏		名 仏 前條に同じ。
アミダほふ	阿彌陀法		名 仏 滅罪生善の爲め、阿彌陀を祈念する密教の修法。
アミダわり	阿彌陀割		名 町の割方、東京の如く一の中心より大道を八方に散出するもの。ごぼんわりの対。
アミド	(石+鹵) 基	Amid	名 化 「アンモニア」中の水素の一部若しくは全部を酸基を以て置換して得たる化合物。
アミル・アルコール		Amyl alcohol	名 化 糖分の「アルコール」発酵に当たりて「エチルアルコール」に伴ひて発生する化合物、「フーゼル」油の主成分をなす所、発酵「アミルアルコール」は主として…
アミン		Amine	名 化 「アンモニア」中の水素を「アルキル」基を以て置換して得たる化合物。
アメーバ			名 動 「アミーバ」に同じ。
アメリカごけ	- 後家		名 「アメリカ」へ出稼せる人の留守する妻。
アメリカなで	- 撫子		名 植 石竹科の多年生草本、「ヨーロッパ」の原産なれど近來我國に移植す、茎の高さ一尺ばかり、葉は卵状披針形にして葉脈五条あり、庭園に栽培し、…
アメリカぼう	- 防風ふう		名 植 繖形科の一年草、葉の高さ二三尺、葉は複葉にして二乃至五の小葉よりなり、秋下種し、…
アメリカはぎ	- 萩		名 植 萱科の多年草、茎は高さ二三尺、毛茸を生じ、葉は三出、葉脈よりは紫紅色の縹状花を出し、甚だ美なり。
アメリカまつ	- 松		名 植 松柏科の植物、松に似て北「アメリカ」の西部に産す、船材又は建築材用とす。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
アメンドウ		Amendoa	ボ 名 植 (い) 1. 薔薇科の喬木、… 実は肉硬く、熟すれば裂開して核を現はす。2. 「アメンドウ」の核、其の仁を食ふべし。(ろ) 「カラ」も、の一名。(桃星壽)。
あやゴロ	綾呉絛		名 綾織の呉絛服。
あやラシヤ	綾羅紗		名 綾織の羅紗。
アラカ	阿羅訶		名 仏 「アラカン」に同じ。
アラカン	阿羅漢	Arhat	梵 名 仏 応供と訳す、見思の惑ひを断じて三界の生を受けず、智断の功を徳已に具して、人天の供養を受くる覚者の位地。
アラキ	阿刺吉	Arrak	蘭 名 古昔、和蘭より舶來したるアルコール性の飲料、波斯(ナツメヤシ)の発酵して常用す。(主として荒気)。
アラビアうま	亜刺比亞馬		名 動 「アラビア」種の馬、馬匹中最も優秀なる体格を具へた至るも、頭小く、生後遅緩なれど長寿を保つ。
アラビア・ゴム	亜刺比亞護	Gum Arabic	名 ゴムの一種、おもに「アラビア」に産する「アカシヤ」属の植物より採取したる白色乃至赤褐色の固体にして、種々の用に供せらる。
アラビアすうじ	亜刺比亞数字	Arabic figures	名 1・2・3・4・5・6・7・8・9・0の数字、「アラビア」に初まりし故に此の名あり。
アラビン		Arabine	名 化 無色硝子様の化合物、「アラビアゴム」の主成分にして、甜菜などにも含有せり。
あられカン	藪蕒		名 薯蕷を藪形に切りて入れたる羊蕒。
アランナ	阿蘭那		名 仏 次條に同じ。
アランニヤ	阿蘭若	Aranya	梵 名 仏 テラ。
ありのタフ	蟻塔		蟻の巢を地中につくるに、職蟻の地中を穿ち、其の土を地上に堆積したるものにして、高さ二尺に及ぶものありづか。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ありあけアン ドン	有明行燈		名 夜あけまで点しおく行燈。
ありうさんガ ス	亜硫酸瓦斯		名 化 にさんくわゆわう。
ありうさんナ トリウム	亜硫酸-		名 化 巨大なる結晶体にして容易に溶解又は風化する、写真の顕像薬に用ふ。
アリザリン		Alizarin	名 化 一種の染料、茜根より製したる赤色の結晶体にして、水に溶解せず、水酸化アルカリに溶解し、金属を溶解し、不溶解性物質を作る。
ありのタフぐ さ	蟻塔草		名 植 蟻塔科に属する小草、山野に生ず、茎細くして地上に延び、淡黄色の花を帯ぶ。
アリハイ			名 「アルハイ」に同じ。
アリル		Aally	名 化 炭水化合物、蕈・芥子中に存在し多く劇臭を有す。
アリル・アル コール		Allyl alcohol	名 化 「グリセリン」に沃化燐を作用せしめて沃度「アリル」を有する液体。銀を刺激して作用性の臭を有す。
アルカリ	亜爾加里	Alkali	名 加 金属又は「アンモニウム」の水酸化物、用して塩類「ナトリウム」等これなり。
アルカリきん ぞく	亜爾加里金 属		名 化 著しく「アルカリ」性を有する軟き白色の金属、「ナトリウム」「カリウム」等これなり。
アルカリせい はんおう	亜爾加里性 反応		名 化 赤色「リトマス」溶液又はこれを類似せる植物色素を青色に変ずる作用。
アルカリどき んぞく	亜爾加里土 金属		名 化 「カリウム」又は「アルミニウム」に類似する金属、多くは土中に存在す、「カリウム」これなり。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
アルカロイド		Alkaloid	名 化 植物中に存在する窒素化合物にして、炭酸基の作用をなすもの、其の種類甚だ多し、多くは烈しき毒物にして、又、有用なる薬剤なり。
アルキル		Alky	名 化 炭素の一分子と水素の二分分子とよりなる基。「メチル」「エチル」等これなり。
アルキルき	-基		名 化 前條に同じ。
アルコール	亜爾箇保兒	Alcohol	名 化 酒類の主成分にして、炭化水素の一群が水酸基によりて置きかへられたるもの、無色の液体にして、一種の芳香と苛味とを有す、…酒精。
アルコールい んれう	亜爾箇保兒 飲料		名 「アルコール」を含める飲料。
アルコールか んだんけい	亜爾箇保兒 寒暖計		名 「アルコール」を用ひたる寒暖計、その精密なるものは烈しき寒気を計る、これを液中に浮かして、…
アルコールち ゆうどく	亜爾箇保兒 中毒		名 「アルコール」の毒に中りて発する病、急性は眩暈・耳鳴・嘔吐等を催し、…精神に異状を呈す。
アルコール・ ランプ		Alcohol lamp	名 油の代わりに「アルコール」を用ふる「ランプ」、理化学の実験に用ふるもの。
アルコーレー ト		Alcoholate	名 化 「アルコール」類の水酸基の水素を金属にて置換したるもの、「ナトリウム」「メチレート」「ナトリウム」「エチレート」の如きはこれなり。
アルゴン		Argon	名 化 大気中に僅かに存在する気体、無色無味にして他の物質と化合し難し、然したる銅により、…熱したる「マグネシウム」により、窒素を除けば、これを集むることを得。
アルター	亜爾答亜	Althaea	名 植 錦葵科(ゼニアフィ)科の多年草、毎年宿根より数茎を出す、…根には「アスチン」・澱粉等を含み、薬用とす。
アルデヒド		Aldehyd	名 化 揮発し易く刺激性の臭気を有する液体、揮発し「アルコール」の不完全な酸化により生ず、還元性甚だ強し。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
アルパカ		Alpaca	名 1.【動】有蹄類に属する反芻動物、南米智利・秘露に産し、これを取りて混織物に用ふ。2.「アルパカ」の毛を裏地に用ふ。
アルハベツト		Alphabet	名 現今欧米各国に用いられる一種の音標文字、もとの「フエニキア」の文字を改造したものにして、a b c…の如く一定の順序に配列したるもの。
アルバム		Album	名 写真・絵葉書などをさしはさむ帖。
アルブモーゼ		Albumose	独 名 化 蛋白質の消化作用によりて蛋白質及び「ペプトン」間に生じたる中間物、水に溶解し、酸・「アルカリ」に溶解す、…
アルハイ	有平		名 「アルヘイル」に同じ。
アルハイざい	有平細工		名 「アルヘイル」にて色々の形に拵へたる菓子。
アルハイたう	有平糖		名 次前に同じ。
アルヘイル		Alfeloa	ボ 名 砂糖を煎じつめ、練りて飴のやうに固めたる物。氷系糖。
アルボース		Arbos	名 医 消毒剤の一種、帯黄白色の固体状の物質にして、樟脳と臭気ありて水に溶解し易し、石鹼又は軟石鹼となして、皮膚病及び寄生虫駆除に用ふ。
アルミ		Aluminium bronze	名 銅九分と「アルミニウム」一分とより成る合金、質堅く空気中にて変色せず、金色の光沢を放つ、装飾品に用ひらる。
アルミどう	-銅		名 前條に同じ。
アルミニウム		Aluminium	名 化 青白色の金属、天然には長石・雲母・鋼玉等の中に存在し、又、粘土・成性を富み、又、軽くして空気中に光沢を失はず、…
アルミニウム	-版		名 一種の印刷版、「アルミニウム」板を以て腐蝕し、石版に代用するもの。
ばん			

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
アルミンさん	-酸塩	Aluminate	名 化 水酸化「アルミニウム」が酸の作用を呈して生ずる化合物。
あわゆきカン	泡雪羹		名 鶏卵を加へて煮たる羊羹。
あをアン	青餡		名 白餡に青粉を混和したるもの。
あをカン	青羹		名 青菜を細かく刻みて煮込みたる羊羹。
あをヤウカン	青羊羹		名 青粉をまじへて煮たる薯羊羹。
アン	餡		名 (字の宋音) 1. 一種の食品、小豆を煮て摺り潰し、これに砂糖を混ぜて煮るもの。2. 一種の食品、葛粉に酒・醬油を和し煮て粘き汁となし、食物にくるもの。くずだまり。
アンかけ	餡掛		名 食品に、くずだまりをかくること。
アンかけうどん	餡掛饅頭		名 くずだまりを掛けたるうどん。
アンかけそば	餡掛蕎麦		名 くずだまりをかけたる蕎麦。
アンかけどう	餡掛豆腐		名 くずだまりを掛けたる豆腐。
アンギヤ	行脚		名 (字の宋音) 1. 諸国を巡りあるく僧。うんす。 「ツダ」。 2. 転じて、車馬によらずして徒歩遊歴すること。
アンぐう	行宮		名 («アン」は字の宋音) 天子行幸して仮にとゞきたまふ宮。「アン」ざい。
アンくわ	行火		名 («アン」は字の宋音) 火を入れて手足などを暖むる具。
アンころ	餡転		名 あんころもち。
アンころばし	餡転餅		名 あんころもち。
アンころもち	餡転餅		名 小片の餅に餡をまぶしたるもの。
アンざい	行在		名 («アン」は字の宋音) 「アンぐう」に同じ。
アンざいしょ	行在所		名 前條に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
アンモニウム みやうばん	- 明礬		名 化 硫酸「アルミニウム」に硫酸「アンモニウム」を加へて得たる白色の結晶体。
アンモニヤ	暗護尼亞	Ammonia	名 化 特種の刺激性の臭気を有する無色の気体、塩化「アンモニウム」に、二倍の生石灰を加へて燃焼し、よく水に溶解する。
アンモニヤす み	- 水	Liquid ammonia	名 化 「アンモニア」の水溶液、アルカリ性強く、医薬及化学上に多く使用せらる。
あんらくイス	安楽椅子		名 一種の椅子、普通のものよりは大形にして、よりかゝりて前後に動くことを得べき装置のもの。
いうげいザン マイ	遊芸三昧		名 遊芸にふけりて、他の事を忘るゝこと。
いうぜんカナ キン	友禪金巾		名 友禪染の金巾。
いうはうソウ	遊方僧		名 「あんぎやソウ」に同じ。
イオン		Ion	名 1.【理】電解物の電流によりて分離したる各部分。2.【化】溶液中に存在する独立成分。
いきボサツ	生菩薩		名 1.いきによらい。2.容貌美しくやさしき女。
いきホトケ	生仏		名 いきによらい。
イギリスまき	- 巻		名 女の髪結び方、横に長き束髪に、髷を出したるもの。
イサチン		Isatin	名 化 藍青の酸化により、又は真性「アミツド」安息香酸より化生する帯黄赤色の稜柱状の結晶体、温湯・酒精・苛性加里液に溶解す。
いしバチ	石鉢		名 石にて造りたる鉢、手水鉢などに用ふ。
いしボトケ	石仏		名 石にて造りたる仏像。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
イス	椅子		名 (字の宋音) 腰をかくる具、後ろによりかゝりあるもの。
イスランドご け	- 苔		名 植 地衣類の多年生隠花植物、高山に産し、体は扁平にして分枝し、縁辺には毛状突起を生じ、色は灰白にして少しく緑を帯ぶ、食用に供して滋養に富む。
いせすりバチ	伊勢搦鉢		名 多く伊勢より産する搦鉢。
いせバチ	伊勢鉢		名 「いせすりバチ」に同じ。
いたガラス	板硝子		名 「ガラスいた」に同じ。
いつサンマイ	- 三昧		名 仏 一念をこめて事をなすこと。一心不乱。
いつのブトン	五布蒲団		名 表裏ともに五巾の布にて仕立たる蒲団。
いハツ	衣鉢		名 「えハチ」に同じ。
いひバチ	飯鉢		名 めしびつ。めしバチ。
いもアン	蒭餡		名 さつまいもを蒸して磨りつぶし、これを砂糖とまぜたるもの。
いりガハラ	炒瓦		名 「いりなべ」に同じ。
イルマン			名 (葡 I r m a o 兄弟の義) 基督教の教職の中にて師父の次位にあるもの。
イルミネーション		Illumination	名 多くの灯火を点じて装飾すること。
いれブツじ	入仏事		名 1.仏事のいとなみの施物又は費用。2.【費用を出だしたるのみにて、其利益なきこと。
いろけしレンズ	色消-	Achromatic lens	名 理 色収差のなき「レンズ」。
いろはガルタ	伊呂波骨牌		名 一種の骨牌、一枚ごとに、伊呂波短歌一首づゝの趣を書き、これに首字をしるし、都合四十七枚あり、歌に合せて取るもの。
いんイオン	陰-	Anion	名 理 陰電気を担ふ「イオン」。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
インヴァーネス		Inverness	名	形二重廻に似て袖狭く丈短き表衣、羅紗などにて仕立つ。
インキ		Ink	名	西洋諸国にて用ふる墨汁。(洋墨)。
インク		Ink	名	「インキ」に同じ。
インクライン		Incline	名	傾斜面に鉄軌を敷設し、或動力によりて、船舶・荷物等を台架の上に載(ノ)せて昇降せしむる装置。
インスピレーション		Inspiration	名	神の靈を吹きこまれたるかの如くに感ずること。精神奮興して悲壮となること。(神来、感激)。
インチ	吋	Inch	名	英国にて用ふる長さの単位、一「フット」の十二分の一、我国の八分・三八一。
インヂウム		Indium	名	純白色の稀有なる金属、鉛よりやや軟く、赤熱すれば気体となる。
インデン	印傳		名	「インデンがは」の略言。
インデンがは	印傳皮		名	なめしがはの一種、羊又は鹿のかはを以て作り、袋物などにす。
インフルエンザ		Influenza	名	一種の伝染性の病、悪寒悪熱を生じて身体の違和を感ずるもの。流行性感冒。
ウーロンチャ	烏龍茶		名	台湾より産する茶、特種の製法によるものにして、紅茶と緑茶との中間物の如きもの。
ヴァイオリン		Violin	名	一種の楽器、西洋伝来のものにして、四弦を張り、小弓の弦を以て、これを鼓して鳴らす。
ウオター・シュート		Water shute	名	高き処より船に乗りて水の上にはすべり落つる遊戯。
ヴォルト		Volt	名 理	電流の単位の称にして、一「オーム」の電抵抗の導線に「アンペア」の電流を通過せしむる電圧をいふ、撰氏十度の於ける「クラーク」電流の両極の…

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
うきドック	浮船渠	Floating dock	名	空虚の鉄罐にてつくり、水上に浮沈して作業するドック、罐内の空気の量によりて浮沈し、船体を出入せしむ。
うぐひすカン	蒿羹		名	挽茶をませたる羊羹。
ウサン	胡叢		名	(字の広東音なりといふ)茶家に用ふる茶碗の名にして、名物七種の一。けんさん。
ウサン	胡散		名	(字の広東音なりといふ)あやしむべきこと。あやしきこと。うたがひ。ふしん。
ウサンがほ	胡散顔		名	ふしんらしき顔。「一なやつ」。
ウサンくさし	胡散臭		形	うたがはし。いぶかし。
ウサンらし	胡散		形	うさんくさし。
ウシチ	烏瑟		名 仏	(梵語 Usnisa の略言) 仏の三十二相の一、頭上の肉高く起りて髻(マゲ)の如きさまをなすもの。(肉髻)。
ウスサマ	烏瑟沙摩		名 仏	(梵語 Uccusamah 汚穢を転じて清浄ならしむる義) 明王を守る明王、真言宗にて祭る。
うたガルタ	歌骨牌		名	「カルタ」の一種、歌の下の句のみをふだに書きたるもの、今時行はるゝものは、多くは小倉百人一首を書きたるものとす、…
うたねんブツ	歌念仏		名	一種の俗謡、念仏に節をつけて歌ふことより出でたるもの、遂に種々の淫猥なる物語をも歌へり。
ウドンげ	優曇華		名	1. (「ウドン」は梵語 Udmbara (優曇鉢羅) の略、靈瑞又は瑞応と訳す) 想像上の植物… 2. 芭蕉の花の異称。3. 【動】くさかげろふ虫の卵が、他物に付着し…
ウニウ		Uneu	ア 名 動	「おつとせい」の称。
ウニコール		Unicorn	名 動	「いつかく」(一角)に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ウネウ		Uneu	ア 名 「おつとせい」の称。
ウバイ	優婆夷	Upasika	梵 名 仏道に入りたる在家の女、優婆塞の対。(信士女)。
ウバソク	優婆塞	Upasaka	梵 名 俗家にありて、仏門に入りたる男子の称。優婆夷の対。(信士男)。
ウボンさい	盂盆齋		名 「ウラボン」の一名。
うみホツス	海払子		名 動 「ホツスがひ」の一名。
ウラニウム		Uranium	名 化 「ウラン」に同じ。
ウラニウム・ガラス		Uranium-glass	名 「ウラニウム」の塩類を混ぜる「ガラス」、黄色を帯びよく燐光を放つて、「ガイスレル」管を製するに用ふ。
ウラボン	盂蘭盆	Ullambana	梵 名 (倒懸と訳す) 陰曆七月十五日に行ふ苦行の事、七世及び現世の父母の倒懸つりを救はんとなり。しやうりやうまつり。ボンを。たま、つり。ボンを。
ウラボン系	盂蘭盆会		前条に同じ。
ウラン		Uranium	名 化 「クロム」族に属する金属、甚だ稀なるものにして其主なる鉱石は「麗なる黄色の燐光を放ち、黒色の酸化物は、磁器の着色料に用ひらる。
ウルマン			名 「イルマン」に同じ。
ウロン	胡乱		名 (字の広東音なりといふ) あやしく疑はしきこと。合点のゆかぬこと。(涉疑)。
ウキウキけう	回回教		名 「フキフキ」教に同じ。
ウキきやう	茴香		名 植 (「ウキ」は字の唐音) 繖形科に属する栽培草本、特異の香気をもつ、果実は長楕円形にして薬用及食用に教せらる。クレのおも。(八月珠)。
ウキスキー		Whisky	名 酒精分強き一種の酒。
ウキラウ	外郎		名 (字の唐音にして明の歸化人外郎の売り始めたるより此名なりといふ) 「ウキウキけう」又は「ウキウキもち」の略言。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ウキラウぐす	外郎薬		名 相模国小田原より出す有名なる売薬諸病に効あるといふ。トウチンかう。
ウキラウまめ	外郎豆		名 植 「からすまめ」の一名。
ウキラウもち	外郎餅		名 一種の菓子、米の粉に砂糖を加へ蒸して製したるもの、周防国山口の産最も有名なり。
うゑきバチ	植木鉢		名 うゑ木をうゑおく鉢。(石盆)。
ウンしう	温州		名 植 (温州は支那の地名) 「ウンしうみかん」の略言。
ウンしうみかん	温州蜜柑		名 植 蜜柑の一種、赤色を帯ぶ、味最も美なり。うじゆきつ。
うんしよくガラス	量色硝子		名 光線を種々に反射して、量色を出すガラス。
うんどうのエネルギー	運動のエネルギー	Kinetic energy	理 物体が運動するとき有する「エネルギー」、質量と速度との平方の相乗積の半を以てこれを測る。
えうま	妖魔		名 1. えうくわい。へんげ。2. すべて人にわざわひをなすものの称。
エーカー		Acre	名 英国の地積の単位、我國の四段二十四歩にあたる。
エーテル		Ether	名 1. 【理】光・熱・電気・磁気の現象の想像的媒体、…2. 【化】一種の香気をもつ無色の液体、「アルコール」にして硫酸を混じて蒸留すれば…麻酔剤として用ひらる。
エール		Ale	名 淡色の麦酒。
エスペラント		Esperanto	名 (希望ある人の義、…発表せしときの匿名に出づ) 一種の万国共通語、「ポーランド」の医師「ザーメンホフ」…「フランス」国人「ポープロン」の修正せしもの、…
エツキス	越幾斯	Extractum	名 植物質又は動物質の浸液を蒸発濃厚ならしめたるもの、蒸発の度に依りて、流動のものと乾燥のものとの別あれど、…

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
エツキス		X	名 1.「アルファベツト」の一、未知数の符号に用ふ。2.転じて、未知数若しくは未知の物事にいふ語。
エツキスクわうせん	-光線	X ray	名 「エツキス」放射線に同じ。
エツキスふくしやせん	-放射線	X ray	名 「クルークス」管内にて放電するとき、管内より発出する一種の放射線、を包封物をおき、…
エニシダ			名 植 (蘭語より出づといふ) 莛(マメ)科に属する小木本、…花は黄色にして美しい(観賞用として栽培せらる。)(金雀枝)。
エネルギー		Energy	名 1.【理】仕事をなす得る能、…「エネルギー」及位置のエネルギー、…2.人の精力、仕事を為す元氣。
エネルギーの保存	-の保存	Conservation of energy	理 宇宙間にある物質の「エネルギー」は、種々其態を變じ、或は他に移行すといふこと。
えハチ	衣鉢		名 (袈裟と應器(鉢)との稱にして、始祖即ち達磨が、二祖より受けつた【仏】の妙義。2.転じて、受けつたる学問技芸などの妙義。
えハチをつたふ	傳衣鉢		師より其道の妙義をうけたるにいふ。
エボナイト		Ebonite	名 弾性「ゴム」に高き温度に於て、多量の硫黄を吸収せしめたるもの、弾性を失ひて、黒色の角機に用ひられ、又種々の制作に用ひらる。
エム			名 (Moneyの頭字をとる) (金銭の隠語)。
エル		Ell	名 布匹を測る西洋尺度の名、各国異同ありて一定せず。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
エルグ		Erg	名 理 -「ダイン」の力が、物体に作用して、これを「センチメートル」だけ動かす仕事。
エレキ			名 「エレキテル」に同じ。
エレキテル			名 理 (蘭語 Electriciteit の訳) 電気。
エレベーター		Elevator	名 電力・汽力或は水力によりて人又は貨物を上下に運搬する機械。(昇降機)。
えんくわアンモニウム	塩化-	Ammonium chloride	名 化 白色の固体、「アンモニア」と塩化水素との等容積を混じて製す、水に溶解し易く、其溶液は中性の反応を呈す。(石+鹼)砂。
えんくわカリウム	塩化-	Kalium chloride	名 化 白色立方体の結晶体、水に溶解易く、加里石塩として天然に産す。
えんくわナトリウム	塩化-	Natrium chloride	名 化 普通に塩又は食塩と称するもの。
えんくわマグネシウム	塩化-	Magnesium chloride	名 化 苦味を有する潮解性の結晶体、粗製の食塩の潮解し易きは、これを含むによる。
えんそさんカリウム	塩素酸-	Kalium chloride	名 化 水酸化「カリウム」の溶液を沸騰して結晶を析出せしめ、これを乾燥し、花火又は爆発物等に用ふ。
エンブ	閩浮	Yambu	梵 名 桃金娘科の落葉植物、葉は対生し、四月頃淡黄色の花を開き、深紫色の果を結ぶ。
エンブダイ	閩浮提	Yambu-dvipa	梵 名 この世。
エンブダゴン	閩浮壇金		名 エンブの大林中に河あり。果汁流れて河底の石を染めて金となしたるもの、其の色、赤黄にして紫焰を帯ぶといふ。
エンブちり	閩浮塵		名 この世の中の汚れたるものごと。
エンブのみ	閩浮身		名 仏 現世の人。凡夫。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
エンマ	閻魔		名 仏 (Yama 静息又は遠と訳す、不善を静息する義。又、Yama-raja 閻魔羅闍の略言にして、双王と訳す) 兄弟あり地獄の主にして、人の死後、其生前の善悪を判じて…
エンマがほ	閻魔顔		名 しかみづら。しぶづら。
エンマだいわう	閻魔大王		名 仏 「エンマ」の尊称。
エンマてん	閻魔天		名 仏 前条に同じ。
エンマてんく	閻魔天供		名 仏 「エンマ」天をまつるわざ。
エンマラ	閻魔羅		名 仏 (梵語閻魔羅闍の略、「エンマ」の条を見よ) 「エンマ」に同じ。
エンマわう	閻魔王		名 仏 「エンマ」の尊称。
エンラ	閻羅		名 仏 (梵語閻魔羅闍の略、「エンマ」の条を見よ) 「エンマ」に同じ。
エンラにん	閻羅人		名 仏 地獄の獄卒。
エンラわう	閻羅王		名 仏 「エンマ」の尊称。
オーバー・コート		Over-coat	名 外套。
オーバー・シューズ		Over shoes	名 雨天などの際、靴の上にはくゴム製の上靴。
オーム		Ohm	名 理 電気抵抗の単位、即ち起電力「ヴォルト」にて電流「アンペア」の通ずるとき抵抗にして、横断面「平方ミリメートル」長さ「一〇六・三センチメートル」の…
オーラミン		Auramine	名 塩基性の黄色染料、温湯及び酒精に溶解し、黄色を呈す。
おうじんブツ	応身仏		名 仏 色身を現じたる如来。
おきなアンドウ	翁行燈		名 古昔、芝居の顔見世の時に掛けし方形の「アンドウ」。
おくクフ	億劫		名 「おくコフ」の訛。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
おくコフ	億劫		名 1.【仏】一劫の万々倍。2.かぞへ盡しがたき数にいふ語。3.【なすに手おもきこと。ひまどること。
オクタント		Octant	名 物の角度を測るに用ふる器、三百六十度の周囲を八分したるもの。(八分儀)。
オクターブ		Octave	名 理 或振動数を有する音に対し、二倍の振動数を有する音。原音の対。
おしあげポンプ	押揚	Force pump	名 理 水を押し揚げて低所より高処へ送る「水ポンプ」、水を任意の高さに送ることを得。(押揚唧筒)。
おシヤリ	御舍利		名 1.「ブツシヤリ」の尊称。2.病死して白くなりたるかひこ。
オゾン		Ozone	名 化 無色にして僅かに塩素の如き臭ある瓦瓶に放電の際殊に雷鳴のときによく発生す、酸素の変質したるものにして、酸化作用甚だ強し。
おタバコぼん	御烟草盆		名 1.烟草盆の敬称。2.七八歳ぐらゐの少女の髪を結(ユ)ひ方、左右に分けたる髪を双方より併せて結ぶもの。
おつくフ	億劫		名 「おくコフ」の転。
オツコ			名 植 「オンコ」の一名。
おテラしゆう	御寺衆		名 僧の敬称。
おにガハラ	鬼瓦		名 屋根の棟(ムネ)の端におく瓦、能く鬼の面などに似せて製す、悪魔降伏のためなりといへり。(氏+鳥、吻)
おにへゴ	鬼杓(木+羅)		名 植 杓(木+羅)科に属する羊歯植物、木本状の被包を有す、觀賞用として栽培せられ、又、種々の用に供せらる。
おハチ	御鉢		名 飯を入る、桶。めしびつ。おひつ。
おハチがまはる			順番が来る。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
オペラ		Opera	名 劇詩と音楽とを合せ、これに身振を加へて演ずる西洋の演劇。
おほゲサ	大袈裟		名 1. さきほどにも無きことを大きくいふこと。おほぎやう。2. 肩より斜に切りおろすこと。「ーに切り払ふ」。
おほボトケ	大仏		名 巨大なる仏像。だいブツ。「奈良におはすー」。
おほマンヂユウ	大饅頭		名 1. 饅頭の大なるもの。2. 「おほマンヂユウしころ」の略言。
おほマンヂユウしころ	大饅頭鉦		名 兜(カブト)のしころの一種、饅頭の形にかたどり作りたるもの。
オムレツ		Omelet	名 一種の料理、玉子と牛乳と若しくはそれに肉片を混じたるものに、胡椒を加へ脂にて焼きたるもの。
オムレツト			名 「オムレツ」に同じ。
オリーブ	阿列布	Olive	名 植 木犀科の常緑木、…夏秋の間、複総花序の小白花をつく、果実よりオリーブ油をとるべし。
オリーブいろ	阿列布色		名 深緑色。
オリーブゆ	阿列布油		名 オリーブの果実より採りたる油。
オルガン		Organ	名 西洋より伝来したる一種の楽器、…学校にて、唱歌を教ふるとき又は「クリキルスト」教会にて、賛美歌を唱ふる「オルゴル」。
オルゴル		Orgel	名 蘭 1. 「オルガン」に同じ。2. 西洋伝来の一種の楽器、…それにより回転する「シリンドル」の刺が、他の歯状の鋼鉄に触れて音を発す。(自鳴琴)。
オリーブ	阿列布	Olive	名 植 「オリーブ」に同じ。
オリーブゆ	阿列布油	Olive-oil	名 「オリーブゆ」に同じ。
オンコ			名 植 「いちひ」の一名。
オンス	㊥	Ounce	名 英・米両国に於ける衡量の単位、「アウオイルデユボイス」衡にては、「ポンド」の…「トロイ」衡にては、「トロイ、ポンド」の十二分の一にして、…

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
オンムン	諺文		名 (字の朝鮮音)朝鮮の国字、子母二十三よりなる写音文字にして、其中の八字は現今用ひられず、…梵字に倣ひて数個の文字を造り、これを基礎として…(鬼文)。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
カーキ		Khaki	名 (きたな色の義) 近時おもに陸軍の軍服に用ひらるゝ茶褐色の色。
ガーゼ		Gase	独 名 消毒したる粗き木綿、外科療用のもの。
カード		Card	名 1. 厚紙の小片。ふだ。2. 骨牌。
カードしき	- 式		名 簿記法にて、各個の口座を各個の「カード」に記載して勘定整理するもの。
カーバイド		Carbide	名 「たんくわカルシウム」に同じ。
カーブ		Curve	名 野球にて投手の投ぐる珠が打手の前にて不意の方向に転ずること。
ガイスレル・くわん	- 管	Geisslers' tube	名 理 甚だ希薄なる瓦斯を充(ミ)たせる玻管の両端に電流を付したるもの、これを感應「コイル」に絡ぎ…「ドイム」人「ガイスレル」氏…「ウラニウムガラス」にて作るときは…
かいヲシヤウ	戒和尚		名 仏 戒を授くる和尚。
カウカシアン		Caucasians	名 世界三大人種の一、骨格最も優秀なるものにして、皮膚白く紅色の毛髪は柔軟にして巻曲し、額高く鼻高し、「一口ツバ」体の人民は多くは此種に属す。(高加索人種)。
かうソウ	高僧		名 1. 徳行すぐれたる僧。2. 官位高き僧。
カウチ	交趾		名 古昔、安南国より舶来せし陶器の称。
がうマ	降魔		名 あくマを降服せしむること。
がうマのけん	降魔剣		名 不動明王が手にせる剣。
カウライ	高麗		名 朝鮮産の陶器の総称。(茶人の語)。
カウライうぐひす	高麗鶯		名 動 うぐひすの一種、形は鶯(ツグミ)大にて、腹部は白く、頭部・背部は黄緑色なり、これが如き調子にて鳴く。(「麦+鳥?」(古+鶯))。
カウライしば	高麗芝		名 植 しばの一種、茎短く葉細くして美し。ひめしば。(鼓筆草)。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
カウライせき	高麗石葛		名 植 せきしやうの一種、葉細し。(銭蒲)。
カウライせん	高麗煎餅		名 煎餅の一種、饅頭粉を原料としたる小形のもの。
カウライちやわん	高麗茶碗		名 朝鮮より舶来せるちやわん。
カウライで	高麗手		名 「カウライやき」に同じ。
カウライベリ	高麗縁		名 畳のへりの一種、白地の綾に、模様を黒く織り出したるもの。
カウライもん	高麗門		名 普通の屋根の外に、左右のひかへ柱の上にも屋根ある門。
カウライやき	高麗焼		名 朝鮮にて焼きたる陶器の総称。カウライで。
カカオ	加加阿	Cacao	名 1. 【植】梧桐科に属する木、熱帯植物にして、「アメリカ」及西「インド」等に産す、…2. 一種の飲料、「カカオ」樹の仁を…通常「ビスケット」の如き形に製し、…
かがみブトン	鏡蒲団		名 へりを取りたる蒲団、形鏡に似たればいふ。
かぎタバコ	嗅煙草		名 煙を吸はず火を付けず、只鼻にて其香を嗅ぐための粉煙草。
カグナミ	江南		名 (字の朝鮮音) 刀のつばの一種。
かけアンドン	掛行燈		名 柱などにかけておく行燈。
かさいねんブツ	葛西念仏		名 1. 徳川時代に、武蔵国葛西の農夫が、笛又は太鼓の囃し(ハヤシ)につれ、…2. 芝居にて、鐘・太鼓・三味線の三曲をもて囃し(ハヤ)すこと。
かさねガハラ	重土器		名 三つ組みなどの如く重ねるカハラけ。又、定まれる献酬の外にかさぬる盃。
かさバチ	瘡鉢		名 【小児の頭瘡(ツサウ)】。
カシミヤ		Cashmere	名 舶来の織物、地質強く光沢多く、且皺を生ぜず、多く女学生の袴地に用ひらる。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ガス	瓦斯	Gas	名 1. 流動し易くして且一定の体積を有せざる物質…気体。2. 「せきたんガス」の略言。3. 「ガスとう」の略言。4. 「ガスいとおり」の略言。
ガスいと	瓦斯糸		名 瓦斯にて、つやをつけて練(ネ)りたる糸。
ガスいとおり	瓦斯糸織		名 「ガス」糸を経(タテ)緯(ヨコ)にしておりたる織物。
ガスきくわん	瓦斯機関	Gas engine	名 石炭瓦斯を活塞を具へたる円筒内に導き、これに点火して爆発せしめ、活塞を動かして動力を生ぜしむる装置の機関。
ガスけいりやうき	瓦斯計量器		名 「ガスメートル」に同じ。
ガスたい	瓦斯体		名 気体。
ガスため	瓦斯溜	Gas-holder	名 瓦斯を貯へおき随時所要の量だけの供給する器、水上に浮べたる…瓦斯の入る重さにて下るやうの装置にしたるもの。
カステイラ	粕底羅	Castella	ボ 名 一種の菓子、鶏卵と砂糖とを小麦粉にもまぜ、鍋にて蒸焼きにしたるもの、いふと、西班牙のCastillaといふ地より製出せしが故に此名ありといふ。(卵糖)。
カステラ			名 前条に同じ。
ガスとう	瓦斯燈	Gas-burner	名 石炭瓦斯を管に通しこれに点火する装置の燈。(煤気燈)。
ガスはつどうき	瓦斯発動機	Gas engine	名 「ガスきくわん」に同じ。
ガス・メートル	瓦斯米突	Gas-meter	名 石炭瓦斯の産出高又は消費高を計る一種の器械。
かせいカリ	苛性加里	Caustic potash	名 化 水酸化「カリウム」に同じ。
かせいソーダ	苛性曹達	Caustic soda	名 化 水酸化「ナトリウム」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
カセイタ	梨(米+恙)		名 (外国語なるべきも原語不明) 梨に砂糖を混じて製したる菓子。
カゾアル		Casuar, Cassowary	名 動 («ボルトガル」語Casuarの訛。「イギリス」語Cassowary)「ひくいどり」の一名。
かソウ	加僧		名 会式などのすけに出る法師。
カタル	加答兒	Catarrh	名 粘膜に(火+欣)衝などを起すこと。「腸-」。「胃-」。
カタンいと			名 («カタン」は英語、Cotton)もと舶来したる綿糸、もろよりにして光沢よし。
がちやがちや タバコ			名 文化以前に、わらびでの績つきたる引出に、刻煙草をふたかには並べ入れ、がちやがちやと音を立て、売りあるきしもの。又、其刻煙草。
ガットリング ほう	-砲	Gatling gun	名 「ガットリングほう」に同じ。
カツバ	合羽		西 名 («スペイン語Capaから…)1.雨天の外出などに用ふる外套、「スペイン」人の外套…(雨衣)。2.荷物又は駕籠などの雨被りに用ふる桐油紙。3.見世物などの木戸口に…出方の男…
カツバかご	合羽籠		名 古昔、貴族の外出するとき、供人の雨具を入れて、奴に持たせたる具、前後に一つづ、付け、棒にて肩に荷ふもの。
カツバざる	合羽箆		名 「カツバかご」に同じ。
カツブリ			名 西洋こがたなのたぐひ。
カツベル		Kagchel	蘭 名 「ストーブ」。暖炉。
カツマ	羯磨	Karma	梵 名 仏 1.受戒の儀式・作法。2.仏器、独鈷を二本なゝめに打ち違へたるもの。
ガツマル		Gajimari	琉 名 植 桑科の喬木、つばきに似、長き気根を出す、材は細工用とす。
カツレッツ			英 名 («Cutletの誤読)一種の料理、おもに獣肉をヘットにて揚げたるもの。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語	語釈
カドミウム		Cadmium	名	化	白色の光沢を帯びたる金属、亜鉛より稍や重く錫より稍や堅く、延性及展性に富む。
カトリックけうくわい	加特力教会	Catholic Church	名		異端に対して、全基督教を統合したる正統の教会の称、後プロテスタント教会の起るに及びて法皇管下の教会を称す、…旧教。
ガトリングはう	一砲	Gatling gun	名		機関砲の一種、北米合衆国人「ガトリング」氏が千八百六十二年頃の発明にかゝる、…
カナキヌ	金巾		名		「カナキン」の転。
カナキン	金巾		ボ名		(Canequinより出づ)一種の綿布、綿を糸となし、堅く縫(ヨ)りて目を堅く細かく織り成したるもの、幅広くして普通の木綿巾に倍す。
かなブツ	金仏		名		1. 金属にて作りたる仏像。木仏などの対。2. {感情の極めて冷かなるものを罵りていふ語。
かなボトケ	金仏		名		金属にて作りたる仏像。かなブツ。
カナリア	加奈利亜		名	動	(大西洋中「スペイン」領Canaria諸島の原産なるを以て名づく)燕雀類中すゞめ科に属する鳥、…(金糸雀)。
カネキン			名		「カナキン」に同じ。
かのごマダラ	鹿子斑		名		鹿の毛の斑。又、それに似かよひたる模様。「-の雪はふりけり」。
カノンほう	加農砲	Cannon gun	名		強き装薬を用ひて平射を行ふ火炮、砲身長く、弾丸は極めて遠距離に達す。
カハラ	瓦	Kapala	梵名		泥にてこしらへ、蒸し焼きにしたるもの、おもに屋根を葺(フ)くに用ふ、其形種々あり。「おに-」。「ひら-」。
カハラがま	瓦窯		名		瓦を蒸し焼きにする竈、土を鍛頭の如くに積みてつくる。すゑがま。
カハラけ	土器		名		(瓦筒の義)1. 釉(クスリ)をかけぬ土焼の陶器の総称。2. 土焼の盃の特称。(瓦器)。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語	語釈
カハラけな	土器菜		名	植	葉草科に属する草、葉は円形をなし、花は小形にして青色を呈す、…嫩葉は食ふべし。
カハラし	瓦師		名		1. 瓦を焼く職人。2. 瓦屋根を葺(フ)く職人。
カハラせんべい	瓦煎餅		名		屋根瓦の形につくりたる煎餅。
カハラび	瓦樋		名		瓦を円く組み立て、こしらへたる樋。「路にふせたる、-の」。(瓦竇)。
カハラぶき	瓦葺		名		1. 瓦にて屋根を葺(フ)くこと。又、其屋根。2. 寺の称。(齋宮の忌詞)。
カハラまつ	瓦松		名	植	「つめれんげ」の一名。
カハラや	瓦屋		名		1. 瓦葺の家。2. 瓦を売る家。又、瓦師。
カハラやね	瓦屋根		名		瓦葺の屋根。
カバン	鞆		名		「ズック」・革などにて、外面を包みたる携帯用又は旅行用の匣又は行李。(革包)。
カピタン	加比丹		名		(「オランダ」語Kapitein、又、「スペイン」語Capitan) 1. 徳川時代に、年々長崎へ来りし、西洋船の船長。2. 又、其西洋船の齋(モタラ)し、綿の織物の称。
カフス		Cuffs	名		洋服を着するとき手首に着くる飾、布もて作り、蠟引又は護引にしたるもの、「ホワイトシャツ」の手首にあたる所にも附けあり、色はおもに白を用ふ。
かぶとバチ	兜鉢		名		1. 兜の頭を、おほふ部分の称。2. 縁の広くはりいでたる鉢、天麩羅屋などにて饅頭の粉を溶(ト)くなどに用ふるもの。
かベチヨロ	壁著羅		名		かめあやに似たる一種の絹布、ちぢれてちぢみの如き細かき文を表はしたる地合厚きもの。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
カボチャ	南瓜		名 1. (印度支那の Cambodia より伝来せしが故に此名あり) 【植】 葫蘆科に属する蔓草、… (番南瓜)。2. 「カボチャやらう」の略言。
カボチャやらう	南瓜野郎		名 男子を罵りていふ語。
かみガッパ	紙合羽		名 桐油紙にて造りたる「カツバ」、雨を防ぐために、物に被らせ又は身にまとふもの。
カミツレ			名 植 「カミルレ」の説。
カミルレ	Kamille	蘭	名 植 菊科に属する草、外国より伝へしものにして薬用とす。
カメ			名 { (「イギリス」語にて、Come (来い) と犬を呼べるを聞き訛りての称) 西洋種の犬の総称。洋犬。
カメラ	Camera		名 「あんばこ」に同じ。
カメレオン	Chameleon		名 動 蜥蜴類に属する爬虫、… 「アフリカ」の北方海岸に棲息し、時々其色を変ずる奇性あり。
カラ			名 1. 古昔、朝鮮の称にいひし語。(韓) 2. 古昔、支那の称にいひし語。(唐)
カラ-			頭 1. 或語に冠して、外国より舶来したる意を表はす語。「-綾」。「-紅」。 2. 或語に冠して、支那又は朝鮮の意を表はす語。「-びと」。「-やう」。
カラー	Collar		名 洋服の付属品、「シャツ」の襟さきに現はし頭に纏ふ一種の飾、通常白色なり。
カラあふひ	唐葵		名 植 錦葵(ゼニアフビ)科に属する草、… 茎皮より繊維を採るべく、又、鑑賞用として栽培せらる。はなあふひ。(蜀葵)。
カラあや	唐綾		名 うき織に織りたる綾。
カラあゐ	韓藍		名 植 鶏頭花の一名。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
カラいと	唐糸		名 綾に組みたる糸。「其上に一の網をかけ」。
カラいも	唐薯		名 植 「さつまいも」の一名。
カラうす	唐白		名 うすの一種、地を掘りてこれを据ゑ、足にて杵(キネ)の一端を踏み、其中に入れたたる穀類などを挽く装置のもの。ふみうす。(碓)。
カラうすのさを	唐白杵		名 カラうすの杵。きね。
カラうた	唐歌		名 支那の歌即ち漢詩。やまとうたの対。
カラうと	唐櫃		名 1. カラびつ。2. ひつき。
カラうど	唐櫃		名 前条に同じ。
カラうめ	唐梅		名 植 (後水尾天皇のとき、朝鮮より献上したりしよりいふ) 「らふばい」の異称。
カラうり	唐瓜		名 植 「カボチャ」に同じ。
カラえ	唐荏		名 植 「たうごま」に同じ。
カラおり	唐織		名 「カラおりもの」の略称。
カラおりにしき	唐織錦		名 蜀江の錦に擬して織りたる一種の錦、其模様は花鳥等種々あり、能狂言の装束などに用ふ。
カラおりもの	唐織物		名 唐より渡来せる織物。
カラかぎ	鈍鍵		名 (韓鍵の義といふ) かきがね。
カラかさ	傘		名 (唐笠の義) 雨雪又は炎天にさして身を覆ふ長、割竹を骨とし、油紙などを張り、轆轤によりて開閉し得るやうにつくる。さしがさ。
カラかね	唐金		名 (製法の支那より伝はりたるより此名あり) 銅の合金の一種、其割合は銅五三六乃至八の四と亜鉛一乃至三二乃至四の合金より成り、… (紫銅、青銅)。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
カラかは	唐皮		名 1. 虎の毛皮の一名。「一の尻鞆」。2. 「オランダ」より舶来の紋革。
カラかみ	唐紙		名 1. 種々の模様ある麗(ウルハ)しき紙、おもに襖(フスマ)に張る。2. 「カラかみしやうじ」の略言。
カラかみしやうじ	唐紙障子		名 唐紙を張りたる障子。ふすま。
カラき	唐木		名 (もと支那より舶来したるよりいふ) 熱帯植物なる紫檀・黒檀・白檀などの材木の称。
カラきざいく	唐木細工		名 唐木にて花台・茶櫃・机等種々の器具を作ること。又、其器具。
カラぎぬ	唐布		名 古昔の婦人の礼服、形は今の羽織に似て、胸は袖よりも短く、上着のうへに着しもの、紋様ある綾を用ひて仕立てたり。(襦子)。
カラくさ	唐草		名 蔓草の種々に這(ハ)ひまとふ模様。
カラくさカハラ	唐草瓦		名 端に唐草の模様ある平瓦、多くは軒の端に用ふ。
カラくしげ	唐匣		名 くしばこの上品なるもの。
カラくに	唐国、韓国		名 支那又は朝鮮の称。
カラくは	唐桑		名 1. 支那より舶来する桑の材木。たうぐは。2. 【植】「いつき」の一名。
カラくみ	唐組		名 糸を組み合はせて、美しき模様を織り出したる帯。
カラくら	唐鞍		名 古昔、飾馬に用ひし馬具、雲珠(ウズ)などの飾あるもの。うずぐら。
カラくれなる	韓紅		名 韓より渡来したるくれなる。麗しき深紅の染色。「一に水くゝるとは」。
カラクンてう	唐国鳥	Kalkoen	名 動 「しちめんてう」に同じ。
カラこ	唐子		名 1. 絵模様などに画く支那風の打扮(ナリ)したる小児。2. 「カラこにんぎやう」の略言。3. 「カラこわげ」の略言。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
カラこざね	唐小札		名 鏡のこざねの一種、一枚ごとに上へ打ち出だしたるもの、慶長の頃、多く行はれたり、こざねの極品とす。
カラこと	韓琴		名 琴又は箏の総称。やまごとの対。
カラこにんぎやう	唐子人形		名 唐子の姿したる人形。からこ。
カラころも	韓衣		名 1. 朝鮮の衣服。2. 古代の衣袍。(衣+替)子)。
カラころも	韓衣		枕 「きる」に冠らす詞。
カラこわげ	唐子髻		名 「カラわ」に同じ。
カラこをどり	唐子踊		名 唐子の扮装(ナリ)してなす踊。
カラしし	唐獅子		名 動 獅子をゐのしゝと区別していふ語。「牡丹にとらう」。
ガラス	硝子	Glass	名 堅く脆う(モロ)く透明なる物質…「ソーダ、ガラス」一名「クラウン、ガラス」、「カリ、ガラス」…通常「ガラス」といふは、おもに「ソーダ、ガラス」を指す。…
ガラスいた	硝子板		名 硝子の平面なる板。
ガラスうつし	硝子写		名 写真にて硝子の板に映像をうつすこと。又、其写真。紙写の対。(硝子撮)。
カラすき	唐鋤		名 柄曲がりて刃広き鋤、多く牛につけて田畑を耕すに用ふ。うしぐは。(犁)。
カラすきぼし	唐鋤星		名 二十八宿の一、即ち、参宿の一名、三個の星のならびたる形、カラすきに似たるより此名あり。みつぼし。(参星、犁星)。
ガラスきり	硝子切		名 「ガラス」を切るための具、「ペン」(弓+巴)形の柄の端に鉄を嵌(ハ)め、これに小さき金剛石を着けたるもの。
ガラスしやう	硝子障子		名 紙を張るかはりに、硝子板をはめこみたる障子。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ガラスど	硝子戸		名 「ガラスしやうじ」に同じ。
ガラス・ピン	硝子壺		名 硝子にてつくりたる徳利。
ガラスまど	硝子窓		名 硝子を張り又は硝子障子をたてたる窓。
カラすみ	(魚+鼠)		名 (唐墨の義) 一種の食品、さはら・ぼら・めなだ等の子を胞袋のま、乾して製せるもの、形唐墨に似たれば名づく、肥前国野母(ノモ)の名産。
カラずみ	唐墨		名 1.支那製の墨。たうぼく。2.【鉞】黒色の琥珀。
カラだいわう	唐大黃		名 植 「おほし」に同じ。
カラだけ	漢竹		名 植 「かんちく」に同じ。
カラたち	枸橘		名 植 (唐橘の義) 芸香科に属する植物、刺多し、葉は三個の小葉より成り緑色にして光沢を有す、…きこく。(枳殼)
カラたちばな	唐橘		名 植 紫金牛(ヤブカウジ)科に属する植物、…果実は紅色なり、観賞用として栽培せらる。(平地木)。
カラたま	唐玉		名 外国より舶来せる玉。
カラちや	唐茶		名 支那流にたてたる煎茶。
カラット		Carat	名 合金中に含む金の割合、純金を二十四「カラット」とし、十八「カラット」は十六分又は十六分の金を含むこふ。
カラつばき	唐椿		名 植 つばきの一種、支那より渡来したるものにして、通常のつばきよりは葉細長しくして厚し、花もまた大形にして麗しき紅色を帯び牡丹に似る。(蜀茶)。
カラと	唐種		名 1.「カラうと」の略言。2.「こめびつ」の一名。
カラど	唐戸		名 縦の中央に一本、横に数本さんを入れたる左右対する開戸。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
カラなし	唐梨		名 植 薔薇科に属する植物、…木材は種々の用に供せられ、果実はまた食用に供せらる。ペにりんご。
カラなつめ	唐棗		名 植 棗の変種、…秋熟して赤色となる、仁は固く太く薬剤に供せられ、木材もまた種々の用に供せらる。
カラなでしこ	唐撫子		名 植 「かはらなでしこ」の一名。(石竹)
カラにしき	唐錦		名 支那より渡来し又は韓人の制作に成れる錦。又、金糸をいれて織りたる錦。やまとにしきの対。
カラのかしら	唐首		名 犂牛(バウギウ)の毛を上にはりたる兜(カブト)。
カラはなさう	唐花草		名 植 桑科に属する草、…果実はまつかさにも用ひらる。麩睡薬に用ひ、又、麦酒の醸造にも用ひらる。
カラハニ			名 「ガルハニ」に同じ。
カラはふ	唐破風		名 破風を乙字形に似たる曲線状に作りたるもの、玄関又は門などの屋根の飾として用ふ。
カラびつ	唐櫃		名 支那風に作りたる脚ある櫃。「つは者共、一に走せ寄って」(辛櫃)。
カラびと	唐人、韓人		名 支那又は朝鮮の人。
カラひわ	唐鶴		名 動 「ひわ」(鶴)の一名。
カラフトだま	唐太玉		名 満州より唐太を経て、内地に來れるねり物の玉、色青し、煙草入の緒締(ヲジメ)などに使用す。むしのす。
カラふね	唐船		名 朝鮮又は支那の船。又、其他一般の外国船。
カラぶみ	漢書		名 支那の文書。漢文の書籍。かんしよ。
カラぶみよみ	漢書読		名 1.漢書の読みかた。2.漢書を読む人。
カラまつ	唐松		名 1.【植】松杉科に属する落葉木、…木材は種々の用に供せられ、観賞用として栽培せらる、…てうせんまつ。シンラしよう。2.「カラまつせんべい」の略言。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
カラまつせき	唐松石		名 動 きくめいしの大いなる模様の現はれたるもの。
カラまつせん べい	唐松煎餅		名 カラまつの葉の形したる煎餅。
グラム			名 {「グラム」の説。
カラめかす	唐風		動 唐様になる。
カラめく	唐風		動 唐様に見ゆ。
カラもの	唐物		名 唐土より舶来せる雑貨。
カラもののつ かひ	唐物使		名 古昔、唐土の商船筑紫に着したるとき、其舶載せる雑貨を換するため、京都より出張せし使者。
カラもも	唐桃		名 植 (い)杏(アンズ)の一名。(ろ)桃の一種、葉細長し、花はしげくして紅白色なり。
カラもん	唐門		名 唐破風(カラハフ)の屋根にて、唐戸をたてたる門。
カラやう	唐様		名 1.支那の風。2.支那流の書風。和様の対。3.行・草以外の書体、即ち、楷・篆・隸などの書体の称。
カラやうかき	唐様書		名 からやうの文字を書く人。
カラよもぎ	唐艾		名 植 菊の一名。
カラわ	唐輪		名 (婦人の髪)の結(ユ)い方(い)髻(モトドリ)を束ねて其上部を輪につくりたるまげ、…(ろ)髻より上を二つに分け額の上にて二つの輪をつくりたるもの、…
カラみしき	唐居敷		名 支那風に門の柱の下に敷たる木。
カラゑ	唐畫		名 支那人の手に成りたる畫。又、支那人の筆法にならひたる畫。倭畫の対。「一の山水」。
ガラン	伽藍	Samgharama	梵 名 (梵語 Samgharama (僧伽藍摩)の略、僧園又は精舎と訳す)衆多の僧の遊歩修行する場所。テラ。「七堂」。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
カリ	加里	Kalium	名 化 「カリウム」に同じ。
カリウム	加(人+留)母	Kalium	名 化 銀色をなす脆(モロ)き金属、水に遺(ア)ひ水素を遊離して水酸化「カリウム」となり、…天然には長石・明礬等となりて存在す。
カリ・ガラス	加里硝子	Potash glass	名 おもに「カルシウム」及「カリウム」の硫酸塩より成る「ガラス」、「ガラス」の中にて最も融解し難く…多く化学用器具製作に用ひらる。
カリテイも	迦梨帝母	Hariti	梵 名 仏 鬼子母神。
カリヨウビン ガ	迦陵(口+類)迦	Kalavinika	梵 名 仏 1.妙声鳥と訳す。燕雀類の鳥。2.想像上の鳥、極楽浄土に棲み、面美人の如く、音声極めて微妙にして、比類なしといふ。
カリロク	訶梨勒	Haritaki	梵 名 印度産の薬樹、その果実は眼病・風邪・便通によし、古来美しく飾れる袋に入れて、柱などにかけおきたり。
カルヴィンけ う	加爾維尼教	Calvinism	名 「キリスト」教新教の一流、「フランス」国の神学者「カルヴィン」の唱道にかゝる。
カルカ			名 鳥銃の具。こみや。(櫛杖)。
カルコ			名 「カルカ」に同じ。
カルサイ	加留佐以		ボ 名 (「ホルトガル」語 Carisea の転)羅紗の一種、地合稍や薄きもの。
カルサン	輕衫	Calcao	ボ 名 一種の袴、甚だせまき仕立なるもの。(衣+交)(衣+了)。
カルシウム	加爾叟母	Calcium	名 化 真鍮色の金属、延性及展性を有し、錫より硬(カタ)し、空気に触るれば水酸化物及炭酸塩に変ず、天然には石灰石・大理石・白堊・燐化石等となりて存在す。
カルタ	骨牌		名 (「かりうち」の転…、「ホルトガル」語 Cartha の転…)1.遊戯又は「博奕」に用ふ…2.「うたガルタ」又は「いろはガルタ」の略。3.「トランプ」の一名。西洋「ガルタ」…

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
カルタばこ	骨牌函		名 1.「カルタ」を入れる箱。2.徳川時代に、両替屋の店先に並べたりし箱、小だしの金銭を入れる料に供せしもの。
ガルバニ			名 「オランダ」国の人「ガルバニス」(Galvanis)氏の発明にかゝる一種の電気鍍金術。
カルメラ			名 次條に同じ。
カルメル		Caramelo	ボ 名 一種の菓子、下等の砂糖を煮て泡を立て、そのまま凝らせたもの。(浮石糖、泡糖、(火+其)(食+蒸))。
ガルロン	瓦	Gallon	名 「イギリス」国の量目、我国の二升五合一勺にあたる。
カロメル		Calomel	名 水銀と塩酸とを化合せしめたる劇薬、多くの毒分を有すれど、また必用の薬品なり。(甘汞)。
カロリー		Calorie	名 理 熱量の単位、一瓦の水を摂氏の零度より一度まで暖むるに要する熱量。
ガロン	瓦	Gallon	名 「ガルロン」に同じ。
カン	甲		名 (字の唐音)音の調子の上がること。
カン	羹		名 (字の唐音)1.「ざふに」の一名。2.菓子の一種、よせ集めて凝(カタマ)らせたもの。「羊」。
かんおうコイル	感応ー	Induction coil	名 理 強き感応電流を起す機械、…「コイル」(捲線)を心とし、…「コイル」(捲線)にて…太き針のものを第一「コイル」…第二「コイル」といふ、第一「コイル」第二「コイル」
カンガルー		Kangaroo	名 動 有袋類に属する獣、南洋諸島の原野に産す、…植物を食とし、子を生めば腹にある皮袋の中に入れて養育す。(袋鼠、長尾驢)。
カンキン	看經		名 (字の唐音)1.経文を黙して読むこと。2.経文を読むこと。(読経)。
カンゴ系	甲聲		名 甲ばしりたる高き聲。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ガンダウ	強盗		名 (字の唐音)1.「がうたう」に同じ。2.「ガンダウチヤウチン」の略言。
ガンダウチヤウチン	強盗提灯		名 銅板又は鉄葉製の酒鍾(コツフ)形の外部の内に、蠟燭をさす所を縦横上下に回転すべくつくりたる提灯、…
カンテイラ			名 「カンテラ」に同じ。
カンテラ		Candeia	ボ 名 (燭台の義)鉄葉又は銅葉にてつくり、石油を盛り糸を心として火を点ずるもの。
がんどウチヤウチン	燐燈提灯		名 「ガンダウチヤウチン」に同じ。
カンドころ	甲所		名 甲の音を出すべき所。
かねブツ	寒念仏		名 信者が寒夜の修行に仏名を称へながら寺詣りすること。
かねんブツ	寒念仏		名 「かねブツ」に同じ。
カンばしる	甲走		動 声の調子が高まりて勢鋭くひびく。
カンバン	甲板		名 (字の唐音)大いなる船の上部の広く平かにして、木板若しくは鉄板などを一面に張りつめたる所。かふはん。(艦板)。
カンマン			梵 名 仏 梵語、不動尊の尊称。
きえソウ	帰依僧		名 帰依する僧。
きえブツ	帰依仏		名 帰依する仏。
きくカラくさ	菊唐草		名 植 毛茛科に属する草、…観賞用として栽培せらる。てつせんくわ。
きざみタバコ	刻煙草		名 煙草の葉を細かく刻みたるもの。(切芬)。
キセル	烟管		名 (伝来不詳の外国語、一説に南洋語なりといふ)きざみ煙草を飲む具、金属・牙・骨又は陶器にて造り、がんくび・ひざら・すひくち等の名所あり。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
キセルづつ	烟管筒			煙草入の付属具にして、烟管を入るための筒。
キセルぶくろ	烟草袋		名	烟管を入るる袋。
キセルやき	烟管焼		名	烟管に烟草を詰め、火を付けて肌などに焼印すること。
きソウ	貴僧		代	僧の敬称。
キツス		Kiss	名	西洋の礼式にて、他人の体に我吻を接して親意を致すこと。(接吻)。
キナ	規那	Quina	名 植	茜草科に属する木、…南「アメリカ」の特産なり。
キナえん	規那塩	Quina chlorida	那	「キニン」を塩酸に化合せしめて製したる白色針状の結晶体、溶液は間欠熱に効あり。
キナひ	規那皮		名	「キナ」の樹皮を採集したるもの、「キニン」はこれを精製したるものなり。
キニーネ	規尼涅	Quinine	名 化	「キニン」に同じ。
キニン		Quinine	名 化	「キナ」の樹皮中にある「アルカロイド」、苦味ある結晶体にして解熱剤として用ひらる。
きバチ	木鉢		名	木製の鉢。(木盤)。
キビシヨ	急焼		名	「キフス」の訛。
キフス	急焼		名	(字の唐音)もとは酒を入れて燻したる具、今はおもに煎茶を入れ湯をつぎ、煎じ出す小さき土瓶。キビシヨ。(急須)。
ぎふチヤウチン	岐阜提燈		名	美濃国岐阜の名産なる提燈、骨細く紙薄くして長卵形をなし、多くは草花などの畫を描く、夏夜軒端などに吊(ツル)す。
きブツ	木仏		名	1.木ぼりの仏像。2.〔情愛うすき人。(木石漢)〕。
きやうガハラ	経瓦		名	仏経を彫(ホ)りたる瓦、永く伝ふるために土中に埋めおくもの。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
きやくソウ	客僧		名	旅の僧。たびソウ。
キャページ		Cabbage	名 植	十字花科に属する栽培植物、葉は紫緑色にして牡丹の花の如し、花はあぶらな花より大形にして淡紫色なり、葉は食用に供せらる。(蕃牡丹、甘藍)。
キャベツ			名 植	〔「キャページ」の訛。〕
キャベツまき			名	一種の料理、「キャページ」菜の葉に肉をつつみて、蒸煮にしたるもの。
ギヤマン			蘭 名	(「オランダ」語 Diamant の訛) 1. 金剛石。2. 「ガラス」の異称。
ギヤマンせき			名	金剛石。
キヤラ	伽羅		梵 名	(梵語 Kāla-aguru の略、黒と訳す) 一種の香料、にほひ強く、香合には、六国香の一として、…(奇楠香、加藍香)。
キヤラのおぶら	伽羅油		名	鬘を結(ユ)ふに用ふるねり油。
キヤラのおんかた	伽羅御方		名	昔、本妻の異称。
キヤラぶき	伽羅蒔		名	一種の食品、ふきの莖を醬油にて黒くなるまで煮つめたるもの。
キヤラぶし	伽羅節		名	麗(ウルハ)しき歌の節。「匂ひある声や、一語ひ初め」。
キヤラぼく	伽羅木		名	庭などに植うる小さき水松の称。(土蘇木)。
キヤラまくら	伽羅枕		名	引出ありて其中にて香をたくべき枕。
キヤラコ		Calico	名	金巾(カナキン)に似て、手あたり好く織地細かに、光沢多き布。
キリジ	吃哩字		名	1. 梵字別摩多の一、字の名。2. 【仏】一切諸法は神通にして不可得なること。3. 転じて、極めて清浄なること。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
キリシタン	切支丹		西 名 (「スペイン」語 Christian の訛) 1. 「ジエシユイト」派の僧侶「ザウエル」氏等により、我が国に「キリシタン」の僧侶が…転じて、魔術の称。
ギリシアけう	希臘教		名 「キリスト」教の旧教の一、紀元一世のころ「カトリック」の教会、現「東方に伝播したるもの、今「ギリシア」等に「キリスト」教の旧教の一、紀元一世のころ「カトリック」の教会、現「東方に伝播したるもの、今「ギリシア」等に
キリストけう	基督教	Christianity	名 「ユダヤ」人「ヤソキリスト」を教祖とし、其人格を中心として、全智全能にして絶対なる神…米諸国に盛に行はる、教派多し。
キルク			名 「コロツブ」に同じ。
キログラム	尙	Kilogramme	名 質量の単位、一「グラム」の千倍にして、…もと「フランス」国の「キログラム」原器に等しきものを…(基)。
キログラム・カロリー		Kilogram calorie	名 理 熱量の単位、即ち「カロリー」の称、「グラム、カロリー」に対していふ。
キログラム・メートル	尙米	Kilogram metre	名 一「メートル」だけ物体を動かしたる仕事。
キロメートル	幾米	Kilometre	名 一「メートル」の千倍、即ち三千三百尺に相当す。
キロワット		Kilowatt	名 理 「ワット」の千倍。
ギロン	祇園	Jetavana	梵 名 「ギロンのかみ」「ギロンしやうしや」の略言。
ギロンしやう	祇園精舎	Jetavana-vihara	梵 名 古昔、「インド」「マカダ」国の須達長者が釈迦牟尼のために設けし寺院。「一の鐘の音、諸行無常と響くなり」。
ギロンどうふ	祇園豆腐		名 最も精製したるきぬごしの豆腐、京都祇園社鳥居前の二軒茶屋にて売られしより此名あり。
ギロンのかみ	祇園神		名 牛頭天王(素戔鳴尊の御事)、八王子宮(天照大神の御事)、少将(天照大神の御事)、八王子少将(天照大神の御事)を併せて祭れる神の称。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
キン	馨		名 (字の唐音) うちならし。
ギンアン	銀杏		名 「ギンナン」に同じ。
きんカラかは	金唐革		名 1. 金泥をもて模様を高く打ち出したる薄きなめしがは。2. 金泥をもて模様を高く打ち出したる紙。
きんぎよバチ	金魚鉢		名 金魚を飼う鉢。
きんサラサ	金更紗		名 金をまじへたる模様ある「サラサ」。
きんざんじミソ	金山寺味噌		名 ひしほの一種、大豆と大麦とを混(マ)ぜ蒸(ム)してねかし、これに塩を加へ味をつけてこしらへたるもの、支那の姑蘇の経(キン)山寺にて創めて製せしより此名あり…
キンナラ	緊那羅	Kimnara	梵 名 仏 八部衆の一、音楽の神といふ。
ギンナン	銀杏		名 (字の唐音) いてうの樹の果実。
キンバイ	金海		名 (字の朝鮮音、Kum-hai の訛)、朝鮮産の陶器の一種、茶器に用ふ。
ぎんビン	銀瓶		名 銀製の瓶。
きんブラ	金布羅		名 「テンブラ」の一種、蕎麦粉を衣として揚げたるもの。
きんベン			名 金にてつくりたる「ベン」さき。
キンマ	莠醬		名 1. 安南地方に産する桑の実の如き果実、蜜に漬けて食ふ。2. 「キンマで」の略言。
キンマで	莠醬手		名 舶来の漆器、金漆をもて麗(ウルハ)しく模様を畫きたるもの。おもに「キンマ」を盛るより此名あり。
きんモール	金毛織		名 金織の「モール」。
ぎんモール	銀毛織		名 銀織の「モール」。
クーデター		Coup d'Etat	名 猛烈なる政略を断行すること。大打撃を加ふること。暴断を行ふこと。
クーリー	苦力	Coolie	名 支那にて人足の称。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
クーロン		Coulomb	名 理 電気量の単位、「アンペア」の電流が一秒時間に送る電気量。
クーロンけい		Coulomb meter	名 理 一定の時間に電路を通過するクーロンの量を計る器械。
くうきブトン 空気蒲団			名 外側を空気の漏れざるようにし、中に空気を吹き入れ膨（フク）らして使用する装置の敷蒲団。
くうきポンプ 空気-		Air pump	名 空気を排除する「ポンプ」、…此外水銀を用ひたる空気「ポンプ」あり、水銀「ポンプ」の條を見よ。（空気唧筒）。
くうきランプ 空気洋燈			名 光力を強くするために、心を通じて上下に空気のよく通ふ装置ある洋燈。
くうやねんブツ 空也念仏			名 仏 天台宗の一派、空也上人光勝を祖とす、…無常頌文を誦（ヨ）み、念仏をとなへ飄を叩（タタ）きて踊る。
クシャ 倶舎			梵 名 仏 (い) (梵語 Abhidharma kosha の上略、蔵と訳す) 一切所応の知識を包持すること。(ろ)「クシャしゅう」の略言。
クシャしゅう 倶舎宗			名 仏 八宗の一、天親菩薩の倶舎論を所依とする小乗教なり、おもに奈良に行はる。
グスク		Gusiku	琉 名 琉球にて、城の称。
ぐソウ 愚僧			代 僧侶の自分の謙称。
クダラごと 百済琴			名 一種の楽器、二様あり、一は瑟に似て小さく…一は体曲がりて二十三弦あり、…(筈侯)。
くはへギセル 衝煙管			名 煙管を口にくはへながら煙草を吸(ス)ふこと。
くみチンキ 苦味丁幾			名 橙皮などを以て製造したる「チンキ」、味苦し、健胃剤として用ひらる。
クラウン		Crown	名 西洋にて冠又は戴冠頭の印象ある銀貨の名、「イギリス」国の「クラウン」は銀貨にして五「シリング」相当なり。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
クラウン・ガラス		Crown glass	名 化 「カルシウム」「ナトリウム」の酸塩より成る「ガラス」、板「ガラス」其他普通の器具を製するに用ふ。「ソーダ、ガラス」。
クラシック		Classic	名 1. 古典。古文。2. 擬古に傾き、客観を主とし、格式の整齊・義理の明白等を重んずる文芸上の傾向。
クラブ		Club	名 会。組合。(倶楽部)。
クラブ		Clover	西洋骨牌(カルタ)の札の名、三裂せる葉の形を黒く描(エガ)きたるもの。
グラム	瓦	Gramme	名 重量の単位、我国の二分六厘十七毛弱に当る。
グラムぶんし 瓦分子			名 化 物質の一分子量を瓦(グラム)にて表したるもの、酸素の三十二瓦は其一瓦分子にして、水の十八瓦は其一瓦分子なるが如し。
グラム・カロリー	瓦-	Gram caloric	名 理 熱量の単位、一瓦の清水が、摂氏の零度より一度まで昇るに要する熱量。
くりアン	栗館		名 栗の実にてこしらへたる館(アン)、館の上品なるもの。
クリカラ	俱梨伽羅	Krkara	梵 名 剣を黒龍の絡(マト)ふ図、剣は不動尊が右の手に持つもの、龍は其左の手に持つ繩の変体としたるものにして、不動尊の三摩耶形をあらはしたるもの。
クリカラもんもん	俱梨伽羅紋		名 博徒などが背部に青割(ホリモノ)したる俱梨伽羅などの図の称。
クリストけう	基督教	Christianity	名 「キリストけう」に同じ。
クリスマス		Christmas	名 耶蘇の降誕を祝するための祭、毎年十二月廿五日に行ふ。(耶蘇降誕祭)。
グリセリン		Glycerine	名 化 「グリセリン」に同じ。
グリセリン		Glycerine	名 化 脂肪又は油脂より製出する無色の結晶性物質、普通販売するものは水甘味を有す、薬用又は工業用に広く用ひらる。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
グリセロール		Glycerol	名 化 「グリセリン」に同じ。
クリケット		Cricket	名 一種の遊戯、木の球を長き柄の撞木（シユモク）様のものに打ち、鉄線を曲げてつくりたる小さな門をくぐらせて、勝負を争ふもの。
くりヤウカン	栗羊羹		名 栗の実をすりつぶしてこしらへたる羊羹。
クルークスクわん	ー管	Crookes' tube	名 理 硝子の管に白金線を入れ管内の空気を起し、電機（ナ）の電流を流せば、放射線を発生せしめる。
クルツプはう	ー砲	Krupp gun	名 「ドイツ」国「クルツプ」会社にて製造する「クルツプ」が鋼鉄を以て身製造せしる。
グルテン		Gluten	名 化 小麦粉を綿布の袋に入れ、水中に於て揉み（モ）み糞粉を流出せしめ、残留する粘質物を焼麩（ヤキフ）の原料なり。
クレー	呉		頭 古昔、支那より渡来の物事に冠られし語。「ー藍」。「ー竹」。
グレーシャムのはふそく	ーの法則	Gresham's law	経 「イギリス」国人「グレーシャム」が主張したる悪貨は良貨を駆逐すといふ原則、…
グレイン		Grain	名 「アヴォイルヂユボイス」衡の単位、〇・〇六四瓦、〇・〇一七二八瓦に当る。
クレオソート		Creosote	名 化 「ケレオソート」に同じ。
グレゴリーれき	ー暦	Gregorian calendar	名 「ローマ」法皇「グレゴリー」十三世の制定せる暦、我国現時使用する太陽暦これなり。
クレたけ	呉竹		名 植 （古昔、呉の国より渡来せしものといふ）竹の一種、葉細かく節多し、杖又は籠細工・格子などを造る料に供せらる。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
クレたけの	呉竹		枕 「よ」「ふし」に冠する詞。「ーふし見の出井の、仮の夜に」。
クレつづみ	呉鼓		名 呉楽に用ふるつづみ。
クレなる	紅		名 （呉の藍の転）1.【植】「べにばな」の古名。2.べにばなの汁をもて染めたる赤き色。鮮明なる赤き色。「血しほのー」。
クレなるぞめ	紅染		名 クレなるにて染めたる色。又、其ぞめ物。
クレなるの	紅		枕 いろといふ縁語より、「あさし」に冠する詞。
クレのある	呉藍		名 植 「クレなる」の古名。
クレのおも	呉母		名 植 「ウキきやう」の古名。
クレはし	呉橋		名 そりはし。
クレはとり	呉織		名 （呉機織の略言）1.古昔、呉の国より渡来せし織物師。2.呉の法を伝へて織りたる布帛。（呉服）。
クレはとり	呉織		枕 「あや」に冠する詞。「ーあやに恋しく、ありしかば」。
クローズ		Cloth	名 書籍の表装に用ふる舶来の薄布。
グローブ		Glove	名 「ベースボール」にて用ふる手袋。
くるザン	黒棧		名 黒色のサントメ皮。
クロノグラフ		Chronograph	名 時刻を自記する器械、時計仕掛にて回転する円筒あり、…其ーは煤上に二線を劃して、「クロノメートル」及電磁石に連なり、…其ーは電磁石及電鍵に連なり、…
クロノメートル		Chronometer	名 携帯用の最も精密なる時計、温度変化の影響を受けざる二つの異なる金属を測定の主要器械なるが故に、…
クロミウム		Chromium	名 化 「クロム」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ケンチャンじ	卷織汁		名 前條(二)に同じ。
ケンチン	卷織		名 「ケンチャン」に同じ。
コークス		Coke	名 「がいたん」(骸炭)に同じ。
コーヒー	珈琲	Coffee	名 珈琲樹の果実の核を焙焼して粉となしたるもの、これに砂糖を加へ熱湯に和して飲む。
コーヒーのき	珈琲樹	Coffee arabica	名 植 茜草科に属する小灌木、熱帯地方に産す、…果実は大いさ胡椒の如き漿果なり。
コール・ター		Coal-tar	名 石灰を蒸焼にする際に生ずる反流動体の物質、幾多の化合物を含有し、「ア二リン」又は石灰酸等を製する原料に供せられ、又、「プリキ」又は鉄材等に塗りて…
コール・マニ		Call money	名 銀行が仲立業者などに低利にて貸す金銭、必用時には何時にても返済の請求をなすことを得るもの。
ゴア	臥亜		印 名 («インド」の地Goaより出づ)昔時、蘭人の創めて膚(モタラ)したる一種の織物。
コイル		Coil	名 「けんせん」(捲線)に同じ。
コエンドロ	胡(草/芫)	Coriandrum sativum	名 植 繖形科に属する草、葉は鋸歯を有し、花は五弁にして淡色なり。こにし。
コカイン		Cocaine	名 化 「コカ」と称する植物の葉の中に含有せる「アルカロイド」、斜状の結晶を溶解し、熱湯又は「アルコール」等に解す、局部の麻痺を惹(ヒキ)起すあるを…
こくぶタバコ	國府烟草		名 大隅國國府地方より出す烟草、香氣ありて佳良なり。
コサツク	哥薩克	Cossack	名 「ロシア」國の諸部に住する一種の民族、騎馬に堪なり、「ロシア」國にては、其中より徵集して騎兵を組織す。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
コサツクきへい	哥薩克騎兵		名 「コサツク」人を以て編制せられたる「ロシア」國の騎兵、馬上にて槍を使用す。
こしあん	漉餡		名 摺(ス)りつぶしたる餡を、すみなうにんて漉(コ)したるもの。
こしざしチャウチン	腰挿提燈		名 腰に挿し得るやうに、柄をつけてある提燈。
こしだかマンデユウ	腰高饅頭		名 たけ高くつくりたる饅頭。
コスメチツク		Cosmetic	名 脂肪を原料とし香料を加へて製造したる化粧品、頭髪又は口髭などに塗(ヌ)るに用ふるもの。
コスモス		Cosmos	名 植 菊科の一年草、形茴香に似、高さ六七尺に達し、葉は細く、花は単弁にして、色は種々あり。
こゾウ	小僧		名 1.年少の僧。2.商店などにて使用する小童。3.少壯者を卑(イヤシ)み呼ぶ語。
こタバコ	粉煙草		名 刻煙草の細かくなりて粉となりたるもの。
こダンナ	小旦那		名 わかダンナ。大旦那の対。
ごちソウ	護持僧		名 貴人のために、常に祈禱をなす僧。
ごちゆうのタフ	五重塔		名 屋根を五重につくり重ねたる塔。
コツク		Cook	名 料理人。料理番。
コツプ	鍾	Kop	蘭 名 玻璃製の盃又は水飲などの称。
コニオル	王妃		名 (百濟の語)三韓の王后。
コニキシ	国王		名 (百濟の語)三韓の王。
コニセシ	王子		名 (百濟の語)三韓の太子。
コバルト		Cobalt	名 鉷 色澤銀に近くして微(スコ)しく赤色を帯びたる金属、…酸化物は「ガラス」及陶磁器の着色顔料に供せらる。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ごひやくラカ ン	五百羅漢		名 仏 仏滅後遺教結集のとき、来会せし弟子衆の総称。
コヒラー		Coherer	名 理 細き硝子管に細かき金属の粉を入れ、其両端に電極を付したるもの、「マルコニ」式無線電信機の主要部にして、金属粉の電気の抵抗高けれど、…
コフ	劫		梵 名 仏 (梵語 Kalpa 劫 (コフバ) の略) (い) 一時期。(ろ) 極めて長き時間。「セツナ」の対。
コフをふ			永き年月を経。年功を積む。
ゴフくわ	劫火		名 仏 器世間を焼き尽くして灰塵となすといふ大火。
こブシン	小普請		名 徳川時代に、小普請の人足を旗本の非役者に課せしこと。
こブシンきん	小普請金		名 徳川時代に、小普請の代はりに、扶持高百石に付き、一兩二分宛の率を以て旗本に出金せさせしこと。
こブシンぐみ	小普請組		名 徳川時代に、旗本の非役のものの編入せられし組。
こブツ	古仏		名 古代の仏像。
ごブツ	後仏		名 仏 未来に色身を現出すといふ仏。
ごふマ	業魔		名 一切の悪業が、知恵を失はしむるを、魔にたとへいふ語。
こほりラムネ			名 けづりたる水に、「ラムネ」を加へたる飲料。
こほりレモン			名 けづりたる水に、「レモン」水を加へたるもの。
コマ	狛		名 「コマいぬ」の略言。
ゴマ	護摩		梵 名 仏 (梵語 Homa、焚焼又は火祭の義) 密教にて、諸悪を焼き亡ぼすといふ意にて、火を焚(タ)きて仏に祈ること。
コマいぬ	狛犬		名 (高麗(コマ)犬の義) 古昔、高麗より渡来せし犬、…其形を木又は石などにてつくり、玉座の御帳又は神社の前などに置く。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
コマうど	高麗人		名 高麗の国の人。(狛人)。
コマがく	高麗楽		名 高麗より伝来の雅楽。
ゴマき	護摩木		名 1.「ゴマ」に焚(タ)く木。2.【植】「ぬるで」の一名。
ゴマだう	護摩堂		名 寺院に付属し、護摩を焚(タ)く場所に定めある殿堂。
ゴマだん	護摩壇		名 護摩を焚(タ)く壇。
コマつるぎ	狛剣		名 柄長くして頭に環ある剣。
コマつるぎ	狛剣		枕 「わ」に冠する詞。「-わさみがはら」。
コマにしき	高麗錦		名 古昔、高麗より渡来せし錦繡。
コマぶえ	高麗笛		名 高麗楽に用ふる笛、歌口の他に、孔六つ若しくは三つあるもの。(笛)。
ゴマふだ	護摩札		名 護摩をたき仏に祈りて、つくりたるおふだ。
ゴム	護謨	Gum	名 1.或種類の樹木より分泌せる液の乾きて…「アラビアゴム」は其一なり。2.一に弾性「ゴム」…、「ゴム」鞣・「ゴム」管、…3.東「インド」地方等…「ゴム」と称する…
ゴムいん	護謨印		名 弾性「ゴム」にて製造したる印、石膏の印型にあてて製造す。
ゴム・カツバ	護謨合羽		名 「ゴム」布にて製したる合羽。
ゴムぐし	護謨櫛		名 弾性「ゴム」に多量の硫黄(イワウ)を吸収せしめたるもの即ち「エボナイト」を細工してつくりたる櫛。
ゴムくわん	護謨管		名 弾性「ゴム」を以て製造したる管、諸種の用に供せらる。
ゴムしゃう	護謨漿		名 「アラビアゴム」の溶液、製造其他薬用に供せらる。
ゴムだま	護謨玉		名 弾性「ゴム」にてこしらへたる管などの玉。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ゴムにんぎやう	護謨人形		名 弾性「ゴム」を以てこしらへたる人形。
ゴムぬの	護謨布		名 弾性「ゴム」を上面にひきたる布。防水用の外套などを製する料。
ゴムのり	護謨糊		名 「アラビアゴム」を溶(ト)かしたる糊、ものを貼(ハ)るに用ふ。
ゴムびき	護謨引		名 表面に護謨を引ききたるもの。
ゴムまり	護謨毬		名 弾性「ゴム」にてこしらへたる中の空虚なる毬。
ゴムわ	護謨輪		名 車輪の外周に、弾性「ゴム」を装置したるもの。
こむソウ	虚無僧		名 普化(フケ)宗の僧侶の称、尺八を吹きて銭乞ひ諸国を修行す、徳川時代に、武士の罪を犯ししもの、刑罰を逃れんために…ぼろ。ぼろんじ。
コモガイ	熊川		朝 名 1. (朝鮮語にて、熊を「コム」川を「カイ」と云ふより熊川郡にて製せし茶碗、茶家にて珍重す。2. 口開きて底浅き茶碗。
こもソウ	虚無僧		名 {「こむソウ」の説。
ごようチャウチン	御用提燈		名 官府の記章又は記名ある提燈、夜間御用を帯びたるものの点火携帯するもの。
ゴリラ		Gorilla	名 動 猿猴類に属する獣、「アフリカ」に産す、身長七尺に達す、全体黒褐色にして、面部黒く、性質猛悪にして腕力強大なり。(大猩猩)。
コリン	火鈴		名 (字の唐音) 手にて振り鳴らす一種の鈴、つりがねの如き形のもの。
コルク		Cork	名 「コロツブ」に同じ。
コレラ	虎列刺	Cholera	名 「コレラ」菌によりて発生する劇烈なる伝染病、腹鳴りて劇(ハゲ)しく吐瀉し、…これ「コレラ」菌の毒を吸収したる淋巴液なり。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
コレラキン	虎列刺菌		名 「コレラ」の病原となる細菌、「ドイツ」国人「コッホ」の発見にちなみ、減毒されざるものは…
ゴロ	呉紹		名 {「ゴロフクレン」の略言。(呉羅)。
ゴロウ	呉紹		名 {「ゴロ」の転。
コロタイプ		Collotype	名 一種の写真版、殆ど「アートタイプ」と同一なれど、ただ下塗に硝子を用ふが故に、日光に曝(サラ)す要きを異なりとす。
コロデオ		Collodion	名 火綿の一種を「アルコール」と「エーテル」の混合液に溶解し、通常これに少量の沃化「アンモニウム」を加へたるもの、写真術に使用す。
コロツケ		Croquette	仏 名 一種の料理、牛肉をきざみて、蒸したる馬鈴薯・小麦粉等を交へ、これをかためて油にて揚げたるもの。
コロツブ			名 (Corkの説) 壘の口に栓(セン)とする樹皮、弾力ありて軽し。
コロツブぬき			名 壘の栓の「コロツブ」を抜くための具、多くは尖頭ある鉄に螺紋を装置したるものに於て、これを「コロツブ」の中に旋入し置きて抜きとる。
コロナ		Corona	名 白光の條を見よ。
ゴロフク	呉紹服		名 「ゴロフクレン」の略言。
ゴロフクレン	呉紹服連		蘭 名 (「オランダ」語 Grof grein の説) 西洋の毛織物、もとは多は駱駝の毛もて製したりしが、今は羊毛は麻・綿などを雑(マジ)へて織る。(呉紹福林、牛郎綢)。
コロボツクル		Koropok-un guru	ア 名 「アイヌ」の伝説にて、「アイヌ」以前に北海道に住したりといふ人種。
コロリ	虎列拉		名 {「コレラ」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
コロロフォルム			名 化 「コロロフォルム」に同じ。
こんがうブツ	金剛仏子		名 仏 密教の僧侶の称。
こんがうヤシ	金剛夜叉		名 仏 明王の一、北方を守護し、悪魔を降伏す、三面六臂にして弓・箭・刀・輪・鈴・杵を執る。
コンガラ	(矛+今) 羯羅	Kinkara	梵 名 仏 (梵語 K i n k a r a、奴隸の義) 不動尊のわきだちの美少年。
コンクリート	混凝土	Concrete	名 「セメント」と砂とを水に練(ネ)りて製したる漆喰(シツクヒ)に、砂利又は割栗を混じたるもの、…
こんじきヤシ	金色夜叉		名 {高利貸の異称。
コンデンス・ミルク		Condensed milk	名 牛乳を煮つめ、砂糖を加へて甘味をつけたるもの、缶詰として貯へべきやうにし、小児などの飲用に供す。
コンドル		Condor	名 動 猛禽類に属する鳥、鳥類中最大なるものの一にして、南「アメリカ」西部の高山に棲む、頭部は羽毛生ぜずして裸出し、頸部に白羽生じて…
コンパス	混撥子	Compas	蘭 名 1.ぶんまはしに似て二又をなす金属の器具、図引に用ふるもの。2.一種の測量器械、方位を測るもの。3.羅針盤。
コンビラ	金比羅	Kumbhira	梵 名 鯢魚の義、天竺の靈鷲山の鬼神、魚身にして、蛇形をなし、尾に宝玉を蔵すといふ。
コンベイトー	金米糖	Confeitos	ポ 名 一種の菓子、水蜜に饅頭粉を加へたるものに、炒(イ)りたる芥子を種に入れて、攪(カ)き回(マハ)して製したるもの。水掛。(稷糖)。
コンマ		Comma	名 1.歐文の句読に施す点、又記載の位取に用ふる点、即ち「,」。2.普通の点、又、単位。「-以下の人間」。
コンマ・バチルス		Comma bacillus	名 「コンマ」状をなす微細なる「バチルス」。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
コンミツシヨ		Commission	名 周旋料。手数料。こうせん。
コンモン・センス		Common sense	名 常識。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
サーチ・ライト		Search light	名 強大なる光線を発射する一種の電灯、 太き炭素棒を用ひたる弧光燈にして、 …多くは夜間敵艦艇の來襲を警戒する に用ひらる。(探海燈、探照燈)。
サーベル	洋劍		蘭 名 (「オランダ」語 Z a b e l の訛) 軍 人の佩(オ)ぶる西洋風の刀劍。(洋 刀)。
サーベルせいやく	洋劍政略		名 陸海軍の出身者によりて行はるる武断 政略の称。
サーベルないかく	洋劍内閣		名 多数者若しくは主腦者が、陸海軍の出 身にして且武断政略を行ふ内閣の称。
サイエンス		Science	名 「くわがく」(科学)に同じ。
サイダー		Cider	名 林檎より取りたるアルコール性の飲料 。
サイフォン		Syphon	名 1.【理】曲がりたる管(クダ)にして 、其短脚を液体に入れ、長脚より他の 器に液を流出せしむるもの。2.「サイ フォンラムネ」の略言。
サイフォン・ラムネ			名 口に「サイフォン」の装置ある壺に入 れある「ラムネ」。
サイレン		Siren	名 理 発音体の振動数を験するに用ふる一種 の器械。
さうりんたふ	相輪塔		名 相輪陀羅尼(サウリンダラニ)の説に より建(タ)てたる一種の塔。
さくらミソ	桜味噌		名 一種の味噌、牛蒡・生薑などを切り込 みて混じたる味甘きもの。
サゴ	沙穀	Sago	名 東「インド」諸島に産する棕櫚科に属 する一種の喬木の髓より採りたる米粒 状の白き澱粉、病人の食用に供せられ 、又、糊などにす。サゴベい。(西穀 米、莎木麩、莎麩)。
サゴベい	沙穀米		名 「サゴ」に同じ。
ササラ・サツボウ	霸王樹		名 植 「サボテン」の異称。(仙人掌)。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ささりんダウ	笹龍胆		名 紋所の名、龍胆(リンダウ)の葉を笹 の葉の如くならべ、上に三つの花を系 がけるもの、源氏世々の紋所なり。
サジ	匙		名 (茶匙の唐音)流動体又は細末なるも のを拘ひ取る具、皿の如き頭に柄ある もの。かひ。(匕)。
サジをなげる			医師が其病気の療治かひなしと診断す るにいふ。又、すべて其物事の致済望 みなしと断念するにいふ。
ざゼン	座禪		名 静座して、善悪を思はず是非に閑せず 有無に涉(ワタ)らず、心を安楽自在 の境に達せしむること、…静慮。「 -をくむ」。(観想)。
ざゼンまめ	座禪豆		名 黒大豆を甘く煮染めたるもの。
サソラ	採蘇羅		名 七種香の一。
サツカリン		Saccharine	名 化 白色半透明の結晶体、温水に溶け、砂 糖より約三百倍の甘味を有す、無害な れども消化しがたし。
サツク		Sack	名 (ふくろの義)器具などを入るる西洋 風の袋物。
サツタ	薩(土+垂)		梵 名 仏 (梵語 Bodhi-sattva の上 略)(い)慈悲と知恵との所縁の境。 (ろ)仏果を能求する人。勇猛精進な る人。
サバ	娑婆		名 「シヤバ」に同じ。
さハチ	皿鉢		名 「さらハチ」の略言。
サハリ	胡銅器		名 (鈔羅(サフラ)の転、或云新羅の古 語沙羅より出づと、今日の朝鮮語にて これを s a b a r といふ)南蛮より産 出せしといふ一種の銅器。
サハリ	響銅		名 一種の合金、昔時は銅一斤に鉛五分の 一と錫十分の一とを和したりしが、今 時は銅十分に、鉛・錫各二分宛の割合 に混ず。
ざブトン	座蒲団		名 敷(シ)きて坐(スワ)る布団。しと ね。(座蓆)。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
サフラ	鈔羅		名	(字の音の訛ともいひ、又胡語とも新羅語ともいふ) 盆の如き一種の銅器。
サフラン	(水+自) 夫藍	Saffraan	名 植	鳶尾科に属する草、花は五弁紅色、もと外国より渡来したる薬用植物なり。
サボテン	霸王樹		名 植	仙人掌科に属する植物、…原産地は「メキシコ」国なり、観賞として栽培せらる。「シヤボテン」。「サンボテ」。(仙人掌)。
サボン	石鹼		名	「シヤボン」に同じ。
ザボン	朱欒	Zamboa	ボ 名 植	蜜柑の一種、果実は大形にしてくわりんに似る、…圓くして扁平(ヒラタ)く、黄色にして香気多く甚だ美味なり。(香欒、生欒)。
サマヤギやう	三摩耶形		梵 名 仏	仏の器杖、又は印、即ち平等・本誓・除障・驚覚の四意義を表示したる形相。
サラ	沙羅		名 植	「サラじゆ」に同じ。
サラアサ	更紗		名	「サラサ」の古称。
サラサ	更紗		ボ 名	1. (「ポルトガル」語 Saraca) 種々の模様を押(オ)して染めたる金花巾。(印花布、斑布) 2. 梅桃などの紅白雜(マ)ざりたるをいふ。3. 「サラサがた」の略言。
サラサうちは	更紗団扇		名	更紗形の模様ある団扇。
サラサがた	更紗形		名	更紗にある模様の如き形に染(ソ)めたる種々の花紋。
サラサがみ	更紗紙		名	更紗形の模様ある紙。
サラサぞめ	更紗染		名	更紗形に染めたるもの。
さらしアン	晒館		名	館を日に晒して乾かしたるもの。
サラじゆ	沙羅樹		梵 名 植	(「サラ」は梵語 Sala) 龍腦科に属する木、もと舶来の種なり、幹は百日紅に似る、…シヤラじゆ。(娑羅、沙(木+羅))。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
サラそうじゆ	沙羅雙樹		梵 名 植	(「サラ」は梵語 sala 樹の名) 「ラじゆ」は梵語 jyu (樹) の名) 「サ此樹林に於てはかなき物事に驚へいふ。…の花の色…」。
サリ	舍利		名	「シヤリ」に同じ。
サリチルさん	一酸	Salicylic acid	名 化	白色稜針状の結晶物、冷水に溶解し難く、熱湯又はアルコホル等には能く溶解す、重要な防腐剤なり。又、解熱薬・利尿薬として用ひらる。
サルカ	秦吉了		名 動	「きうくわん」の一名。
サルゼ		Sarja	ボ 名	舶来の毛布、「トロメン」の類。
ザルソー	撒曹		名 化	「サリチル」酸に同じ。
さんくわアルミニウム	酸化-	Aluminium oxide	名 化	「アルミニウム」を赤熱して水に投ずれば、水分解し水素を遊離せしめて生ずる酸化物、天然には鋼玉となりて産出す。
さんくわカルシウム	酸化-	Calcium oxide	名 化	石灰石又は大理石等を熱するとき、分解して生ずるもの、普通これを石灰と称す。
さんくわバリウム	酸化-	Barium oxide	名 化	硝酸「バリウム」を灼熱して生ずる白色の粉末、…酸素と化合して「バリウム」となる、其質量を以て、一に重土といふ。
さんくわマグネシウム	酸化-	Magnesium oxide	名 化	「マグネシウム」を燃(モ)やすか、若しくは其水酸化物又は…水酸化「マグネシウム」に変ず、…一に苦土といふ。
ザンげ	懺悔		梵 名	1. (懺悔は梵語 ksama ya の略にへ去したるは、漢梵を並挙したる後悔の罪惡を悟(サト)りて後悔す。2. 転じて、懺悔話を…)
ザンげばなし	懺悔話		名	自分が既往に於ける罪惡のはなし。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
さんシャミ	三沙彌		名 仏 沙彌を年齢によりて区分したる三種、即ち、驅鳥沙彌…・応法沙彌…・名字沙彌…をいふ。
さんしんブツ	三身仏		名 仏 法身仏・報身仏及応身仏(現身仏)の称。
サンスクリット		Sanskrit	名 「ボンゴ」(梵語)に同じ。
さんソウ	山僧		名 1.山寺の僧。2.延暦寺の僧。
さんだいブツ	三大仏		名 大和国東大寺・河内国太平寺及近江国關寺の大仏の称。
サンチーム		Centieme	名 「フランス」国の貨幣の名目、一「フラン」の百分の一。
サンチグラム	釐	Centigramme	名 一瓦の百分の一。
サンチメートル	釐	Centimetre	名 一米突きの百分の一、我国の三分三厘に等し。
サンドウイツチ		Sandwich	名 麵包(パン)の両片中に、冷肉を挟みたるもの。
サントメ	棧留		名 1.もと「インド」国「サントメ」(Sao, Thome)より渡来せし職文あるなめしがは、今は我国にても製す。2.「サントメじま」の略言。
サントメじま	棧留綿		名 1.もと「インド」の「サントメ」より渡来せし綿織の絹物。2.織物の綿柄、も縦縞にして、赤又は浅黄のまじれるもの。
サントメばり	棧留針		名 ぬひばりの一種、普通の木綿針より少し長し。
さんピン	三一		名 1.双六(スゴロク)などにて、二箇の采(サイ)の目に、三と一扶持の給き与を受くるもの(義)昔時、禄の低き若党などをいやしめて…
さんピンやつ	三一奴こ		名 前條(二)に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
さんブツど	三仏土		名 仏 法身如来所依の土即ち法性土と、報身如来受用の土即ち受用土と、応身如来变化の土即ち变化土との称。
サンボテ			名 植 「サボテン」の訛。
サンマイ	三昧		梵 名 1.【仏】(梵語 Samadhi の略、平等又は正受若しくは正定と訳す)心摩提。…2.ともすれば、…傾きやすきこと。3.【はかば。墓所。
サンマイだう	三昧堂		名 念仏三昧にて居る堂。又、坐禅する堂。
サンマダイ	三摩提		名 仏 三昧(一)に同じ。
サンミヤクサンボダイ	三藐三菩提		梵 名 仏 梵語、正偏覚又は正偏知と訳す、生死の夢を覚(サト)り一切の法を知ること。
しあえんそさんカルシウム	次亜塩素酸	Calcium hypochloride	名 化 一種の臭気を有し、酸に逢へば容易に分解して塩素を遊離するもの、漂白・防腐の効ありて、漂白粉の主成分たり。
じありうさんソーダ	次亜硫酸曹達		名 化 亜硫酸「ナトリウム」の溶液に硫黄華を加へ、これを熱して得る透明な結晶を体、安定に水に溶解す、又、水に不溶解なる銀の化合物を溶解する性あり、写真術に使用…
しうくわカリウム	臭化-	Potassium bromide	名 化 水酸化「カリウム」の溶液に臭素を加へ、これを蒸発して、其残物を水に溶解し、更にこれを結晶せしめたるもの。
シウリハンド	周梨梨特		梵 名 仏 梵語、おろかももの。
シガー		Cigar	名 葉巻煙草。
しかみひバチ	獅嚙火鉢		名 つばの広き金属製の火鉢、脚に獅子の面をつけたるもの。
しガルタ	詩骨牌		名 「しはい」(詩牌)(一)に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語	語釈
シガレット		Cigarette	名		紙巻煙草。
しきガハラ	敷瓦		名		地にいしだたみの如く敷きならべたる瓦。(甍)。
しきプトン	敷蒲団		名		臥(フ)すとき下に敷く蒲団。
しぐれカン	時雨羹		名		一種の菓子、赤小豆の餡(アン)をそぼろにして蒸して製したるもの。
しぐれマンデユウ	時雨饅頭		名		一種の菓子、しぐれカンにて餡(アン)を包(ツツ)みたるもの。
しコフ	四劫		名 仏		世界の變遷経過の区分、世界成立して人類の生殖するを成劫といひ、人類の生界に安住するを住劫といひ、世界の壊すを空劫といふ。
じソウ	寺僧		名		其寺にゐる僧。
じダン	寺檀		名		寺僧と檀那と。
しちソウ	七僧		名		七種の役僧、即ち、講師・読師・咒願・三礼・唄師・散花・堂達の称。
しちブツ	七仏		名 仏		毘婆尸・尸棄・毘舍浮・拘留孫・俱那含牟尼・迦葉・釈迦の称。
しちブツやくし	七仏薬師		名 仏		善称名吉祥王如来・宝月智嚴音自在王如来…の称。
シチン	緇珍		名		{「シユチン」の訛。
シツクキ	漆喰		名		(石灰の唐音)石灰に赤色の粘土を加へ、これを鹿角菜(フノリ)の液汁にて練(ネ)りて製したるもの、凝固して堅牢のものとなる、壁などを塗る料とす。
シツタン	悉曇		名		(梵語 Siadham、成就の義)1. 梵語の母韻。2. 梵字。3. 梵語。
シツチン	緇(糸+珍)		名		{「シユチン」の転訛。
シツボク	卓袱		名		1. 支那風の食事用の机、…四方朱漆にて塗り周囲に紅白の紗綾を垂る。2. 一種の料理、松茸・椎茸・蒲鉾・野菜などをゆへて煮たるもの。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語	語釈
シツボクだい	卓袱台		名		前條(一)に同じ。
シナ・カバン	支那鞆		名		外側は多く白色の革又は紙等にて貼(ハ)りたる櫃形の「カバン」、もと支那より渡來したるものなるよりいふ。
シナもじ	支那文字		名		漢字。
シノニム		Synonym	名		語形異なりて意義の同一なる語、「さくら」と「あだなぐさ」との如し。
しハラミツ	四波羅密		名 仏		常・楽・我・淨の称。又、密教にて、東方に配する金剛波羅密と南方に配する寶波羅密と西方に配する法波羅密と北方に配する羯磨波羅密との称。
シビン	尿瓶		名		{「シユビン」の略言。
しふがふレンズ	集合ー	Converging lens	名 理		通過したる光線をして軸の方へ近寄らしむる「レンズ」、中央厚く周囲に薄くなるに從ひて薄くなるもの。
じふさんブツ	十三仏		名 仏		不動・釈迦・文殊・普賢・地藏・彌勒・薬師・觀音・勢至・彌陀・阿闍・大日・虚空蔵の称。
しブツく	四仏工		名		古昔、有名なる四人の仏工、…の称。
じふやねんブツ	十夜念仏		名 仏		浄土宗の仏事、陰曆十月六日より同十五日まで、十夜の間別時念仏すること。
じふろくらカシ	十六羅漢		名 仏		仏の命を承け、今なほ入滅せずして正法を護り、世若し大施無遠く、聖儀と…十六の尊者、即ち、…の称。
しマ	死魔		名 仏		四魔の一、寿命を奪ふもの。知恵をくらますもの。
しマ	四魔		名 仏		蘊魔・天魔・死魔及煩惱魔の称。
シムソンせん	ー線	Simson line	名 数		三角形の外接円の周上の一点より、三つの辺又は其延長線に引ける垂線の足を連ぬるときは一直線をなす、この直線の称。
しもふりラシヤ	霜降羅紗		名		霜降の模様羅紗。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
じゃうアン	上館		名	上等の館。精製の館。
じゃうねんブツ	常念仏		名	絶えず念仏を唱(トナ)ふること。
じゃうハリ	浄玻璃		名	「じゃうハリのかがみ」の略言。
じゃうハリのかがみ	浄玻璃鏡		名	1.【仏】地獄の間魔の魔にありといふ鏡、これに照らせば、亡者生前の善悪の所業は其俎に映出すといふ。2.転じて、紛らはしくらますこと能はざる眼識。
じゃうブツ	成仏		名	1.【仏】煩惱を解脱して仏果を得ること。2.【死ぬること。
ジャガイモ			名 植	{「ジャガタライも」の略言。
ジャガタライも	馬鈴薯		名 植	(南洋諸島中の Jacatra より渡来せしが故に此名あり) 茄科に属する草本、…地下茎は塊状をなし、食用に供せらる。
ジャガタラじま			名	古昔、「ジャガタラ」島より渡来したりといふ織物。
ジャガタラみかん	大袖		名 植	芸香料に属する木、もと舶来の植物にして橙に似る、…観用として栽培せられ、果皮は薬用となる。
シヤク	釈	Sakya	梵 名	一般に用ふる僧侶の姓。
シヤクか	釈家		名	寺院又は僧侶。
シヤクけう	釈教		名	釈迦の教。仏教。
シヤクし	釈氏		名	仏家。仏氏。
シヤクもん	釈門		名	仏門。
ジャケツ			名	{「ジャケツト」に同じ。
ジャケツト		Jacket	名	洋服の上衣の短かくして僅かに腰部に及ぶもの。短衫。
じゃしんブツこう	蛇心仏口		名	心の陰険にして口さきの親切なること。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
しやソウ	社僧		名	昔時、神社に仕へし僧。
しやちガハラ	賊瓦		名	しやちほこの形の瓦、屋根の端につけて火防の符とす。おにガハラ。
シヤツ			英 名	(「イギリス」語 Shirt の転訛) 西洋風の筒袖の襦袢。つつそでのほだぎ。(襦衣)。
シヤツター		Shutter	名	写真器械の付属具、手を用ひずして、迅速に「レンズ」の蓋(フタ)を開閉するために装置したるもの。
シヤツブ	洋帽		仏 名	(「フランス」語 Chapeau の訛) 西洋風のかぶりもの。ぼうし。
シヤツブのだい	洋帽台		名	首の称。
シヤツボ			名	前條に同じ。
シヤバ	娑婆		梵 名	1.【仏】(梵語 Saha、忍土又は忍界と訳す)内には三毒煩惱等の苦を外には…此世即ち現世の称。2.【獄内に対して、獄外の自由の世界の称。「一の風」。
シヤバき	娑婆氣		名	{世間に対し我体面を張らんとする意気。かちき。いきち。
シヤバふさぎ	娑婆塞		名	{次條に同じ。
シヤバふさげ	娑婆塞		名	無益に生存して、此世の邪魔となるもの。
シヤブル			名	{「シヤベル」の訛。
シヤベル		Shovel	名	土砂を抄(スク)ふに用ふる具、形火斗(ジフノウ)に似て大なり。
シヤボテン			名 植	{「サボテン」の訛。
シヤボン	石鹼	Savon	仏 名	苛性亜爾加里と脂肪又は油とを原料として製し固(カタ)めたるもの、化粧品又は洗濯用等に供せらる。
シヤボンだま	石鹼球		名	石鹼を水に溶(ト)き、其滴(シツク)を細き管の一方の口につけて、これをも他方の口より吹き出せしむる気球、小児の遊戯に行ふもの。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
じやま	邪魔		名	1.【仏】妄見を談論して、菩提の道のさまたげをなすもの。2. 障碍をなす悪魔。3. さまたげ。さはり。
シヤミ	沙彌		名 仏	(梵語 Sramanera、求寂の義) 仏門に入りて得度式を終(ヲ)へたるばかりの小僧。僧行未だ熟せざる初心の僧。
シヤミニ	沙彌尼		名 仏	仏門に入りて剃髪したるばかりの女子。修行未だ熟せざる初心の尼。
シヤム		Jam	名	果実を火にかけ砂糖にて練(ネ)りて製したる餡、西洋風の菓子に用ふ。
シヤムがは	暹羅革		名	昔時、「シヤム」国より渡来したる革、主に足袋などに用ひたり。
シヤムぞめ	暹羅染		名	サラサぞめ。
シヤモ	暹羅鳥		名 動	(「シヤムどり」の訛) 鶏の一種、初め「シヤム」国より渡来したるものにして、体軀巨大、頸長く尾短し、古来闘鶏に用ひらる。(闘鶏、反毛鶏)。
シヤモ			ア 名	蝦夷(エゾ)人の内地人を指していふ語。
シヤモン	沙門		名 仏	(梵語 Sramana、勤息の義) 善を勤(ツト)め悪を息(ヤ)むる人。出家して道を修する人。僧侶。(桑門、僧門)。
シヤラじゆ	沙羅樹		名 植	「サラじゆ」に同じ。
シヤラそうじゆ	沙羅双樹		名	「サラそうじゆ」に同じ。
シヤリ	舍利		名	1. 死骸を火葬に付して残りたる骨。… 2. (梵語 Sarira、骨・身の義) 「ブツシヤリ」(仏舍利)の特称。3. …一種の白石。4. …蚕の…死にたるもの。5. 米粉の異称。
シヤリタフ	舍利塔		名 仏	仏舍利を安置する塔形の小龕。
シヤリベツ	舍利別	Sirupos	ラ 名	砂糖又は砂糖分を煮詰めたるもの。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
シヤリ系	舍利会		名 仏	仏舍利の供養。
シヤン	靑素	Cyanogen	名 化	無色にして桃仁の如き臭気ある瓦斯、毒性あり。
シヤンク		Junk	名	支那人が沿海又は河川等にて乗客又は荷物の搭載運送等に使用する船、狭長にして高く水上に出づ、帆又は櫓にて操(アヤツ)るもの。
シヤンス	情人		名	(相思の唐音) (こひびと(九州の方言))。
シヤント		Shunt	名 理	電路の中央に作りたる岐路、本電路を通過する所強きに失く若しくは電路に感ずる所強き恐れを及ぼすとき、…
シヤンバン	三鞭酒		仏 名	(フランス)国 Champagne より製出する美酒、洋酒中最も高価なるもの。
シヤンベン	三鞭酒		名	前條に同じ。
じゆゲ	頰傷		名 仏	仏徳をたたへたる傷。
シユス	縞子		名	一種の綾織物、練(ネリ)糸を以て織り、地厚く滑(ナメラ)かにして光沢艶(ナラ)なり、支那の法に倣(ナラ)ひてこれを織り創(ハジ)めたりといふ。(八糸綾)。
シユチン	縞珍		名	上品なる縞子、即ち数種の糸を以て織りたる紋織、今は主に帯地又は羽織の裏などに用ふ。シチン。(七糸綾)。
シユバン	襦袢	Gibao	ボ 名	直に肌(ハダヘ)に着くる衣、多くは丈短きもの。はだぎ。
シユビン	(水+甕)瓶		名	(字の唐音) 座側に備へ置きて小便するに用ふる陶器の器。シピン。(尿器)。
シユミざ	須彌座		名	1. 兜(カブト)のはちまんざ。2. 仏像を安置する座。
シユミせん	須彌山		名 仏	(梵語 Sumeru、妙高山の義) 大海の中において金輪の上に繞り、日月これによりて回(メグ)り諸天これによりて居る、…

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
シユミだん	須彌壇		名 仏 仏像を安置する台。
シユラ	修羅		名 仏 阿修羅の略言。
シユラくるま	修羅車		名 大石を引くに用ふる車。
シユラだう	修羅道		名 1.【仏】「アシユラだう」に同じ。2. 戦闘又は争乱の場所。
シユラのちまた	修羅街		名 前條(二)に同じ。
シユラのまうしふ	修羅妄執		名 ねたみ。いかり。うらみ。
シユラば	修羅場		名 戦闘の場所。たたかひ。
シユラをもちす			ねたむ。いかる。うらむ。
シヨール		Shawl	名 「かたかけ」に同じ。
じようきボンブ	蒸気唧筒		名 蒸気機関によりて運転する「ポンプ」、消火用蒸気唧筒は其一なり。
シヨウマンアイゼン系	勝曼愛染会		名 陰曆六月朔日、大坂島の内にて行ふ祭礼。
しようろカン	松露菓		名 古代の一種の菓子。
しよよカン	薯蕷菓		名 一種の菓子、やまいもの根をすりて、道明寺と饅頭粉とを混じ、これに砂糖を加へて蒸(ム)したるもの。
しよよマンジユウ	薯蕷饅頭		名 一種の饅頭、やまいもの根をすり、餡をつつみて蒸(ム)したるもの。
シヨンスキ	祥瑞		名 伊勢國の住人五郎太夫が明國より伝へたる磁器の製法、頗る上品にして釉(クスリ)白く質甚だ密なり。
シラギごと	新羅琴		名 十二絃の琴、初め新羅國より渡來したるものにして、絃(イト)に十干及天地の名目あり。
しらはりチャウチン	白張提燈		名 白紙をはりたる提燈、葬式に用ふ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
シラブル		Syllable	名 「せつおん」に同じ。
シリンドル		Cylinder	名 機械の中に装置したる円柱体の称。
シルリング	志	Shilling	名 「イギリス」国銀貨の一、「ポンド」の二十分の一、約我國の四十八錢八厘にあたる。
しれいたフ	司令塔		名 艦船にて、其司令の任にあたる人の登りて指揮する小高き所。又、陸軍にて、其部隊の司令の任にあたる人の登りて指揮するための高塔。
しろミソ	白味噌		名 白色にして甘味ある味噌、白麩と白豆とを以て製したるもの。
しんがうラツバ	信号喇叭		名 信号に吹きならす喇叭。又、信号をなさんとするとき吹く喇叭。
ジンゴイズム		Jingoism	名 他國を侵略して領土を擴張せんとする主義。理非を論ぜず國勢を張らんとする主義。
しんじゆブツ	神儒仏		名 神道と儒道と仏道と。
ジンジンピア			英 名 (「イギリス」語 Ginger-beer の訛)生姜を原料として釀(カモ)したる清涼劑。
じんだミソ	糶(米+太)味噌		名 「じんだ」に同じ。
シンヂケート		Syndicate	名 經 企業家が相互の利益を図(ハカ)るために、共同的行動を目的として結びたる連合、加入者の独立的行動を制限若しくは絶塞して、相互間の競争を避(サ)くるもの。
シンてう	清朝		名 1.清國の朝廷。又、清國。2.「シンてうくわつじ」の略言。
シンてうくわつじ	清朝活字		名 漢字の活字の一種、字体は楷書にて畫(クワク)の横細くして縦太きもの。
しんブツ	神仏		名 神と仏と。神道と仏道と。「一混淆」。
スープ		Soup	名 肉類の滋養分を煎じ出したる液汁。ソツプ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ずうソウ	難僧		名 いとけなき僧侶。こゾウ。
スグリ	村主		名 (朝鮮の古語より出づといふ) 姓(カバネ)の一。
スグロク	双六		名 (字の朝鮮音)「スゴロク」に同じ。
スケツチ		Sketch	名 1. 小景の図画。2. 小品文。短編。
スコツチ		Scotch	名 英国「スコットランド」より出づる毛糸及び毛布。
スゴロク	双六		名 (字の朝鮮音) 1. 一種の遊戯、双六盤に黑白の石のおの十二の式に如くならべ、… 2. 一種の遊戯、紙面に多くの区画を満の如く設けたる中に、… 即ち道中双六の類。
スゴロクばん	双六盤		名 双六を行ふ盤、稍や長方形の面の中間に縦に一条の間地を設けたるもの、普通高さ一尺余あり。
ずソウ	従僧		名 供(トモ)する僧。
スタイル		Style	名 すがた。ていさい。
スタメント		Stammet	蘭名 経に麻を用ひ、緯に羊毛を用ひたる布。
スタンプ		Stamp	名 1. 印判。2. 消印。3. 印紙。切手。
すちバチ	筋鉢		名 筋金入の兜(カブト)の鉢。
ズツク			蘭名 (「オランダ」語 Doek の転か) 黄麻(ツナソ)の繊維にて織りたるもの、多く「インド」より産出す、敷物・上被其他広く諸種の用に供せらる。
スツボン	鱈		名 動 亀類に属する爬虫、背甲は稍や圓くして中央部のみ堅く、… 肉は滋養分に富む。
スツボンに	鱈煮		名 一種の料理、魚類を濃厚なるたれにて煮たるもの。
ステーション		Station	名 鉄道の停車場。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ステアリン		Stearin	名 化 「ステアリン」酸の「グリセリン・エステル」の称。
ステアリンさん	- 酸	Stearic acid	名 化 脂肪の含有する白色の結晶体、蠟燭製造に用ひらる。
ステツキ		Stick	名 1. 西洋風の杖(ツエ)。2. 活字を組むに、文選(ブンセン)したる活字を入れてならぶる具。
すてバチ	捨鉢		名 {自暴自棄。やけ。
ステレオタイプ		Stereotype	名 組み立てたる活版を紙の型(カタ)にとり、これに鉛を溶(ト)かし込みて一の版面を作り、印刷に供するもの。紙型。
ステロ			名 {「ステレオタイプ」の訛。
ステンシヨ			名 {「ステーション」の訛。
ストーブ		Stove	名 石炭などをたきて、室内に暖気をとる具。暖炉。
ストアがくは	- 学派	Stoicism	名 哲 古代「ギリシヤ」に起りたる学派、知識よりも実行を貴び、学理の研究より理性の指示に従ひ、…
ストライキ		Strike	名 1. 資本主に対して要求を迫り、… 同盟罷工。2. 転じて… 団結して業をやすむこと。3. 「ペーボール」にて、投手の投(ナ)げたる球が本塁の上を通し、…
ストリキニン		Strychnine	名 化 白色結晶状の有害物、少量は神経刺激剤として用ひらるれど、多量に用ひるときは、甚しき毒性を呈し痙攣を起さしむ。
ストロンチウム		Strontium	名 化 黄色の光沢を有する金属、其塩化物及硝酸塩は、熱するとき赤色の燄(ホノホ)を放つを以て、花火を製造するに用ひらる。
スナイドル		Snider	名 「しでうじゆう」(施條銃)に同じ。
すひあげポンプ	吸上唧筒	Suction pump	名 「ポンプ」の一種、円筒ありて其下底及活外上の方へ開く弁あり、… 水面より円筒の底に至るまでの高さは、水三四尺以下たるを要す。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
すひつけタバコ	吸付煙草		名 煙管(キセル)に煙草をつめ、これに火を吸ひつけて、其ま吸ひ得るやうにして人に出すもの。
スプレングルのくうきポンプ	- 空気唧筒	Sprengel's air pump	名 理 水銀空気「ポンプ」の一、「ドイツ」人「スプレングル」の発明にかかる、長さ一「メートル」許の硝子の管の下端より八十「センチ、メートル」許の所に、…
スベード		Spade	名 西洋骨牌の札の名、黒色の心臟形を描(エガ)きたるもの。
スペクトル		Spectrum	名 理 光線が「プリズム」を通過するとき、屈折率に応じて分散して映ずる現象。
スペクトルぶんせき	- 分析	Spectrum analysis	名 理 種々の元素は、これを高熱の気体となすとき、其元素が特有の輝線「スペクトル」を輝線の位置によりて其組織を検すること。
スポイト		Spuit	蘭 名 薬液を注射して患部を洗浄するに用ふる器。
スポウトウ			蘭 名 (「オランダ」語 Drop, zoeit (houtの訛)「オランダ」国より舶来したる痰の薬、甘草の汁を製したるものといふ。たんきり。(甘草膏))
スポンジ		Sponge	名 動 うみへちま。海綿。
スミせん	須彌山		名 仏 「シユミせん」に同じ。
すみそ	酢味噌		名 酢に和したる味噌。
スミのやま	須彌山		名 仏 「スミせん」に同じ。
スモタラ	蘇門答刺		名 六種香の一、初め「インド」諸島「スマトラ」より渡来したるものといふ。
スラング・ステーン		Slang steen	蘭 名 昔時「オランダ」人の癩(モタラ)したる薬にして、毒蛇の脳にあるといふ石、毒膜などを吸ひ取る効あるもの、即ち膿吸石。
すりこバチ	搗粉鉢		名 「すりバチ」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
スリツパー		Slipper	名 爪革ある西洋風の上草履。
すりバチ	搗鉢		名 食物などを搗り砕(クダ)く器、漏斗形をなし、多くは内面に縦線のぎざぎざを設く。
すりバチむし	搗鉢虫		名 動 「うすばかげるふ」の幼虫の称、搗鉢形の孔を掘りて中に住むよりいふ。あとびさり。
するぎんくうきポンプ	水銀空気唧筒	Mercury air pump	名 理 水銀を長き管中に流下し又は長き管に挿入する装置の「ポンプ」。「スプレングル」水銀空気唧筒は其の一なり。
するさんくわカリウム	水酸化-	Potassium hydroxide	名 化 無定形の白色塊、湿気及無水炭酸を引き、…一に苛性加里ともいふ。
するさんくわカルシウム	水酸化-	Calcium hydroxide	名 化 白色の粉末、酸化「カルシウム」に水を加へ「カルシウム」に変ず、…一に消石灰といふ。
するさんくわナトリウム	水酸化-	Sodium hydroxide	名 化 白色無定形の脆(モロ)き固体、…劇性の塩基にして、石炭製造等に広く用ひらる、…一に苛性曹達といふ。
スキトン	水団		名 饅頭粉を水にて捏(コ)ね、これを傾合の大きさをわけて、一つ一つ汁に入れて煮たるもの、支那人の常食とす。
セイウチ	海象		名 動 脚鱗類に属する哺乳動物、北海に産す、あざらしに似て、力逞(タクマ)しい、なる牙二本生ず、水象牙とて彫刻に用ふ。
セイクル			名 海象(セイウチ)の上顎にある二本の長ききば。
せいしボサツ	勢至菩薩		名 仏 大勢至力の知恵ありといふ菩薩の名。
せいソウ	清僧		名 品行きよき僧侶。
セイタカ	制(口+屯)連		名 仏 不動明王の臨立(ワキダチ)、左に三鈷を握り、右に金剛棒を持ちたるもの。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
セイタカどうじ	制(口+屯) 迦童子		名 1.【仏】前條に同じ。2.背高の人。
セイミ	舍密	Chimie	蘭 名 「くわがく」(化学)に同じ。
セイミがく	舍密学		名 前條に同じ。
せいやうカルタ	西洋骨牌		名 「トランプ」に同じ。
せいやうタバコ	西洋煙草		名 西洋の葉煙草を原料として製したるもの又は西洋より渡来したる巻煙草又は刻煙草。
セイラス			名 「オランダ」人の始めて膚(モタラ)しし一種の絹織の絹。
せうくわようじようきボンブ	消火用蒸汽唧筒		名 消火に使用する蒸汽唧筒、鉄製の丈夫なる馬車台に汽鑪及蒸汽機関と押上唧筒とを据(ス)ゑたるものにして、...
せうさんカリウム		Potassium nitrate	名 化 「せうせき」(硝石)に同じ。
せうさんナトリウム	硝酸-	Sodium nitrate	名 化 「ソーダせうせき」(曹達硝石)に同じ。
セウダイ	招提		梵 名 (梵語 Caturdesa の略)てら寺院。
せうまきやう	照魔鏡		名 1.照(テ)らして魔の本性をあらはし出だすといふ靈威あるかがみ。2.転じて、隠れたる本体をうつし出だすものにいふ。「社会の-」
せきタフ	石塔		名 1.石造の五輪塔。2.はかいし。基礎。
せきたんガス	石炭瓦斯		名 1.石炭を空気に触れしめずして熱するときに発する可燃性の気体、燃料・燈用に供せらる。2.石炭油の灯火より立ちのぼる黒き気体。
せきたんタール	石炭-	Coal-tar	名 化 「コールタール」に同じ。
せきブツ	石仏		名 いしボトケ。
セコンド	Second		名 1.一分時の六十分の一、即ち秒。2.懐中時計。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
セシウム	Caesium		名 化 稍や稀なる金属、軟(ヤハラ)かにして空気に触れば燃(モ)ゆ、其化合物の性質は「カリウム」の化合物に類す。
セソウ	施僧		名 僧侶にものを施すこと。
セチリ	刹利		名 「セツリ」に同じ。
セツ	刹	Caitya	梵 名 仏寺。寺院。
せつソウ	拙僧		代 僧の自称の代名詞。愚僧。
セツテイリ	刹帝利		名 「セツリ」に同じ。
セツナ	刹那	Ksana	梵 那 仏 極めて短少なる時間。一彈指の間。劫の対。
セツリ	刹利	Kostriya	梵 那 印度の四姓の一、婆羅門の次位にあるものにして、王・武士の種族なり。
セメン			名 {1.「セメンシイナ」の略言。2.「セメント」の略言。
セメンシイナ	施綿矢那	Cemencinae	蘭 那 虫くだしに用ふる苦味の葉。
セメント		Cement	名 粘土と石灰との混合物を焼きて粉碎したるもの、これに消石灰と砂とを混じり水にて練(ネ)れば、乾きたる後堅硬にして水のために侵害せられず、土木工事建築等に用ひらる。
ゼラチン		Gelatine	名 化 動物の骨皮等を水と共に煮て製したる膠の主成分、熱湯に溶解し易けれど、其溶液を冷却すれば粘質となる。
セリー		Sherry	名 「スペイン」産の一種の酒。
セリウム		Cerium	名 化 稀有なる鉄色の金属。
セル			名 {「セルジ」の略言。
セルジ		Serge	名 一種の羅紗、地薄くしておもに夏衣に仕立つ。「セル」。
セルローズ		Cellulose	名 化 植物細胞の膜をなすものにして、水又は「アルコール」等に溶解せず、強硫酸に徐々に溶解す。(纖維素)。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
セルロイド		Celluloid	名 化 「ニトロ、セルローズ」に商標を混じり 圧搾して得たる半透明のもの。
ゼロ		Zero	名 むなしきこと。なきこと。零。
ゼン	禪		名 仏 (い) (梵語、禪那 Dhyana の略 言) 慮を静め心を明かにして理に達す ること。… (ろ) 禪宗の略言。(は) 坐禪の略言。
ゼンい	禪衣		名 おひずり。
ゼンかく	禪閣		名 禪宗の寺院。
ゼンかく	禪学		名 禪によりて知恵をひらく学問、即ち禪 宗の教学。
ゼンかふ	禪閣		名 摂政若しくは関白たりし人の致仕して 後、仏門に入りたる時の称。
ゼンけ	禪家		名 禪宗。又、其寺院。
ゼンじ	禪師		名 1. 法師。2. 知徳高き禪僧に、朝廷より 賜はる号。「沢庵」。
ゼンしつ	禪室		名 禪を修する室。
ゼンしゆう	禪宗		名 仏 仏教の一派、即ち、臨済宗・曹洞宗・ 黄蘗宗等の総称。…
せんスペクトル	線 -	Line spectrum	名 理 「スペクトル」の輝線より成るもの、 気体を高熱せしむるとき生ず。
ゼンソウ	禪僧		名 禪家の僧侶。
センダイ	闍提	icchantika 梵	名 仏 因果を信ぜず仏法をそしること。
せんだいミソ	仙台味噌		名 陸前国仙台地方より産出する赤味噌、 上品にして少しく酸味あり。
せんたくシャボン	洗濯石鹼		名 おもに洗濯に用ふる下等の石鹼。
せんたくソーダ	洗濯曹達		名 化 曹達灰を湯に溶(ト)かして其まま放 却するとき生ずる無色の結晶体、水 に溶(ト)け易く、衣服の洗濯に用ひ らる。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ゼンたふ	禪榻		名 禪定を修するこしかけ。
センタラ	旃陀羅		名 (梵語、殺者と訳す) 穢多。屠者。
センダン	栴檀		名 植 (い) 「あふち」(棟)の一名。(ろ) (梵語 Candana) 仏經に南天 竺に産すといふ一種の香木。
センダンいた	栴檀板		名 鍔(ヨロヒ)の右の肩より胸にかけて 着くる板。胴のつりを切られざるため のもの。
センダンかう	栴檀講		名 陽暦四月十六日三井寺にて行ふ法会。
センダンはふ たばよりかん ばし			すぐれたる人は小児のときより其器量 の凡俗に異なるをいふ。
センチ・グラ ム	毫	Centigramme	名 一「グラム」の百分の一。
センチメート ル	釐	Centimetre	名 一「メートル」の百分の一、三分三厘 に当る。(瓊米突)。
ゼンちやう	禪定		名 1. 【仏】寂靜三昧に住すること。入定 。2. 駿河国富士山・加賀国白山・越中 国立山などの高山に、信者の登りて行 を修すること。
ゼンちやうほ ふわう	禪定法皇		名 禪定を修して功徳を積みたまひし法皇 。
ゼンちやうも ん	禪定門		名 【仏】仏道を修する人。
セント	仙	Cent	名 一弗の百分の一、凡そ我国の二銭に当 る。
ゼントルマン		Gentleman	名 紳士。君子。
ゼンニ	禪尼		名 仏門に入りたる女。禪門の対。
ゼンばふ	禪法		名 禪定のみち。
ぜんブツ	前佛		名 仏 前に色身を現じだつ仏、即ち釈迦牟尼 世尊の称。
せんべいブト ン	煎餅布団		名 綿少なくしていと薄き布団。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語	語釈
ゼンみ	禅味		名	禅のおもむき。
ゼンもん	禅門		名	1. 仏門に入りたる男子。2. {乞食。(薩摩・日向地方の方言)}。
ゼンりん	禅林		名	禅宗の寺院。
ソース		Sauce	名	酸味を帯びて鹹味ある一種の汁、西洋料理に用ふるもの。
ソーダ	曹達	Soda	名 化	炭酸「ナトリウム」の称、昔時は海草の灰より製したれど、今は食塩と洗ふのとを熱して製す、多く衣服等を洗うに用ひたるより、一に洗濯曹達の名あり。
ソーダ・ガラス	曹達硝子	Soda glass	名 化	「カルシウム」及「ナトリウム」の珪酸より成る硝子。「クラウンガラス」。
ソーダせうせき	曹達硝石		名 化	南「アメリカ」「ベル」国に多量に産する「ナトリウム」の硝石製造に用ひらる、一に硝石「ナトリウム」ともいふ。
ソーダせきくわい	曹達石灰		名 化	苛性曹達と生石灰との融合物。
ソーダばひ	曹達灰		名 化	不純なる炭酸「ナトリウム」の称。
ソウ	僧		名	1. (梵語 Samgha 衆合の義) 仏門に入りて仏に事ふることをめとする人。法師。沙門。出家。比丘。2. 転じて、宗教に入りて、其の修業に一身を委(ユダ)ぬるもの。
ソウあん	僧庵		名	僧のすむいほり。
ソウい	僧衣		名	僧の着る服。ころも。
ソウか	僧家		名	僧侶。又、寺院。
ソウかう	僧綱		名	僧官又は僧位の称、即ち僧正・僧都・律師又は法印・法眼・法橋等の総称。
ソウがう	僧號		名	僧としての称呼。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語	語釈
ソウかうくび	僧綱頸		名	小袖の衿を折らずして着ること、防寒のためなりといふ。
ソウくわん	僧官		名	僧の官、即ち僧都・僧正・律師の類。
ソウけ	僧家		名	1. 僧の居所。2. 僧侶。
ソウじやう	僧正		名	僧官の第一、大・正・権の三階ありて、大は大納言に、正は中納言に、権は参議に准ぜしもの。
ソウせき	僧籍		名	僧侶の戸籍。僧侶の身分。
ソウぞく	僧俗		名	僧侶と俗人と。
ソウづ	僧都		名	僧正に次ぐ僧官。大・少ありておのおの正・権あり。
そうづカラウ	添水唐白		名	板にてつくり田に水を引くに用ひしもの。
ソウト	僧徒		名	僧のともがら。僧侶。
ソウニ	僧尼		名	僧とアマと。
ソウばう	僧房		名	僧の居る家。(僧所)。
ソウへい	僧兵		名	古昔、叡山などに蕃(タクハ)へおきし僧侶の兵士。
ソウもん	僧門		名	僧家。
ソウりよ	僧侶		名	僧徒。
そうりんたふ	層輪塔		名	輪の数多層(カサ)なりたる塔。
ソウろくし	僧録司		名	足利義満の時に始めて置きたる職、僧事を録し法儀を掌りしもの。
ソウゐ	僧位		名	僧の位、即ち法印・法眼・法橋等の称。
そくしんじやう	即身成仏		名 仏	父母生む所の現身にして直に仏となること、即ち個々具足する仏性を発現して解脱得道すること。
ぞくソウ	俗僧		名	性行いやしき僧侶。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ソヂウム		Sodium	名 化 「ナトリウム」に同じ。
ソツプ	肉汁	Soup	名 「スープ」に同じ。
ソトバ	卒堵婆		名 仏 (梵語 Stupa 高く顯やるる義にし、て、方墳又は廟と訳す) 死者の骨を埋(ウツ)めたる処の標識として、石ななどを高く積み上げたもの…(塔婆)。
ソハカ	薩婆訶		名 仏 (梵語 Svaha 善説の義) 真言宗にて、陀羅尼呪文の末にいふ語。
そばマンヂユウ	蕎麦饅頭		名 蕎麦粉を以てうはかはをつくりたる饅頭。
ソマトーゼ		Somatose	名 肉類より製したる黄色の粉末、無味無臭にして水に溶解易し、蛋白質を消化すれども栄養剤として効少し。
ソメイロ	蘇迷臚	Sumeru	梵 名 「シユミせん」に同じ。
ソモサン	什麼生		副 それはどうした。いかに。(支那近古の俚言)。
ゾロアスターけう		Zoroastrianism	名 「ゼンドアベスタ」經中に説かれたる、ゾロアスターの宗教、善悪の二神を立て、火を善神の標象として、これを拝す。
ソロバン	算盤		名 1. 我国在来の計算器、底浅く横長き箱に横に…(桁の條参照)。2. かんちやう。計算。
ソロバんだま	算盤珠		名 1. 算盤の串に貫きてある珠。2. かんちやう。計算。「-があはぬ」。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ダース	打		英 名 (「イギリス」語 Dozen の訛) 品物十二個一組の称。
タール		Tar	名 「コールタール」に同じ。
ターレル		Thaler	独 名 「マルク」の三倍の価、我国の一圓四十銭余に当る。
だいいちコイル	第一ー	Primary coil	名 理 感応「コイル」の條を見よ。
たいシャク	帝釈		名 仏 (帝は梵語 Indra の義訳にして釈は梵語 Sakra、漢梵並拏の語) 天竺の神、三十三天の主にして、其居所を喜見城といふ。
たいシャクテ	帝釈天		名 仏 前條に同じ。
だいいシャモン	大沙門		名 仏 如来の称。
だいいソウじや	大僧正		名 最高等の僧官。
ダイナマイト		Dynamite	名 化 「ニトログリセリン」を硅藻土に吸収せしめたるもの、爆発薬として使用せらる。
ダイナモ		Dynamo	名 理 「はつでんき」(発電機)に同じ。
だいにコイル	第二ー	Secondary coil	名 理 感応「コイル」の條を見よ。
だいいねんブツ	大念仏		名 仏 「だいいねんブツしゆう」の略言。
だいいねんブツ	大念仏宗		名 仏 「ゆうづうねんブツしゆう」(融通念仏宗)の略称。
だいいほサツ	大悲菩薩		名 仏 觀世音菩薩の異称。
タイプ		Type	名 1. しるし。記号。2. かた。てほん。3. 活字。
だいいブツ	大仏		名 巨大なる仏像。おほボトケ。「奈良の-」。
だいいブツもち	大仏餅		名 京阪地方にて流行の餅、奈良大仏を本尊とせる京都誓願寺門前の餅家にて売り出ししよりいふ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
たいぶつレンズ	対物 -	Object lens	名 理 顕微鏡・双眼鏡・望遠鏡等の條を見よ。
タイプライター		Typewriter	名 通信文又は原稿等を認むるに使用する一種の器械、前面に「アルハベツト」「数字・句点の記号等を配置したる「ボタン」様のものあり、…
たいミンちく	大明竹		名 植 めだけの一種、高さ一丈許、葉の短く細かきもの。
たいミンづき	大明頭巾		名 宝暦年間、中村富十郎といふ女方の俳優が、寒風を防ぐためとて製したる一種の頭布。
だいまんのかウライ	大紋高麗ウライ		名 ふとき紋ある高麗ペリ。
タイヤ		Tyre	名 ゴムにてつくりたる自転車の輪。
ダイヤ			名 「ダイヤモンド」(二)に同じ。
ダイヤモンド		Diamond	名 1. 金剛石。2. 西洋骨牌の札の名、菱形をなす赤色の模様あるもの。
ダイヤモンドしき		Diamond wedding	名 共存せる夫婦が、結婚後六十年目に行ふ賀式。
だいヲシヤウ	大和尚		名 身体のたくましき和尚。又、知徳のすぐれたる和尚。
ダイ		Dyne	名 理 力の単位、一瓦(グラム)の物体に毎秒一種(センチメートル)の加速度を與(アタ)ふる力。
たうザン	唐棧		名 舶來の棧留(サントメ)績。
だうちゆうスゴロク	道中双六		名 東海道の宿場などを畫(エガ)きたるまはりスゴロク。(双六の條参照)。
たうピン	湯瓶		名 ゆわかし。
たうマンチユウ	唐饅頭		名 一種の菓子、かには固(カタ)き「カステイラ」の類にして、内に餡(アン)を包(ツツ)み、圓く扁(ヒラタ)く焼きたるもの。
タオル		Towel	名 「せいやうてぬぐひ」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
たかはりチヤウチン	高張提燈		名 竿につけて高く掲(カカ)ぐる提燈。又、其製に擬したる提燈。
タガヤサン			名 植 棕櫚科に属する木、熱帯地方に産す、材は質堅く黒褐色にして、木理はくわりんに似る、器具の材料として珍重せらる。(鉄刀木)。
たくハツ	托鉢		名 僧尼の鉢を持ち人家に就きて米錢を乞(ゴ)ふこと。
だしんブツコウ	蛇心仏口		名 「じやしんブツこう」に同じ。
たそやアンドウ	誰哉行燈		名 {ぼんぼりに似たる行燈、稀には手燭の用に供す。
たちボトケ	立仏		名 立姿の仏像。
たてカハラ	豎瓦		名 壁の腰などに添へつくる平たき瓦。
ダニエルでんち	-電池	Daniell's cell	名 理 稀硫酸を満たしたる磁器の中に、亜鉛板を其器に從ひ曲げて入れ、更に硫酸銅の飽和溶液を充てて銅片を挿入したる電池…
タバコ	煙草	Tabaco	ボ 名 1. 【植】茄科に属する草、…葉は「ニコチン」と称する「アルカロイド」を含有すれど、…(莢)。2. 煙草の葉を製して吸煙の料としたるもの、…
タバコいれ	煙草入		名 刻煙草を入れて携ふる袋。
タバコばうちやう	煙草包丁		名 煙草の葉を刻むに用ふる包丁、長さ短くして幅広きもの。
タバコぼん	煙草盆		名 火入灰吹など、すべて喫煙の用具を盛る盆。
タバコヤ	煙草屋		名 煙草を売る家又は人。
ダビ	茶毘		梵 名 (梵語 Jhapita の略、焚燒の義) 火葬。「一の煙」。
たびしガハラ			名 (石瓦の義) 数にもあらぬ賤民の稱。「数にもあらぬ一も」。「一まで悦び思う」。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ダビしよ	荼毘所		名 火葬する所。火葬場。
たびソウ	旅僧		名 旅行してあるく僧侶。
たひミソ	鯛味噌		名 一種の食品、鯛の肉を碎(クダ)きて味噌に摺(ス)りませたるもの。
タフ	塔		名 仏 (い) (「ソトバ」の略言) 死者の屍標(カバネ)を埋(ウツ)めたる処の(シルシ)として…(ろ) 仏殿に添へて建つる高さ建物、…
ダブツ	陀仏		名 {阿彌陀仏の略語。
タフバ	塔婆		名 「ソトバ」に同じ。
たまミソ	玉味噌		名 味噌の一種、搗(ツ)かずして包丁にて切り、藁(ワラ)に包(ツツ)みて貯ふるもの。
ダムダムだん	一弾	Dumdum bullet	名 (英領「インド」D u m d u m 市にて「製造せしよりいふ)一種の弾丸、したるへ「グ」の万国平和会議に参同、しと各名は、これを戦争に使用せざること宣言せり。
タラ	多羅	Tala	梵 名 植 棕櫚科に属する木、多く「インド」に産す、針を以て経文を刻(キザ)みしこれに針を以て経文を刻(キザ)みし、タラじゆ。「パイタラ」。
ダラ	弗		名 {1.「ドルラル」の訛。2.貨幣。
ダラさうば	弗相場		名 「ドルさうば」に同じ。
タラえふ	多羅葉		名 1.「タラ」の葉。2.【植】冬青科に属する木、…観賞用として栽培せられ、又、其樹皮より鱗(モチ)を製す。
ダラクマ		Drachma	名 薬劑を量る秤目、「イギリス」及「アメリカ」のは、我国の一匁三厘六毛半強に当り、「フランス」のは、我国の一匁二厘強に当る。
タラじゆ	多羅樹		名 植 「タラ」に同じ。
ダラすけ	陀羅助		名 {「ダラニすけ」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ダラニ	陀羅尼		名 仏 (い) (梵語 Dharaṇī 能持又は法總持若しくは能速と訳す) 種々の善法を集め持(ト)りて散失せしめざることを…(ろ)「ダラニじゆ」の略言。
ダラニじゆ	陀羅尼呪		名 仏 経文の題目。又、呪文。
ダラニすけ	陀羅尼助		名 もと僧侶が陀羅尼を誦する時、睡気のを催(モヨホ)すを防(フセ)ぐために口に含みしもの、今は腹痛の薬として…ダラすけ。
ダラム		Dram	名 「イギリス」国の秤目、一「オンス」の八分の一、我国の四分七厘余に当る。ドラム。
タリウム		Thallium	名 化 稀有なる金属元素、鉄又は銅の鉱石中にあり、淡青色にして鉛の如き光沢を帯ぶ。
ダルトンのていりつ	一の定律	Dalton's law	名 理 気体の混合に関する定律、混合気体の圧力は各気体の圧力の和なること。
ダルマ	達磨		名 1. (梵語 Dharmā 法の義) 天竺の僧達磨の像に似せてつくりたる玩具、…不倒翁。2. {ちご。淫売婦。
ダルマぎく	達磨菊		名 植 菊科に属する草、茎は直立して枝を生ぜず、花は大形白色、葉は円形にして淡緑色を呈す、陰乾にして粉となし、駆虫剤とす。
ダルマさう	達磨草		名 植 「ダルマぎく」に同じ。
たれミソ	垂味噌		名 ものを煮(ニ)るに用ふる汁、味噌一升に水三升五合を混(マ)せて三升に煎じつめ、これを袋に入れて滴(シタタ)らしたるもの。
ダンカ	檀家		名 寺院に付属せる檀那の家。ダンけ。「大寺-多し」。
タンク		Tank	那 大いなる槽(ヲケ)。「石油-」。
たんくわカルシウム	炭化-	Calcium-carbide	名 石灰と炭とを電気炉中にて化合せしめたる石の如き塊、水を加ふればアセチレン瓦斯を発生す。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ダンけ	檀家		名 「ダンか」に同じ。
たんさんガス	炭酸瓦斯		名 化 無水炭酸の称。
たんさんカリ	炭酸加里		名 化 炭酸「カリウム」に同じ。
たんさんカリウム	炭酸-ウム	Potassium carbonate	名 化 「カリウム」の炭酸塩にして、潮解し易き白色の粉末、植物質の灰中に多量に存在し、其水溶液は「アルカリ」性に富む、医薬用に供せらる。
たんさんカルシウム	炭酸-シウム	Calcium carbonate	名 化 「カルシウム」の炭酸塩にして、方解石・大理石・石灰…天然水は炭酸「カルシウム」を煮沸すれば炭酸を失ひ炭酸「カルシウム」を沈澱す。
たんさんソーダ	炭酸曹達		名 化 曹達に同じ。
たんさんナトリウム	炭酸-リウム	Sodium carbonate	名 化 曹達に同じ。
たんしゃりべつ	単舍利別つ		名 白砂糖六十五分を蒸留水三十五分に溶解せしめたる液、薬剤の調味に用ふ。
ダンス		Dance	名 西洋風の舞踏。
たんせいゴム	弾性護膜	Elastic gum	名 「ゴム」(二)に同じ。
ダンちゆう	檀中		名 ダンかのうち。
ダンツウ	段通		名 (毯子の唐音) 一種の織物、もと支那より伝来す、麻を原料とし、羊牛の毛又は絹糸などをまじへて織る、多くは敷物に用ふ。
ダンつく			名 { 旦那の称。
ダンと	檀徒		名 檀家の人々。
ダンナ	旦那		名 1. (梵語 Dana-pati の略) 施主。檀家。檀越。(檀那)。2. 主人。主公。3. をつと。良人。4. 妾の事。5. 男子。6. 商家の顧客。7. …貴人に対して用ふる敬称。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ダンナデラ	旦那寺		名 わが家の帰依する寺。(香華院、菩提寺)。
ダンナとり	旦那取		名 { 旦那を取ること。めかけ奉公すること。
タンニン		Tannic acid	名 化 無色塊状の物質、容易に水に溶解して、渋味を有する溶液を生ず、五倍子・茶其他多くの植物中に存在す、染色又は柔皮の製造等に使用せらる。
ダンぼう	檀方		名 ダンか。
ダンベル		Dumb-bell	名 体操の用具、長さ一尺許の棒の両端を球形につくりたるもの、二個を一組とし、左右両手に各一個を持ちて使用する。(重鈴)。
タンボ	湯婆		名 (字の唐音) 中に湯を入れ冬季暖脚に暖気を取る器、金属又は陶器などにてつくる。ゆタンボ。
だんまつマ	断末魔		名 しにぎは。臨終。
ダンりん	檀林		名 寺の称。
ダンヲチ	檀越		名 旦那(一)に同じ。
チー	尺		名 数 清国の長さの基本単位、我国の一・一八二尺に当る。
チーハー	字華		名 (字の清音) 富籤に類する一種の賭事、催主より詩句の如き隠語を出し、主は規定の三十六種の中にて解答をつくり、金をそへて催主に送る、…(一八)。
チアスターゼ		Diastase	名 麦の萌(モヤシ)中の酵母菌より得たる薬剤、黄白色の粉末にして、水に溶け易く、澱粉を糖化する。
ヂウロンブチーのていりつ	-の定律	Dulong-Petit's law	理 各固体元素の比熱と原子量との相乗積が皆な等(ヒト)しいといふこと。
チェイン	鎖	Chain	名 数 「イギリス」国の距離の単位、即ち十二碼の称にして、我国の十一間四寸弱に当る。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語	語釈
チエエ	七		数	(字の唐音)	拳にて、ななつの称。
チエトヴェルト		Chetvert	名数		「ロシヤ」国の穀量の単位、二百十一「リットル」余に当り、我国の一石一斗余に当る。
チエレキじやうすう	- 常数	Dielectric constant	名理		二つの導体の間に或絶縁物を入れたるとききの電気容量とその空気のときの電気容量との比。
チエレキたい	- 体	Dielectric substance	名理		「ぜつえんたい」(絶縁体)に同じ。
ちカラ	地唐		名		(地唐白の義)「カラうす」の称。
ちぐちアンドン	地口行燈		名		地口をしるしたる燈籠、多くは疎畫をかき加へて祭礼又は縁日などに、路傍にたつもの。
チクドン	筑登子		名		琉球にて、「さとのし」に次ぐ最下の琉官。
ちざうボサツ	地藏菩薩		名	仏	釈迦仏入滅より彌勒仏出世に至る間の六道能化の付属を受けたりと称せらるる菩薩、…
ヂストマ		Distoma	名	動	扁虫類に属する一種の微虫、舌状扁平にして、体の両端に吸盤を具す、人類の肝臓又は肺臓などに寄生す。
ちゼン	痴禪		名		禪に参すれども、知見の啓(ヒラ)けざるもの。
ちソウ	持僧		名		「ごちソウ」(護持僧)に同じ。
チタン		Titanium	名	化	灰色の金属様光沢を帯(オ)ぶる稀有な元素。
チフス	窒扶斯	Typhus	名		「ちやうチフス」(腸窒扶斯)に同じ。
ちブツ	持仏		名		常に己の居間に安置するか若しくは身に持ちて信仰する仏体。
ちブツだう	持仏堂		名		持仏又は祖先の位牌を置く堂。(念誦堂)。
チフテリア	実布的里垂	Diphtheria	名		幼児に多き一種の伝染病、「チフテリア」菌に起因し、おもに空気を経(へ)て呼吸器より伝染す、…ばひふう。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語	語釈
チメンシヨ		Dimension	名	理	或量の単位を基本単位より形成すべき累算の称、…長さの単位を「チメンシヨ」はL-1 T-1なるが如し。
チヤウ	茶宇		名		「チヤウじま」(茶宇縞)の略言。
ちやうカタ	腸加答兒	Bowel catarrh	名		腸の「カタル」を生じたる病、急性と慢性とあり、急性のものは腹痛(イタ)み下病し或は下痢し或は便秘す。
チヤウじま	茶宇縞		名		(「インド」国Chaulといふ地名に起る)舶来の絹布、薄くして軽く珀織に似る、多くは袴地とす。
ちやうチフス	腸窒扶斯	Typhus	名		窒扶斯「バチルス」に起因する一種の悪寒伝染病、し、身体に倦怠を感ずる、寒熱(ハ)膨れ、…
チヤウチン	提燈		名		(字の唐音)1.点火して夜暗を照す携に帯用の具、細き竹を骨とし、このて紙を張り、伸縮自在なるの泡を立てて置くもの。
チヤウチンぎやうれつ	提燈行列		名		祝意を表するため多人数の団が個々提燈を携へて夜中にねり行くこと。
チヤウチンや	提燈屋		名		提燈をつくり又は売る人又は家。
チヤウチンもち	提燈持ち		名		1.夜行に提燈を持ちて前に立ち、同行する人のために路を照らし行くもの。 2.他人のおさきに使用せらるる人ののしりていふ語。
チヤウチンにつりがね					縁談などにて、相手の身分品位が一方に比して余りに高くつりあはぬにいふ。
ちやうみカタ	腸胃加答兒		名		腸と胃とに加答兒をおこすこと。
チヤツ	漆子		名		(字の唐音)菓子などを盛る漆器、形は圓き盆の如くにして底に糸尻あるもの。(銘々盆)。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ちやビン	茶瓶		名 1. 茶を煎じ出す釜。2. 昔時、外出の時に茶道具一切を入れて携へたる具。(茗(木+盞))。3. (やくわん。(京阪地方の言))。
ちやビンしき	茶瓶敷		名 茶瓶の下にしくもの。
チャブだい			名 (「チャブ」は卓の唐音) (食事用の脚ある台)。
チャブや			名 開港場などにて、おもに外国人を顧客とする銘酒屋兼帯の小さき飲食店。
チャボ	矮雉		名 1. 【動】雉の一種、もと舶来のものにして、脚短く形小さし、嘴脚の黄なるを上品とす。2. (たけ低きもの)。
チャボひば	矮柏		名 植 丈の甚だ低きひばの木。
チャルメラ	哨呐	Charamela	ボ 名 一種の楽器、喇叭に似て孔(アナ)七つあり、管は木製、頭と尾とは銅にてつくる。(太平簫、哨那)。
チャン	瀝青		那 松脂に油を加へて練(ネ)りたるもの、粘(ネ)ばりて黒し、腐朽又は漏洩を防(フセ)ぐために物に塗る。
チャン	丈		名 (字の清音) 清國の長さの単位、尺(チー)の十倍にして我国の一、八二尺に当る。
チャンピオン		Champion	名 1. 勇士。2. 選手。
ちゆうクロームさんカリ	重-酸加里		名 化 「ちゆうクロームさんカリウム」に同じ。
ちゆうクロームさんカリウム	重-酸-	Potassium bichromate	名 化 赤色を帯びたる結晶物、「クロム」酸「カリウム」に硝酸を加ふればこれを得、広く染料に用ひらる。
ちゆうソー	重曹		名 重炭酸「ソーダ」に同じ。
ちゆうソウ	住僧		名 其寺に住む僧。
ちゆうたんさんソーダ	重炭酸曹達	Bicarbonat e of soda	名 化 白色にして細粒状をなす結晶体、医薬等に使用せらる、即ち、炭酸水素「ナトリウム」の称。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
チヨーウ		Chalk	名 炭酸石灰を棒状に固めたるものにして、黒板に字などを書くに用ふ。
チヨコレート		Chocolate	名 「カカオ」(二)に同じ。
チヨツキ			英 名 (「イギリス」語、J a c k e t の説) 1. 洋服の上着の下に着る短き衣服、袖なくしてただ腹と背とを被(オオ)ふもの。
チヨロケン	著羅絹		名 本目ありて質かいきに似たる一種の絹布。はじめ「オランダ」又は広東等より舶来せり。
チリせうせき	智利硝石	Chili salt-petre	名 化 水に溶解し易き粒状の結晶体。性質は硝石に類似す。南「アメリカ」の「チリ」國に多く産するより此名あり。
チン	亭		名 (字の唐音) 庭園などに造るあづま屋。(木+射)。
チン	狎		名 動 狗の一種、もと舶来せるもの、体軀矮小にして面貌滑稽なり、室内に飼ふ。
チンキ	丁幾	Tincture	名 「アルコール」にて或物質を溶(ト)きたる液。
チンけう	聴叫		名 (「チン」は聴の宋音) 禪家の奴僕、禪家にて使う童子。
チンころ			名 動 (「チン」(狎)に同じ)。
ちんソウ	陣僧		名 昔時、陣中に伴ひし僧侶。
つくりボトケ	作仏		名 木造の仏像。
づしボトケ	厨子仏		名 厨子の中に安置したる仏像。
ヅダ	頭陀		梵 名 (梵語 D h u t a - a n g a の略) 僧の行く行く銭を乞(コ)ひて修行すること。又、其僧。
ヅダふくろ	頭陀袋		名 1. 頭陀の僧が物を入れて頸(クビ)に懸(カ)くる袋。2. 死人を葬るとき、其頸に懸くる袋。
つちボトケ	土仏		名 泥土にて作りたる仏像。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ツツ	豆子		名 (字の唐音) 中の深き椀の如きもの。
つつガハラ	筒瓦		名 「をガハラ」に同じ。
つつみガハラ	碓瓦		名 日本風の瓦屋根にて、棟(ムネ)より軒(ノキ)につづきて堤の如く見ゆる瓦、即ち「をガハラ」の称。(筒瓦)。
つつみボタン	包釦		名 上面を布帛又は羅紗などにて包みたる「ボタン」。
つづみボタン	腰鼓釦		名 二つの「ボタン」をつなぎて腰鼓のさまにしたもの、彼と此との孔に通して二つのものをかけとむるに用ふ。
つぶしアン	潰餡		名 赤豆(アヅキ)を摺(ス)り潰して漉(コ)さずに製せる餡。
つまみヤウカ	撮羊羹		名 一種の菓子、しぐれまんちゆうに類して、餡を固(カタ)めて其中程をつまみたるもの。
つやけしガラ	艶消硝子		名 金剛砂を以てすりてつやを消し、不透明としたる硝子。
つりチャウチ	釣提燈		名 つりさぐるやうにつくりたる提燈。
ツン	寸		名 清国の長さの単位、「チー」の十分の一。
テーブル	卓子	Table	名 脚高き机、椅子に腰をかけて又は立ちてこれを使用するもの。
テーブルかけ	卓子掛		名 卓子にかけおほふ布帛。
テール		Tael	名 清国の重量の単位、即ち兩(リヤン)の称。(在東洋欧米人の語)。
テール	兩		名 清国の貨幣の単位、我国の一圓二十九銭余に相当す。
デアマン		Diamant	名 蘭 金剛石。
てあらひバチ	手洗鉢		名 てうづバチ。
デウス		Deus	名 波 (「ポルトガル」語 Deus、神の義、昔時、天主教の「パテレン」の伝へたる語) 天帝。造物者。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
テウチン	挑燈		名 (字の唐音)「チャウチン」(提燈)に同じ。(懸火)。
てうずバチ	手水鉢		名 手水を入れおく鉢。
デカール		Deciare	名 「アール」の十倍の地積。
デカグラム		Decagramme	名 「グラム」の十倍の重量。
デカメートル		Decametre	名 「メートル」の十倍の距離。
デカリットル		Decalitre	名 「リットル」の十倍の量。
デキストリン		Dextrin	名 化 澱粉より製する白色の粉末、水に溶解し易く、「アラビアゴム」の代用として用ひらる。
テグス	天蚕糸		名 繭を成さざる前の「テグス」虫の腹中より引出し、酢(ス)にて延(ノ)ばしたる糸、釣糸に用ふ。
テグスむし	天蚕		名 動 繭蚕蛾の幼虫、くぬぎ又は楮などに棲み、其葉を食ふ、形は蚕に似て脊に白毛あり、体色は初め黒くして後に緑となる、繭や褐色にして策の如し。しらがたらう。
てさげカバン	手提鞆		名 手に提(サ)げて持つ鞆(カバン)。
デシアール		Deciare	名 「アール」の十分の一の地積。
デシグラム		Decigramme	名 「グラム」の十分の一の重量。
デシメートル		Decimeter	名 「メートル」の十分の一の距離。
デシヤチン		Desiatin	名 「ロシア」国の地積の単位、一〇九・二四「アール」即ち我国の三千三百四坪八勺に当る。
デシリットル		Desiliter	名 「リットル」の十分の一の量。
てつかミソ			名 刻牛蒡・炒豆などを炒れ油にて煎(イリ)たる味噌。
てつゼンヂヤ	鉄禅杖		名 鉄製の禅杖。
てつバツ	鉄鉢		名 僧侶の食器となす鉄製の鉢。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
てつピン	鉄瓶		名 飲料用の湯を仏(ワカ)す具、鉄製にして形土瓶に似る。
テニス		Tennis	名 一種の遊戯、一定の地積の中央に縄を張り、一個の「ゴム」球を「ラケット」と称するものにて其両側より互に綱を越えて打込むもの、…(庭球)。
てまへミソ	手前味噌		名 {自か自分の仕事をほめること。じまん。
てまるチャウチン	手丸提燈		名 丸形の弓張提燈。
テラ	寺		名 1.(刹の朝鮮音 Char の転か)僧侶の居住して、…(精舎、伽藍、梵刹、ど浮屠、蘭若)。2.{博奕、花合など席にて、其出来高の幾分を持場主又は席主に與ふこと。
テラいり	寺入		名 寺小屋の入門。
テラうけ	寺請		名 「テラうけじやう」の略言。
テラうけじやう	寺請状		名 徳川時代の初めに、切支丹の改宗者が徳川権那寺の住職に、其自己の權家たることを証明して奉行所へ差出さしめし書面の稱、…(寺証文)。
テラこ	寺子		名 寺入したる子供。
テラこしやう	寺小姓		名 寺の住持のそばにつかふる少年。
テラごもり	寺籠		名 寺にこもりて仏を念ずること。
テラこや	寺小屋		名 (中古、児童の教育は専ら僧侶の手に帰せしよりいふ)昔時、児童に読書・習字などを教へし所、今の小学校にあたる。
テラざむらひ	寺侍		名 昔時、格式高き寺院に従属せし侍。
テラじようもん	寺証文		名 「テラうけじやう」(寺請状)に同じ。
テラなつとう	寺納豆		名 歳暮に寺僧より權家へ贈る浜名納豆、多く薄き板を三角に折り紙を底にはりて盛る。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
テラまゐり	寺参		名 寺にまゐりて、仏又は位牌・墓などを拝すること。
てランプ	手洋燈		名 {手にさげ持ちて手燭の代はりなどにする小さき洋燈。
テリアカ	底野迦	Theriaca	羅 名 獣に咬(カ)まれたときの解毒に用ふる一種の膏藥、脂と蜂蜜とにて藥劑を練り合せたるもの。
てりかへしランプ	照返洋燈		名 {照返の装置ある洋燈。
テルビウム		Terbium	名 化 稀有の金属。
テルル	Tellurium		名 化 稀有の元素、黒鉛色にして金属性の光輝を帯ぶ。
テレグラフ		Telegraph	名 電信機。
テレピンゆ	-油	Oil of turpentine	名 化 松柏科の植物より分泌する粘塊を水と共に蒸留して得たる油状の液、一に松節油ともいふ。
テレメンテイナ	丁列綿油	Terebinthina	西 名 「テレピンゆ」に同じ。
テレメンゆ	丁列綿油		名 前條に同じ。
テンシユ	天主		名 («デウス」の音訳)「キリスト」教の神。上帝。天帝。
テンシユけう	天主教		名 「キリスト」教の一派、最も旧き派にして「ローマ」法皇を首領と仰ぐもの、一に「ローマ」教といふ。
テンヂク	天竺		名 1.印度の古稱。2.そら。天。3.高処。頂上。4.「テンヂクもめん」の略言。
テンヂクだま	天竺玉		名 最高処。頂上。「髪をーに結ふ」。
テンヂクなすび	天竺茄子		名 植 「マンダラげ」に同じ。
テンヂクねずみ	天竺鼠		名 動 齧齒類に属する小獣、もと南「アメリカ」産にして舶来したるもの、形は兎に似て趾に蹄状の爪あり、毛色種々にして麗(ウルハ)し。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
テンヂクもめ ん	天竺木綿		名 舶来せる一種の木綿、丈夫にて厚きもの。
テンヂクラう にん	天竺浪人		名 定まりたる住所なく、所々に漂泊するもの。やどなし。
テント		Tent	名 雨露を凌ぐために張りおほふる天幕、多くは「ズツク」にてつくれるもの。
テンドン			名 ((テンブラどんぶりの約) あたにかにき飯を井(ドブンブリ)に入れ、其(ノ)味をつけたる「テンブラ」を載(ノ)せたるもの。(東京の方言)。
テンビン	天秤、天平		名 (天平の唐音) 1. 物の重さを量る一種の器械、… 2. 一本の糸の端に二つのつけたるもの。3. 「テンビン」と略言。4. 二つの物事の相同じきこと。5. 物事を両端にかくること。
テンビンぼう	天秤棒		名 両端に荷を掛けて担(ニナ)ふ棒。たごのぼう。かたげぼう。あふこ。
テンブラ	天麩羅		名 1. 一種の料理、魚介などの肉に麵揚げたもの。2. (鍍金(メツキ)したるもの。
テンブラそば	天麩羅蕎麦		名 天麩羅を入れたる汁そば。
てんま	天魔		名 人を悩乱してもろもろの障害をなし、知恵善根を喪失せしむるもの。
でんリン	電鈴		名 「でんれい」に同じ。
ドウサ	罨水		名 1. 明礬を溶解したる水。2. 明礬を溶解したる水に膠を和したるもの、紙に延(ヒ)きて、墨・絵具などの拡散を防ぐこと。
ドウサがみ	罨水紙		名 表面に「ドウサ」を延(ヒ)きたる紙、図画などをかくに用ふるもの。
どうハチ	銅鉢		名 僧侶が読経のときにうちならす銅製の具。
とうぼトンす う	登簿噸数		名 汽船にては、総噸数より乗組員常用室及機関室の噸数を除きたる残余の噸数を、帆船にては乗組員常用室の噸数を除きたる残余の噸数。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
とうゆガツバ	桐油合羽		名 桐油紙にて製したる合羽、多く下輩の用ふるもの。
ドクトル		Doctor	名 1. 医者。2. 博士。
ドグマ		Dogma	名 独断。
トソツてん	兜率天		梵名 仏 (「トソツ」は梵語 Tusita) 地上三十二萬由旬の上において、彌勒菩薩の住する所なりといふ。
トタン	垂鉛		名 化 「あえん」に同じ。
ドツク		Dock	名 造船所にて、艦船を入れて其水線下の修理又は塗換等をなす所。(船渠)。
とつレンズ	凸-	Convex lens	名 理 中央厚く周辺に至るに従ひて薄くなりたる「レンズ」、… 顕微鏡・望遠鏡等の光学的器械はこれを以て製す。
トド	胡(犬+濱-水)		名 動 「あじか」に同じ。
トド	椴		名 植 「えぞまつ」に同じ。
トドまつ	椴松		名 植 「えぞまつ」に同じ。
トナカイ	馴鹿	Tonakkai	ア 名 動 「じゅんろく」に同じ。
とびスゴロク	飛双六		名 双六の一種、道中双六の如く順を追はず、各区画に采の目によりて各行くべき所をしるしたるに準換して、石を所々に転ぜしむるもの。
どピン	土瓶		名 湯茶を沸(ワ)かす陶製の器、注口ありて多くはつるの懸りてあるもの。
どブツ	土仏		名 1. 土製の仏像。つちボトケ。2. (土製の布袋和尚の像より転じていふ語) 肥えたる人殊に婦人を囁りていふ語。
トマト		Tomato	名 植 「あかなす」に同じ。
とも系ガハラ	巴瓦		名 巴の紋ある瓦。火除の呪(マジナヒ)より起れるものなりとぞ。
ドラクマ			名 「ダラクマ」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ドラゴースム - 主義		Drago doctrine	名 (千九百二年の「ウルゼネズエラ」事件に因縁して「アラゴ」の外交大臣「ドラゴ」が他国に對して武力を行使したる事) 國權の強行に、武力を...
トラスト		Trust	名 数個の会社の株主が、株券を挙げて数者が其の業務を担うに、委託し、業家の利益を其の手にし、独占の傾向を有し、少数の利益を享受するもの。
トラック		Truck	名 商店などに荷物を運搬する手押の車。又、貨物を運搬する列車。
トラホーム		Trachoma	名 一種の眼病、眼瞼の内面に白色若しくは灰色の顆粒を生じ、甚しくは灰白色の角膜炎を生じ、伝染に至りては失明の原因となる。
ドラム	Dram		名 「ダラム」に同じ。
トランプ		Trump	名 西洋より伝来したる一種の遊戯、又、骨牌に使用する骨牌(フダ)、「クラブ」、「ダイヤ」、「スペード」の四つに別れ、おのおの...
トリウム		Thorium	名 稀有なる元素、灰色結晶状の金属。
トリチエリーのしんくう - 真空		Torricelean vacuum	名 理 「メートル」許の「ガラス」管に水を充て、上部に生ずる真空の稱、「イタリヤ」の物理学者「トリチエー」の考案による実験なるが故に此名あり。
トリプシン		Trypsin	名 膵液中に存する酵素、蛋白質を分解してペプトンに変ぜしむるもの。
ドル	弗		名 「ドルラル」に同じ。
トルイヂン		Toluidine	名 化 「トルエン」を硝酸にて処理したる後、水素にて還元して得るもの、これを適当なる方法にて酸化するとき、美麗なる多数の染料を生ず。
トルエン		Toluene	名 化 石炭「タール」より得る稀薄なる無色の液体。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
トルコだま	土耳其玉		名 磁 燐酸礬土の非結晶物、青色又は綠色にして裝飾用に供せらる。
トルコぼうし	土耳其帽子		名 「トルコ」国人の多くかぶる帽子、圓(土+壽)状をなし、上平かにして其中央にふさをつく。
ドルさうば	弗相場		名 内国の金銀貨と外国の金銀貨との空相場。又、其空相場を利用してなす取引、明治維新の際、横浜などに行はれしもの。
ドルばこ	弗匣		名 1. 金庫(一)に同じ。2. {芸者などの旦那と仰(アフ)ぐ人。
ドルラル		Dollar	名 「アメリカ」合衆国及「メキシコ」の銀貨の名、凡そ我國の二圓余に当たる。(弗)。
トロイ・オン		Troy ounce	名 「トロイ」衡の單位、四八〇「グレイン」に等(ヒト)しく、我國の八・二九四匁に当る。
トロイかう	- 衡	Troy weight	名 「イギリス」國にて、金銀・宝石等を量る衡量。
トロイ・ポンド		Troy pound	名 「トロイオンス」の十二倍、我國の九・五三匁に当る。
トロめん	兜羅面		名 梵 (兜羅は梵語 Talā 綿布の義) 巾一尺五寸許の一種の毛布、もと兎の毛を綿糸に雜(マジ)へて織りたるものにして、専ら舶来なりしが、...
トン	樽		名 (字の唐音) 陶製の支那風の腹掛。
トン	噸	Ton	名 「アウオイルヂュボイス」衡の單位、即ち二二四〇「ポンド」...「アメリカ」にては二二〇〇「ポンド」をいひ、二二四〇「ポンド」のものを「ロンドン・トン」(長噸)と稱す。
トンキン	東京		名 印土支那の東京より舶来する織物及陶器の稱。
とんしゃうボダイ	頓生菩提		名 仏 事機に際会して忽ち菩提に入ること。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ドンス	緞子		名 (字の唐音) 練糸にて織りたる織物、地厚くして光沢多し、多くは紋織なり。
トンすう	噸数		名 船艦の容量、軍艦のは排水量にてはかり、商船のは載積量にてはかる。
トンぜい	噸税		名 入港したる外国貿易船に対し、其噸数に賦課する租税。
ドンタク		蘭 名	(「オランダ」語 Z u n , d a g の訛) 日曜日。転じて休日。
ドンちやう	緞帳		名 1. だんだら筋のある幕。2. 上より吊(ツ)りおろす下等なる幕。3. 「トンちやうしばる」又は「ドンちやうやくしや」の略言。
ドンちやうしばる	緞帳芝居		名 (昔時、下等の芝居は引幕を用ふることを許されず皆な垂幕を用ひしよりいふ) 下等の芝居。
ドンちやうやくしや	緞帳役者		名 緞帳芝居の役者。又、下手な役者。
ドンドル		Dondor 蘭 名	小銃の管に塗りたる薬、打てば火を発するもの。
トンネル	隧道	Tunnel 名	山腹又は河底などを掘(ホ)り貫きて造りたる道路・鉄路又は水路。
とんびガツバ	蔦合羽		名 羅紗製の合羽、其製西洋より伝はる、袖長くして蔦の翅(ハネ)に似たればいふ。
どんぶりバチ	井鉢		名 前條(一)に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ナイフ		Knife 名	西洋風の小刀。
ナイリ	泥犁		名 仏 (梵語 N a r a y a の約) 地獄。「吾等-無縁の亡者」。(奈利)
ナウマク	那謨		名 「ナム」(南無)に同じ。
なうミソ	脳味噌		名 (腦に同じ)。
なかズハウ	中蘇枋		名 濃淡其中を得たる蘇枋色。
ながひバチ	長火鉢		名 長方体の箱火鉢、居間などにおきて常に使用するもの。
ながれのガハラ	流杯		名 次條に同じ。
ナゴらん	名護蘭		名 植 蘭科に属する草、多く沖縄名護岳に産す。(仙人脂甲蘭)。
なしカン	梨子羹		名 一種の菓子、梨の果実をすりたるものを原料として羊羹の如くに製したるもの。
なたまめギセル	鈍豆煙管		名 偏平にして鈍豆の莢に似たる短かき煙管。
ナトリウム		Natrium 名 化	白色蠟状の金属、水に触るれば直に反応して水素を発生し、水酸化「ナトリウム」となる、塩素と化合して塩となり多量に存在す。
ナトリウム・アマルガム		Natrium amalgam 名 化	「ナトリウム」と水銀との合金、還元剤として用ひらる。
ナフキン		Napkin 名	食事用の拭巾。
ナフタ		Naphtha 名 化	石油・木材・石炭「タール」等より蒸留して得たる透明にして点火し難き一種の液体。
ナフタレン		Naphthalene 名 化	石炭「タール」を摂氏寒暖計一七〇度より二三〇度の間に蒸留して得たる点火し難き灰白色の物体。
ナマイダ			名 (「ナムアマダブツ」の訛)。
なまこガハラ	海鼠瓦		名 「をガハラ」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ナマミダ			名 【「ナムアマミダブツ」の転訛。
なまりガラス	鉛硝子		名 化 主として鉛及「カリウム」の硫酸塩より成る硝子。「フリントガラス」。
ナム	南無		感 仏 (梵語 Namah 又は Namō 帰命、頂礼、又は真実と訳す) 仏に祈る時冒頭に用ふる語。「-阿彌陀仏」。
ナムアマミダブツ	南無阿彌陀仏		名 仏 浄土宗及一向宗にて唱(トナ)ふる六字の名號。
ナムさん	南無三		名 (次條(二)に同じ。
ナムさんばう	南無三宝		名 1.【仏】仏法僧の三宝に帰依すること。2.俄に失錯を感じたときにいふ語。しまった。
ナムめうほう れんげきやう	南無妙法蓮華經		名 仏 日蓮宗にて唱(トナ)ふる七字の題目。
ナモ	南無		感 「ナム」に同じ。
ナラク	奈落		奈 1.【仏】(梵語 Nāraka) 地獄。2.芝居の舞台の下に設けたる穴、舞台の足音をよく響かすためのもの。
ナラクのそこ	奈落底		奈 1.地獄のそこ。2.そこひの知れぬふかき所。九地の下。3.浮ぶ瀬のなき所。
ナンキン	南京		名 (支那江蘇省の揚子江南岸にある江寧の一名) 1.支那より渡来せるものにつけている語。2.「ナンキンじん」の略語。3.【植】「たうなす」の一名。(大坂地方の方言)。
ナンキンうさぎ	南京兎		名 動 兎の一種、稍や小形にして毛色種々あり、家に飼(カ)ふ。かひうさぎ。
ナンキンかいだう	南京海棠		名 植 海棠の一種、花の濃赤色なるもの。
ナンキンざくろ	南京石榴		名 植 石榴の一種、樹幹長大ならずして花の深紅色なるもの。
ナンキンしゆす	南京繻子		名 繻子の一種、支那より渡来するもの。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ナンキンじん	南京人		名 支那人の称。
ナンキンだけ	南京竹		名 植 竹の一種、幹細くして低きもの。
ナンキンだま	南京珠		名 硝子製の小さき珠、中に孔あるもの、其孔に糸を通しつづけあはせて種々の装飾となす。
ナンキンはぜ	南京黄櫨		名 植 大戟科に属する木、葉は円形にして互生し、秋に至りて紅葉す、…種子を包める白粉により蠟を採取すべく、種子よ灯油を製すべし、…たうはぜ。(鳥白木)。
ナンキンばと	南京鳩		名 動 鳩の一種、羽毛美麗にして多く人家に飼養せらる。
ナンキンまい	南京米		名 「インド」及支那等より我国に輸入する一種の米、味我国のものより劣(オト)る。
ナンキンまめ	南京豆		名 植 豆科に属する草木、葉は羽状複葉にして…種子は食用に供せらる、もと南「アメリカ」産のものなり。(落花生)。
ナンキンむし	南京虫		名 動 昆虫類に属する小虫、扁平にして楕円形をなし赤褐色を呈す、床又は壁などに棲み、人の皮膚を刺(サ)して赤色の疹を生ぜしむ。
ナンマミダ			名 仏 (「ナムアマミダブツ」に同じ。
ナンマミダブ			名 仏 (前條に同じ。
ニ	尼		名 アマ。
ニウトンくわん	ニ環	Newton's ring	名 理 一面は平面にして他面は湾曲の甚だ小なる凸面より成れる「レンズ」の凸面の方を下にして、平面の「ガラス」上に載(ノ)するとき、光の干渉によりて見ゆる美麗なる縞の環。
にくブトン	肉蒲団		名 同衾する女を賤しめていふ語。
ニコウ	尼公		名 尼となれる貴婦人の敬称。
ニコチン		Nicotine	名 煙草の葉に含有せらるる「アルカロイド」、無色油状の毒物にして、空気中にては直に褐色に変ず。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
ニコル		Nichols	名 理	方解石を其鈍角の部に沿(ソ)ひて切り、其二つを透るもの、…前者を「ニコル」といふ。
にさんくわマンガン	二酸化マンガン	Manganese dioxide	名 化	天然に多量に存する灰黒色若しくは黒色の固体、酸化剤として種々の用に供せらる。
ニシバ		Nishpa	ア 代	対称の代名詞。
にじふごボサツ	二十五菩薩		名 仏	二十五の菩薩、即ち観音・勢至・薬王・薬上・…大威徳王・無辺身の称。
ニス			名	{「ワニス」に同じ。
ニソウ	尼僧		名	アマ。比丘尼。
につくわうヤウカン	日光羊羹		名	下野国日光町にて製する羊羹、細長き箱に入れたるもの。
ニツケル		Nickel	名 化	灰白色の金属、少しく磁性を有す、通常は空気中にて鉄などの鍍金に用ひられ、又、種々の合金を製する。
ニトロ・グリセリン		Nitro-glycerin	名 化	「グリセリン」と硝酸及硫酸の混合物との反応によりて生ずる硝酸「エステル」、無色の液体にして甘味を有す、速かに熱するか又は打撃すれば爆発す。
ニトロ・セルローズ		Nitro-cellulose	名 化	綿の如き「セルローズ」を強硫酸及強硝酸の混合液にて処理するとき生ずる硝酸「エステル」。
ニトロ・ベンゼン		Nitro-benzene	名 化	淡黄色の液体、一種の香気を有す、「ベンゼン」を強硝酸にて処理すれば得。
にふブツ	入仏		名	仏像を寺院に迎へ入ること。
にふブツくやう	入仏供養		名	入仏のために営む法会。
にゆうハチ	乳鉢		名	薬をすりて細末となすに用ふる陶製又は硝子製の鉢。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
によソウ	女僧		名	比丘尼。アマ。
ぬかミソ	糠味噌		名	1.糠に塩を加へて貯へおき、野菜などを漬(ツ)くるもの。
ぬかミソづけ	糠味噌漬		名	ぬかミソに漬(ツ)けたる漬物。
ぬれボトケ	濡仏		名	屋根無き所に安置せる仏像。(露仏)。
ネクタイ			名	{「ネツクタイ」に同じ。
ネツク・タイ		Neck-tie	名	えりかざり。
ネハン	涅槃		名 仏	(梵語 Nirvana 寂滅・寂滅・入滅・滅度等と訳す)大乘にては、迷妄を脱却し功徳を圓成して…小乗にては、三界の煩悩を断滅して灰身無為に帰することはいふ。
ネハンにしかぜ	涅槃西風		名	陰曆、二月十五日前後に十七日の間吹く軟風。(伊豆又は伊勢辺の船頭の語)。
ネハン系	涅槃会		名 仏	釈迦牟尼入滅の当日に行ふ法会、我国にては古来二月十五日を其日と定む。
ねブチ	念仏		名	次條に同じ。
ねブツ	念仏		名	{「ねんブツ」の略言。
ねりヤウカン	煉羊羹		名	羊羹の一種、煮たる赤小豆を摺(ス)りて皮を去り、後更に其水分を除き、寒天を交へ煉りかためて製したるもの。
ネル			名	{「フランネル」の略言。
ねんブツ	念仏		名 仏	(い)仏を念じて、南無阿弥陀仏と六字の名號を唱(トナ)ふること。(ろ)「ねんブツしゆう」の略言。「一無間」。
ねんブツかう	念仏講		名	1.念仏宗の講中。2.(輪姦)。
ねんブツサンマイ	念仏三昧		名	一心専念に念仏すること。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ねんブツしゆ う	念仏宗		名 仏 仏教の一派、崇徳天皇の天治二年に天台の僧良忍の開始したるもの、…一に融通念仏宗といふ。
ねんブツだう	念仏堂		名 寺院にて、念仏を修するための堂。
ねんブツわう じやう	念仏往生		名 仏 念仏三昧によりて、往生の素懐を遂(ト)ぐるごと。
ノー		No	副 然らず。いな。いや。
ノー・ノー		No No	副 (「ノー」を重ねたる語) いやいや。いないな。
ノート		Note	名 1.しるし。記号。2.標注。注釈。3.手控。書付。4.「ノートブック」の略言。
ノート・ブツ ク		Note book	名 手控帳。手帳。
のきヂヤウチ ン	軒提燈		名 祭礼のときなどに、軒につりさぐる提燈。
ノツト		Knot	名 「かいり」(海里)に同じ。
のどボトケ	喉仏		名 喉の凸く突き出でたる所、即ち甲状軟骨の俗称。
のふのケサ	衲袈裟		名 仏 さまざまな不用の切地(キレヂ)をあつめて縫ひつづりたる袈裟。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
バイエふ	貝葉		名 「バイタラエふ」に同じ。
ハイ・カラ	高襟	(High collar)	名 (High, collar 即ち高き「カラー」の義) 1.普通よりもたけの高き「カラー」、又、其「カラー」を着用せるもの。2.西洋風を好みまねること。又、其のもの。…5....
ハイカラたう	高襟党		名 高襟なる人々。
ハイゲンスの げんり	の原理		理 「ホイヘンス」の原理に同じ。
バイタラエふ	貝多羅葉		名 植 (梵語 Patra 即ち葉の義) 多羅樹の葉、「インド」にては、針を以てこれに経文を刻りつく。
パイプ		Pipe	名 1.導管。2.煙管。3.巻煙草を挿(サ)して吸ふもの。すひくち。
バイブル		Bible	名 「キリスト」教の経典、旧約全書と新約全書とを併せていふ。(聖書、聖典、聖經)。
ポイント		Pint	名 「イギリス」国の液量の単位、一「ガロン」の八分の一、我國の三合三勺許に当る。
はうかソウ	放下僧		名 田楽の類、羯鼓・ささら等の囃子を用ひ歌をうたひ舞をまふもの。又、其わざをなす僧侶。
はうしんブツ	報身仏		名 仏 報身の仏、即ち弥陀如来の類。
はうタフ	砲塔		名 鋼鉄の環壁を設け一門又は二門の巨砲を備へおく小高き所。
はうタフ	宝塔		名 寺院の塔の敬称。
ハウレンさう	菠薐草	字の唐音	名 植 蓼科に属する草、茎は高さ一二尺許に葉をなす、葉は偏平にして穂状花序をなす、花は夏の初めに開き食用に供せらる。
バカ	馬鹿		名 1.(梵語 Baka 即ち痴漢・無頼漢の義、もとて…秦の趙高が指して鹿の字を当し故事より出たり…) おろかな。2.【動】バカがひの略…

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
バカがひ	馬鹿貝		名 動	瓣鳃類中同柱類に属する貝、形は蛤に似、介殻薄く淡黄色にして、縦横の縞目あり、柱の味よりも肉の味の劣るといふより此名あり。
バカくわはう	馬鹿果報		名	愚者が万一に得たる僥倖。
バカげる	馬鹿気		動	{馬鹿らしく見ゆ。
バカしやうちき	馬鹿正直		名	正直に過ぎて秘すべきことをもあらはにいふこと。
バカどり	信天翁		名 動	「あはうどり」に同じ。
バカに	馬鹿		副	{いたく。いと。「一降る」。「一強い」。(東京地方の方言)。
バカねん	馬鹿念		名	過度に念の入ること。
バカバカし	馬鹿馬鹿		形	1.いと馬鹿らし。2.過度なり。はなはだし。
バカばやし	馬鹿囃子		名	東京にて祭礼のときに行ふ一種のはやし、太鼓・鼓・笛・鉦などにてはやすもの。
バカまひ	馬鹿舞		名	バカをどり。
バカもの	馬鹿者		名	おろかなるもの。
バカらし	馬鹿		形	{1.おろかなるさまにてあり。2.バカバカし。
バカリちぎ	馬鹿律儀		名	バカしやうちき。
バカわらひ	馬鹿笑		名	{笑ふさまの馬鹿らしく見ゆること。
バカをどり	馬鹿踊		名	やたらに踊りまはること。
バクテリア		Bacteria	名	「さいきん」(細菌)に同じ。
はこチャウチン	箱提燈		名	上に蓋ある大形の提燈、蓋に開閉し得る孔ありて、蠟燭の出入などをなし、蓋の中に全体の畳み込まれるもの。
はこひバチ	箱火鉢		名	箱の形につくりたる火鉢。
ハジユン	波旬	Papiyan	梵名	極悪なる者。又、悪魔。「天魔一」。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
バジリ		Ungentum Basilicum	羅名	吸出の軟膏、猪脂と松脂とにて製したるもの。
バジリかう			名	前條に同じ。
バステル		Pastel	名	色をつけたる「チヨーク」。
バステルぐわ	一畫		名	「バステル」にて畫きたる絵。
バタ			名	次條に同じ。
バター		Butter	名	牛乳を煉りて製したる脂肪性のもの、「パン」などに塗りて食ふ。(牛酪)。
バターくさい	一臭		名	{西洋風にかぶれたるおもむきあること。
はタバコ	葉煙草		名	採取して、貯蔵せらるるやうに製したる煙草の葉。
ハタンきやう	巴旦杏		名 植	李の一種、葉は小形綠色にして、花は小形白色なり、果実は食用に供せらる。(牛心李)。
ハチ	鉢		名	1.(梵語 Patra の約、応器と訳す)印度の食器、仏門…2.皿よりは深く…3.「うゑきバチ」の略言。4.…草木の根と土との塊…5.兜の頭上を被ふ部分。6.脳蓋骨。頭蓋骨。
ハチあはせ	鉢合		名	{1.心附かずに行き合ひて、頭と頭と打ち当つること。2.{衝突。撞着。
ハチうゑ	鉢植		名	植木鉢に植(ウ)ゑてある植物。盆栽。
ハチざかな	鉢肴		名	鉢に盛りて出だすさかな、これを皿に分くるもの。
ハチたたき	鉢叩		名	瓢を叩(タタ)きて念仏を唱ふること、即ち、空也念仏の僧の行。又、其行をなす空也念仏の僧。
ハチつけ	鉢附		名	「ハチつけいた」の略言。
ハチつけいた	鉢附板		名	かぶとの鍔の第一枚目の板。

見出し	漢字表記	原語	出 詞	野 語 釈
ハチのき	鉢木		名	植木鉢に植(ウ)ゑたる樹。盆樹。
ハチぼうず	鉢坊主		名	1. 托鉢してあるく坊主。2. 落第せる坊主。
ハチまき	鉢巻		名	1. 頭顱を布などにて巻きたるもの。(蔵抹額、(巾+白)額、鬘巻)。2. 土遣の檐下にして、蝶羽(ケラバ)の下になる、…土を塗りたる所。3. 帽子を布帛にて巻きたるもの。
ハチまへ	鉢前		名	厠の傍にて、手水鉢を置く処。
ハチもの	鉢物		名	1. 鉢にもりたる肴。2. 鉢に植ゑてある草木。
ハチもらひ	鉢貰		名	托鉢すること。又、其借。
バチルス		Bacillus	名	1. 細菌の一種、稍や長き棒状のものにして、腸室扶斯・結核等の病原となるもの。2. { 病毒。病原。
バック		Back	名	「はいけい」(背景)に同じ。
バツス		Pass	名	汽車・電車などの無賃乗券。
バツチ	(衣+昆) 襦		名	(朝鮮語Pachiの転) 股引の一種にして、長きもの。
ハツチぼうず	鉢坊主		名	{ 托鉢してほどこしを乞ふ乞食僧。(化飯道人)。
バツテラ	端艇	Bateira	ボ名	西洋形の小船、即ち「ボート」。
バット		Bat	名	「ベースボール」・「クリケット」等にて球を打つに用ふる棒。
バツバ	法王		名	(「ラテン」語Papa、父の義) 羅馬の法王。
バツプ		Pap	蘭名	熱湯に漬(ヒタ)したる麩包、腫物を撫でて膿を促(ウナガ)すに用ふるもの。
バテ		Putty	名	石灰を亜麻仁油にて練りたるもの、硝子を硝子戸につくるなどに用ふ。
バテレン	伴天連		名	(「ホルトガル」語Padre即ち、父の義) 昔時、伝道のため我国に渡来したる切支丹宗の宣教師の號。転じて、切支丹の異称。

見出し	漢字表記	原語	出 詞	野 語 釈
バテレンしゆう	伴天連宗		名	切支丹宗。
パトロン		Patroon	蘭名	「はやご」に同じ。
はなガルタ	花骨牌		名	花合に用ふる骨牌、松・梅・桜・藤・萩・牡丹・萩・薄・菊・紅葉・柳・桐の十二種の畫各四枚都合四十八枚にして、其中に点数の高下あり。
はなズハウ	花蘇芳		名 植	豆科に属する木、葉は単葉にして円形をなす、花は紫、色にして蝶形の花冠をなす、果実は莢を用として栽培せらる(紫前)。
バナマ		Panama	名	竹蘭科の熱帯植物、茎は短く、葉は長き葉柄を有し、掌状に開きて、棕櫚に似たり、その嫩葉は帽子の材料とす。
パノラマ		Panorama	名	中央を觀賞場とし、周囲の景色を隔てたる周の觀者位置の装置のもの。(巾+空/登) 畫)。
バハン	八幡		名	(足利氏の末世に、九州辺の海賊一隊をなして明国に寇せしもの、八幡の神號を記したる旗を立てたるを、明人の転) みて「ばつはん」といひしもの(転) …ぬけあきなひ。(密売)
はまきタバコ	葉巻煙草		名	煙草の葉を捲きて製したる巻煙草。
はまゆみ	破魔弓		名	新年に童児の弄ぶ弓矢。
ハム		Ham	名	ふすべて塩漬にしたる豚の股の肉(火腿)。
はものザンマイ	刃物三昧		名	ともすれば刃(ハ)物をふりまはすこと。又、みだりに刃物をふりまはすこと。
バヨネット		Bayonet	名	小銃の一端に着くる劍、西曆十七世紀の中葉、Bayouneの土人の發明せし武器にして、以来英・仏の軍隊に用ひらる。銃劍。(銃嘴刀)。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
バラヂウム		Palladium	名 化 銀白色の金属、大気中にて熱すれば、光 最初酸化物を以て被(オホ)はれ、此金 沢を失ひ、高温に及びては、…此金 属は其性質として多量の酸素を吸 収す。
バラフィン		Paraffin	名 化 石炭「タール」より得る白色透明の結 晶体にして鬚附(ピンツケ)油に似た もの、蠟燭製造の材料とし、又、と るものにねりなして小児の遊びものとなす。
ハラミツ	波羅蜜		名 (梵語 Paramita 彼岸に到着す る義、生死此岸とし煩悩を中流とし 涅槃を彼岸としといふ)最上智を得 ること。証果を得ること。
バラモン	婆羅門		名 1. (梵語 Brahman 浄行の義)「 インド」の四種族中の貴族、自らも の苗裔にして浄裔又は梵土といふ。2. 「 バラモン、けう」の略言。
バラモンけう	婆羅門教		名 婆羅門種族の司どりし宗教、梵天の所 伝なりといひ、仏教の起る以前は に「インド」に行はれ、今も尚ほ行 はる、…操行を潔白にするを旨とす。
ハリ	頗黎		名 1. (梵語 Sphatika) 七宝の一 、水晶。2. 転じて、硝子。3. 【鉷】玻 璃状の岩石又は石中の玻璃の部分 の称。(玻璃・玻(王+黎))。
バリウム		Barium	名 化 稀有の金属、深黄色にして酸化し易く 、よく水を分解する性あり。
ハリきやう	玻璃鏡		名 硝子の裏面に水銀をひきてつくりたる 鏡。
バリケン	麝香鴨		名 動 (「オランダ」語 Bergeende の訛)普通の鷺(アヒル)よりも大き くして南「アメリカ」に特産するもの 。
ハリしつくわ ざんぐわん	玻璃質火山 岩		名 鉷 地中より噴出する岩漿は結晶する暇な く迅速に冷却して成りたる岩石、多孔 にして玻璃様の塊をなす。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ハリのかがみ	玻璃鏡		名 「じやうハリのかがみ」(浄玻璃鏡) に同じ。
ハルシヤがは	波斯革		名 昔時、「オランダ」人の「ベルシャ」 国より膚(モタラ)しし革。
バルミチン		Palmitin	名 化 白色鱗状の結晶体、脂肪の成分をなす もの。
ハロ		Halo	名 天 「かさ」(量)に同じ。
ハロゲン		Halogen	名 化 弗素・塩素・臭素・沃素の総称。
ハロゲンくわ がふぶつ	-化合物	Halogen compounds	名 化 弗化物・塩化物・臭化物・沃化物の総 称。
バロメーター		Barometer	名 「せいうけい」(晴雨計)に同じ。
パン	麵麩	Pao	ボ 名 一種の食品、白麵麩と黒麵麩とあり、 前者は小麦の粉にて製し後者は裸麦の 粉にて製す、其製法は…炉に入れ熱し て其組織を海綿状となしたるもの。
ハンカチーフ		Hand-kerch ief	名 西洋風の手ふき、方形なるもの。「ハ ンケチ」。
はんガツバ	半合羽		名 丈短き合羽、享保の初頃より行はる。
ばんカラ	蛮襟		名 { 風采の粗野なること。言動のみなか じみたること。「ハイカラ」の対。
ハンケチ			名 「ハンカチーフ」に同じ。
ばんコフ	萬劫		名 永遠。永久。
ばんソウ	伴僧		名 葬儀に伴(トモナ)ふ僧。
パンだね	麵麩種		名 パンを焼くとき、これをふくれしうむ るに用ふる粉、醱酵母又は酒石酸・重 曹・炭酸「アンモニア」を混じて用ふ 。
ハンドル		Handle	名 とつて。把手。(電車・自転車・機械 類などにいふ)。
はんどん			名 { (半日の「ドンタク」の義、半日休 なるよりいふ)土曜日。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
ハンニヤ	般若		名 1. (梵語 Prajna 智と訳す) 分別妄想を離れたる知恵。2. (恐ろしき面相の鬼女。般若 (ハンツア))。
ハンニヤたう	般若湯		名 僧家にて、酒の隠語。
ハンニヤづら	般若面		名 {1. 般若に似たる面。2. 嫉妬をおこしたる女の顔。
ハンニヤハラミツ	般若波羅蜜		名 仏 知恵の光によりて証果を得ること。
ハンニヤめん	般若面		名 1. 前々條に同じ。2. 般若の仮面。
はんマントル			名 {「モーニングコート」の俗称。
ハンモツク		Hammock	名 丈夫なる緒を以て編みたる吊床 (ツリドコ)、夏の木陰 (コカゲ) 又は船中などに吊 (ツ) るして寝るためのもの。つりどこ。
バンヤ	麩麩屋		名 「バン」を売る家。
バンヤ	斑枝花		名 植 禾本科に属する木、熱帯地方に産す、花は楯の如く葉は胡桃に似たり、…採 (ト) りて布団などに入れて綿の代用とす。(木綿)。
ビア	麦酒	Beer	名 「ビール」に同じ。
ビア・ホール		Beer-hall	名 料理などを供へ、客にビールを飲ましむることを業とする家。
ヒート	呷	Feet	名 「フート」の複数。
ビーフ		Beef	名 牛肉。
ビーフ・カツレツ		Beef outlet	名 一種の料理、牛肉を原料としたる「カツレツ」。
ビーフ・ステーキ		Beef steak	名 一種の料理、牛肉を脂にて炒 (イタ) めたるもの。
ビール	麦酒	Beer	名 大麦を主要なる原料として醸造したる一種の酒、大麦の麦芽より浸出したる液に「ホツブ」を加へて…普通のものは褐色なれど黒麦酒・白麦酒等あり。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
ピアノ		Piano	名 西洋より伝来したる一種の楽器、形は「オルガン」に似、内部に数十本の鉄線を張りたるものにして、上部の装飾を指にて押せば、鉄線に触れてたる音色を発す。(洋琴)
ビイドロ	玻璃	Vidro	ボ 名 「ガラス」。(硝子)。
ビイドロかがみ	玻璃鏡		名 玻璃の裏に水銀を塗りたる鏡。
ビイドロがみ	玻璃紙		名 蠟などを延 (ヒ) きたる透明の紙。
ビイドロよま	玻璃糸		名 {「ビイドロ」の粉を塗り延 (ヒ) きたる糸 (ヨマ)、長崎にて風を上ぐるに用ふ。
ヒイホン	被風		名 被風 (ヒフ) の唐音。
ひぎやうヤシヤ	飛行夜叉		名 不動明王に属する飛行のはたらきある夜叉。
ビク	比丘		名 1. (梵語 Bhiksu) 乞食して清浄に活命するもの。僧侶。沙門。2. (転じて、比丘尼の称)。
ビクニ	比丘尼		名 1. (梵語 Bhiksuni) 出家せる婦人。アマ。2. 昔時、多く出でし剃髮法衣せる売淫婦。
ビクニごしよ	比丘尼御所		名 皇女の出家して住職となりたまふ寺院。
ビクニせつた	比丘尼雪駄		名 踵 (カカト) の反 (ソ) りたる雪駄。
ビクニや	比丘尼屋		名 昔時、比丘尼の遊女をかかへ置きたる女郎屋。
ピコル		Picol	名 清国の重量の単位、即ち「タン」に同じ。(在東洋欧州人の称呼)。
ビシャモン	毘沙門		名 仏 (梵語 Vaisravana、多聞と訳す) 四天王の一、東方を守護し財宝を掌る神。
ビシャモンてん	毘沙門天		名 前条に同じ。(多聞天)。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ビスケット		Biscuit	名 一種の菓子、小麦粉を原料として、「パタ」・牛乳・小玉をどを（ネ）り、これを蒸すもの。
ヒステリー	癡私的里	Hysteria	名 婦人の神経病、多くは子宮病又は月経不順若しくは感情の起伏によるもの。
ヒステレシス		Hysteresis	名 理 鉄心を変化する方向に磁気を与えるとき、磁気は「ヒステレシス」の損失を起す。
ピストル	短銃	Pistol	名 短小なる銃、即ち拳銃。
ピストルがうたう	短銃強盗		名 短銃を使用して人を脅迫又は殺傷する強盗。
ひちブトン	肘布団		名 「ひちつき」に同じ。
ひちゆうビン	比重瓶		名 理 液体又は粉状の物質の比重を測るに用いられる。比重瓶は、液体の比重を測るに用いられる。
ヒツスウ	芯莖		名 「ピク」に同じ。
ヒドラ		Hydra	名 動物 腔腸動物の一、海中の岩に付着し、増殖は親と分離せず、硬質の皮を生じて…
ひバチ	火鉢		名 炭火を貯へおく器。（火桶）。
ひふきダルマ	火吹達磨		名 達磨の形を造り、小さな口を穿ち、中に水を貯へて火を熾（オコ）すもの。
ひブツ	秘仏		名 ひめて大事にせる仏像。
ピペット		Pipette	名 先端細くして中腹大なる「ガラス」管に用いられるもの。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ひめウ井キヤウ	姫苗香		名 植 「ゐのんど」の古名。
ヒヤ		Hear	副 傾聴すに足るさまにいふ語。又、賛成の時などにいふ語。
ビヤ		Beer	名 「ビール」に同じ。
ビヤ		Beer hall	名 「コップ」一盃の価若干と定めて、「ビール」を飲ます手軽の酒店、多くは傍ら西洋料理をなす。
びやうマ	病魔		名 やまひを起さしむるといふ魔。
びやくダン	白檀		名 植 檀香科に属する木、「インド」に産す、其芳香ある木材は香料又は器具の料に供せらる。（檀香）。
ひやくまんタフ	百萬塔		名 奈良朝の頃、朝廷より諸国の仏寺に納め給ひし小塔、経巻ををさめ入れたるもの。
ピヤノ			名 「ピアノ」に同じ。
ヒヤ・ヒヤ		Hear, Hear	副 「ヒヤ」に同じ。
ピヤボン	口琴		名 北海道旧土人間に流行する一種の楽器。竹又は鉄を巻き、…手を以て弾（ハジ）き鳴らすもの。ピヤボン。くちびは。
ヒヤンチン	香椿		名 植 （字の唐音）楝科に属する木、葉は一葉一回羽状複葉をなし…観賞用に供せらる。たまつばき。
ヒヨンカツ	飄勝		名 伽羅（キャラ）の類の下品なるもの。
ヒリウツ	飛龍頭		名 （「ポルトガル」語ならんといふ）1. 一種の食品、粳米（ウルシネ）及糯米（モチゴメ）の粉を…油に揚げたるもの。2. 豆腐のがんとどきの称。
ピリチン		Pyridine	名 化 石炭「タール」より得る無色の液体。
ピリリ			名 （「ラテン」語 Bilis 胆汁の義）昔時、「オランダ」人より伝へたる苦味多き一種の薬剤、魚の胆を原料として製し固めたもの、…蛇毒・虫毒などに用ひて効あり。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ビルシヤナ	毘盧遮那		名 仏 (梵語 <i>Vaiṣṇava</i> 光明遍照の義) 真如法界を以て、外身光を以て大機を照すといふ。
ビル・ブローカー		Bill broker	名 手形を割引にて買取りこれを他へ転売することを業とするもの、即ち手形の仲買人。
ビロウド	天鵝絨	Veludo	ボ 名 もと、西洋より舶来せし絹織物、緯糸に鋼線を抜きとる時は経糸をなす、…てんがじゆう。
ビロウドせきしやう	天鵝絨石莖		名 植 天南星科に属する草、岩石に着生す、葉は二三分許、密生して天鵝絨の如し。(雀舌)。
ピロガロール		Pyrogallol	名 化 焦性没食子酸の称。
ピン	瓶		名 (字の唐音) 1. 陶製又は金属製の器、即ち土瓶・鉄瓶・花瓶の類。2. 硝子の徳利。(瓿)。
ピン		Pin	名 とめばり。
ピン			名 1. (「スペイン」語 <i>Punta</i> 点の義) 2. 転じて、はじめ。第一。
ピンぞろ	一揃		名 { 1. 二つの采の目が共に一の出づること。2. 単物を二枚重ねて着ること。 }
ピンづめ	瓶詰		名 瓶につめたるもの。
ピンヅル	寶頭盧		名 (梵語 <i>Pindola</i> 羅漢の白頭長眉なるもの) 頭の禿けたる人。
ピンポン		Pinpon	名 一種の室内遊戯、「テニス」の規模を小さくしたる如きもの、台上にて行ふ。
フーコーでんりう	ー電流	Foucault's current	名 理 導体が磁場にて回転するとき導体内に導起る電流、…其鉄心に「フーコー」電流起りて「コイル」に起る電流を弱める様にとす…「フーコー」電流を避くる様に…
フート	呎	Foot	名 十二「インチ」の称、我国の一・〇〇六尺に等(ヒト)し。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
フート・ボール		Foot ball	名 一種の遊戯、兩人又は二組のものが、互に一つの球を蹴りあふもの、規定の線内に蹴りこみたるを勝とす。まりけり。
フート・ポンド	呎磅	Foot pound	名 理 仕事の単位、一磅の重さの物体を一呎揚ぐる仕事。
ファラデーのていりつ	ー定律	Faraday's law	理 電気分解に関する定律、電解物の電流により析出せる物質の量は、これを通過したる電流の総量によりて析出せる物質の…
フイート	呎	Feet	名 「フート」の複数。
フィブリノゲン		Fibrinogen	名 化 血液中に存在する蛋白質。
ふうリン	風鈴		名 鐘に似て小さく内に舌ある金属製の具、簾(ノキ)などに懸けおくもの、風に吹かれて鳴る。(簾馬、風鐺)。
フェノール		Phenol	名 石炭酸。
ふかしパン	蒸麩包		名 ふかして製したる手軽の「パン」。
ふくマでん	伏魔殿		名 魔の伏在する殿堂。転じて、禍乱をひきおこすもののおつまる処。
ふけソウ	普化僧		名 普化宗の僧侶、即ち虚無僧。
ブしゆかん	仏手柑		名 植 芸香科に属する木、暖地に産す、…果実は柚子に似て大きく、末端は分裂して指を列するが如し、熟して黄色となる。
フシン	普請		名 (字の宋音) 1. 【仏】あまねく同志に請ひて、共に事をなすこと。2. 建築。作事。
フダラク	補陀落		名 仏 (梵語 <i>Paṭalaka</i> 「インド」河口にある島の名、海鳥又は宝陀と訳す。) 観音の出現せる地と信ぜられ、観音の靈現に關すること用ひらるる語。「ーや岸打つ波…」
ブツ	仏		名 仏 (梵語 <i>Buddha</i> の略、智者・覺者の義) (い) ほとけ。仏陀。(ろ) 仏法。仏教。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ブツか	仏家		名 仏教の寺院。又、仏教の僧侶。
ブツかい	仏界		名 諸仏の住む世界。
ブツかく	仏閣		名 テラ。仏堂。(堂宇、伽藍)。
ブツがく	仏学		名 仏教の学問。
ブツかふさう	仏甲草		名 植 「いはれんげ」の一名。
ブツがん	仏龕		名 仏像をいれおく厨子。
ブツき	仏器		名 仏事用の器具。
ブツきやう	仏経		名 仏教の経文。
ブツく	仏供		名 仏前に供するもの。
ブツク		Book	名 書籍・帳簿。冊子。綴本。
ブツぐ	仏具		名 仏事の用具。仏器。
ブツくわ	仏果		名 成仏の果。「-を得」。
ブツけ	仏家		名 「ブツか」に同じ。
ブツけう	仏教		名 「インド」の「マカダ」国の人、釈迦牟尼(浄飯王の子悉達)を教祖として、其人格に帰依し其説法を所依として、一種の宗教、…おもに「アジア」の東部に行はる、宗派多し。
ブツご	仏語		名 仏教の語。
ブツこう	仏工		名 仏像・仏具などを作る人。
ブツぎ	仏座		名 仏像を安置する台。
ブツさう	仏葬		名 仏教の式によりて、死人を葬(ハウム)ること。
ブツざう	仏像		名 仏の色身の模形。
ブツさうげ	仏桑花		名 植 錦葵科に属する木、葉は卵形にして尖り、花は大形にして紅色を呈す、もと琉球より渡りたるものなるが故に琉球むくげの名あり。(扶桑)。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ブツさん	仏参		名 仏寺へ参詣すること。テラまゐり。
ブツし	仏師		名 仏像を刻み作る職人。(仏工)。
ブツし	仏子		名 仏 受戒入道したるもの。
ブツじ	仏事		名 仏教の祭事。法事。法会。
ブツじ	仏寺		名 テラ。寺院。
ブツシエル		Bushel	名 「イギリス」国の穀物の容量の単位、八「ガロン」に同じ、略号にBu.を用ふ。
ブツしき	仏式		名 仏教の方式。
ブツしや	仏者		名 仏門に入りたるもの。
ブツしやう	仏性		名 仏 (い)成仏し得る性質。仏の本性。「狗子有-」。(ろ)真如の妙理。
ブツしやう	仏鉢		名 仏に奉る米飯。
ブツしやうし	佛掌薯		名 植 「つくねいも」に同じ。
ブツしやう系	仏生会		名 灌仏会(クワンブツエ)。
ブツシヤリ	仏舍利		名 仏陀の舍利骨。
ブツしゆかん	仏手柑		名 植 「ブしゆかん」に同じ。
ブツしよ	仏書		名 仏門の書。仏典。
ブツしん	仏神		名 ほとけとかみと。
ブツしん	仏心		名 仏のこころ。
ブツしんしゆ	仏心宗		名 仏 (自己の心に仏の心を得る義よりいふ)禪家の一名。
ブツせつ	仏説		名 仏の説(ト)きたる所。
ブツぜん	仏前		名 仏のまへ。
ブツモ	仏祖		名 釈迦牟尼。仏陀。
ブツダ	仏陀	Buddha	梵 名 仏 理を究(キハ)め性を盡し一切諸法を覚知し、覚行円満なるもの。「ホトケ」。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ブツだう	仏道		名 仏の説きたる道。仏教。
ブツだう	仏堂		名 テラ。寺院。
ブツタフ	仏塔		名 寺院の塔。
ブツだん	仏壇		名 仏像又は位牌を安置する壇。
ブツち	仏智		名 仏の円満なる知恵。
ブツてき	仏敵		名 仏法に仇をなすもの。
ブツてん	仏天		名 仏陀。
ブツてん	仏典		名 仏法の経文。
ブツでん	仏殿		名 仏を奉祀したる殿堂。
ブツと	仏徒		名 仏法に奉ずるもの。
ブツぼふ	仏法		名 仏教。仏道。
ブツぼふソウ	仏法僧		名 1. 仏と法と僧と、即ち三宝。2. 【動】鳴禽類に属する鳥、形は鶴に似て稍や小さし、…鳴声仏法僧といふが如しとて此名あり。(三宝鳥)。
ブツま	仏間		名 仏像又は位牌をまつりある室。
ブツみやう	仏名		名 1. 仏の名號。2. 陰曆、十二月十九日より三日間行はれし公事、清涼殿にて僧に経を読ませ三世の諸仏の名號を唱(トナ)へしめられしこと。
ブツめつ	仏滅		名 「ブツめつにち」の略言。
ブツめつにち	仏滅日		名 陰陽家にて、万事に凶なりといふ大悪日、即ち正・七月の四・十・…二十九日をいふ。
ブツもん	仏門		名 ほとけのみち。
フツラウキ	仏狼機		名 昔時、大砲の称。
ブツりき	仏力		名 仏の通力。
フト	浮圖、浮屠		名 1. (梵語 Buddha) 仏陀に同じ。2. 僧侶。3. 寺又は塔。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
フトン	蒲団		名 (字の唐音) 1. がまの葉にて編みたる円座。2. 布帛の中に綿又は「パンヤ」などを入れ…座し又は寝る下に敷くもの。「座」「敷」(布団)。3. [夜着又はふすまの称…
フライ		Fry	名 西洋料理にて、魚介などのあげもの。
フラウンホー フェルせん	ー線	Fraunhofer 's line	名 理 太陽の光線を七色に分解して「スペクトル」に映ずる無数の暗線。
ブラグマチズ ム		Pragmatism	名 真偽の区別は人生の目的に適合せるか否かによりて定まるとなし、真理は實際の効果を有するものたるべしといふ主義。
ブラシ		Brush	名 西洋風のはけ。けはらひ。
プラス		Plus	名 数 加號。
フラスコ		Frasco	ボ 名 西洋風の頸の長き硝子の徳利。(瑠璃罐。玻璃壺)。
ブラチナ		Platina	名 化 「はくきん」(白金)に同じ。
ブラチニえん くわするそさ ん	ー塩化水素 酸	Hydrochlor oplatinic acid	名 化 白金を王水に溶解し、これを蒸留せしめて得る赤褐色の結晶。
ブラツシ			名 天鵞絨の一種、普通の天鵞より毛長く、質堅固にして上品なるもの。
ブラツシてん			名 前條に同じ。
ブラツトホー ム		Platform	名 汽車に昇降する所。
ブラフ		Vlag	蘭 名 旗。
フラン	法	Franc	名 「フランス」国の貨幣の単位、我國の二十一銭五厘にあたる。
ブラン			名 {「ブランディ」の略言。
ブランケット		Blanket	名 覆被又は敷物などになす広くして厚き毛織物。「ケット」。毛布。
ブランディ		Brandy	名 酒類中「アルコール」分最も強きもの、普通葡萄酒より醸造し、林檎・桃・玉蜀黍等の果実の液汁よりも醸造す。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ブランディエ んぜつ	- 演説		酒気に乗じてなす演説。
フランネル		Flannel	名 舶来の毛織物、地薄く柔かし、羊の毛にて織る、略して「ネル」といふ。
ブリキ	鉄葉	Blik	名 蘭 錫の溶液中に浸して面に錫の膜を付着せしめたる薄き鉄板。
ブリキざいく	鉄葉細工		名 鉄葉を使用せる細工。
ブリキヤ	鉄葉屋		名 鉄葉細工をなす人又は家。
ブリキヤね	鉄葉家根		名 鉄葉にて葺(フ)きたる家根。
ブリズム		Prism	名 理 透明体の三角柱、光線の側面より入り他の側面へ出でて分散す、分光器に用ひらる。
ブリツキ	鉄葉		名 「ブリキ」に同じ。
ブリツヂ		Bridge	名 1. はし。橋梁。2. 船艦の甲板上に設けたる橋梁。
フリント・ガ ラス	- 硝子	Flint glass	名 主として鉛及「カリウム」の珪酸塩より成る「ガラス」。
ふるデラ	古寺		名 ふるくしてあれたる寺。
ブレーキ		Brake	名 車の歯止。
フレミングの きそく	- の規則	Fleming's law	名 理 導線を磁場にて動かすときに生ずる電流の方向と磁力線の方向及導線の運動の方向との関係を示す規則、…又、磁場に於ける導線に電流を通ずるとき、導線の運動の方向に…
プロ			名 { (Prostitute の略) 女郎。娼妓。
フロック・コ ート		Frock coat	名 洋服の上衣の一種、普通黒羅紗にて仕立て、膝(ヒザ)のあたりまでであるもの。
プロテスタ ント		Protestant	名 「しんけう」(新教)に同じ。
フロフキ	胡蘿蔔	字の唐音	名 蕪・大根等を湯にて煮、其熱(アツ)き間に、味噌を塗りて食ふもの。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
フキフキけう	回回教		名 (「フキフキは「ウイグルス」(Uigurs)の転訛、「ウイグルス」(Uigurs)の転訛、その人種此宗教を信じて「マホメツ」教に同じ。
ブンゼンでん ち	- 電池	Bunsen's cell	名 理 磁器に稀硫酸を入れたる器に、稀硫酸と強酸とを垂鉛板の内部に入れ、これを水銀を塗炭器に入れ、焼く。
ブンゼンとう	- 燈	Bunsen's lamp	名 理 一種の瓦斯燈、瓦斯の発生する管の一端を開閉し得る横孔あり、其孔を開くときは、空気の流入をよくなり、燃焼を盛んにして強く燃す。
フント		Funt	名 「ロシア」国の重量の単位、〇・四一匁にして、我国の百九匁三分弱に当る。
ページ	頁	Page	名 書籍・帳簿などの紙の片面。
ページすう	頁数		名 頁を追ひてしるしたる数。ちやうづけ。
ページずり	頁摺		名 活版にて、棒摺に組みたるものを移して一定の框(ワク)に入れ、頁に摺り得るやうに組みたるもの。
ベースボール		Baseball	名 一種の遊戯、九人づつ二組に分れ、交はるがはる一は守手となり一は攻手となりて行ふもの、正方形の線路の各隅に、第一…第四の四壁(ベース)を設け、…
ペーパー		Paper	名 1. 洋紙。2. [商品に貼付する紙、商標又は絵などを摺りたるもの。3. 硝子の粉を糊づけとしたる紙、金属を研くに用ふ。
ヘイサラバサ ラ	鮮答		名 (「オランダ」語 Pedra (石) Bezoar (獣) の訛) 牛馬などの腹中に生ずる石糞、淡黒色にして下毒剤に供せらる。
ベクうるし	可漆		名 「シヤム」国の「ベグウ」より産する上品なる漆。
ベクエレルせ ん	- 線	Becquerel radiation	名 理 「ウラニウム」・「トリウム」等より射出する一種の幅射線。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ベケ			名 (不可の支那音の訛) 悪しきこと。よからぬこと。
ベスト		Pest	名 猛烈なる一種の伝染病、「ベストバチルス」のために発生す、「ベストバチルス」は血液に侵入して全身に蔓延し、リンパ腺及臓腑等腫れあがりて激熱を発す、…(黒死病)。
ベツキ	番瀝青		名 「ペンキ」に同じ。
ベニガラ	紅殻		名 酸化第二鉄の称。
ペプシン		Pepsin	名 化 胃液中にある酵母。
ペプトン		Peptone	名 化 蛋白質の一種、水に(ト)溶け易く熱により凝結せず、…食物中の蛋白質には胃液中の「ペプシン」に遇ふときは「ペプトン」に變ず。
ヘリオスタット		Heliostat	名 理 太陽の光線を室内適宜の方向に送る平面鏡。
ベリリウム		Beryllium	名 化 延性を有し銀白色の光沢を有する稀有の金属。
ベル		Bell	名 電鈴、自転車等につくる鈴(リン)の類。
ベルチエーカ うくわ	- 効果	Peltier-effect	名 理 二つの異種の金属を接合して電流を通ずるとき…例へば、着鉛と「アンチモン」を接合して通ずるときは、其接合部分に冷却し、…
ベルベチエアン		Perpetuaan 蘭	名 昔時「オランダ」人の膚(モタラ)し来りたる一種の布帛。
ベルモット			名 (「スペイン」語 Vermouth の訛) 洋酒の一種、味味酢に似て稍や苦味を有す。
ベレンス	洋青		名 「ペロリン」に同じ。
ペロリン			名 (「イギリス」語 Berlin、blue の訛、「ドイツ」国伯林産の藍の義) 濃き紺色の顔料。ベレンス。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ペン	洋筆	Pen	名 西洋の筆、鵝鳥の羽莖又は金属にて製し、先を尖らせて、縦に割目をつくり、「インキ」を含ませて書くもの。
ベンガラ			名 1. (「インド」国の地名に出づ) 「ベニガラ」に同じ。2. 「ベニガラじま」の略言。
ベンガラじま			名 経(タテ)は絹にして、緯(ヨコ)は木綿なる織物、もと「オランダ」人のもたらししもの。
ペンキ	番瀝青		名 (「オランダ」語 P i k の訛) 1. 船舶などに塗る瀝青(チヤン)。「ベツキ乾性油を混和して煉りたるもの、…腐食を防ぐ…(油漆)。
ペンキぬり			名 「ペンキ」を塗りたるもの。又、「ペンキ」屋。
ペンキヤ	番瀝青屋		名 「ペンキ」を塗抹することを業とする人又は家。
ペンさき	洋筆先		名 1. 「ペン」の端末、洋筆軸に挿して用ふ。2. ふでさき。「ー」で誤魔化したる金。
ペンス		Pence	名 「ペンニー」の複数。
ベンゼン		Benzene	名 化 石炭「タール」の中より分離する揮発性の無色の液体。
ベンチ		Bench	名 こしかけ。椅子。
ベンヂク	洋筆軸		名 「ペン」先を挿して用ふるもの。
ペンニー		Penny	名 「イギリス」国の貨幣の名、一「シルリング」の十二分の一。
ヘンルウダ	芸香		名 植 (「オランダ」語 W i j n i r u i t の訛) 芸香料に属する草、…果実は薬用に供せらる、もと「オランダ」人の膚(モタラ)したるもの。
ボーイ		Boy	名 こもの。こづかひ。(小断)。
ボーイ・コツト		Boycott	名 (始めて此制裁を加へられたる「アイランド」の地主に對し、同盟して商人雇主又は其他に對し、上の關係を企て社交上又は業務上の關係を絶ちてこれをくする) 拒絶。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ホーウィツツル		Howitzer	蘭名 臼砲。
ホーク		Fork	名 西洋料理の用具、金属にて製し、端末指状をなして尖(トガ)る、「ナイフ」にて切りたる肉をさして食ふに用ふるもの。にくさし。
ボート		Boat	名 西洋形の端艇。
ボート・レース		Boat-race	名 「ボート」の競漕。
ボードのきそく	の規則	Bode's rule	天 遊星の太陽よりの距離に関する経験的規則、…各遊星の太陽よりの距離の比を近似的に表はすといふこと、此中海王星の距離は此規則に合はず、…
ボール		Ball	名 たま。まり。
ボールがみ	紙		名 (Boardの訛)「ばふんし」(馬糞紙)に同じ。
ボード		Board	名 教授上などに用ひらるる塗板。黒板。
ホイタウ	陪堂		名 仏 飯米の称。
ホイヘンスのげんり	原理	Huygens' Principle	理 波動の伝達する際、媒質内に於て波面上の各部が順次に波源となり、其無数の小波面を包む面が、…「オランダ」人「ホイヘンス」の始めて唱へたるもの。
ホイロ	焙炉		名 (字の宋音)火の上に懸け中に物を入れて乾かす具、框(ワク)に紙などを貼(ハ)れるもの。(焙厨、紙焙)。
ポイント		Point	名 1.場所。点。2.鉄道にて、汽車の車両を甲線より乙線に移すため、岐路に備へ置く装置。
ポイント・メン		Pointsmen	名 鉄道の「ポイント」を取扱ふ人。
ハウゴロウ	鳳五郎		名 (「オランダ」語 Struis、Vogelの上略) 鴉鳥の異称。
ハウブラ	南瓜	Abobora	ボ名 植 「カボチャ」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ほかソウ	放下僧		名 「ほうかし」(放下師)に同じ。
ボギーしゃ	車	Bogie-truck	名 車輪を車台に固定せずして車箱を長く造りたる汽車又は電車、車輪の軌鉄に従ひて自由に迂曲するため、車箱の長きことは毫も妨げとならず。
ほけザンマイ	法華三昧		名 他事をすてて余念なく一心に法華經を読むこと。
ボサツ	菩薩		名 仏 (梵語 Bodhi-sattva (菩薩(土+垂)の略、覺有情と訳す)(い)仏に並ぐ位置、…(ろ)古昔、朝廷より碩徳の高僧に賜はりし號。) 朝基一。
ボサツいばら	菩薩薔薇		名 動 十姉妹に同じ。
ボサツかい	菩薩戒		名 仏 不殺・不盗・不淫・不妄語・不(酉+古)酒・不説過罪・不自贊毀他・不慳…の称。
ボサツじよう	菩薩乘		名 仏 六度の行を修し衆生を化し生死を出離すること。
ほしアン	乾館		名 館をほしかわかしたるもの。
ほしボトケ	星仏		名 古昔、九曜星の中、其年にあたりたるものの形像をほり、真言宗の行者これを祭りたるもの。
ポスト		Post	名 1.郵便。2.郵便函。
ホスホル		Phosphor	名 「りん」(磷)に同じ。
ボダイ	菩提		名 仏 (い)(梵語 Bodhi 道又は覺と訳す)無常の正道。…(ろ)仏門に入ること。…(は)念仏すること。
ボダイかう	菩提講		名 菩提のために法華經を説く法会。
ボダイごゑ	菩提声		名 念仏する声。
ボダイサツタ	菩提薩(土+垂)		名 仏 菩薩の條を見よ。
ボダイレ	菩提子		名 菩提樹の実。

見出し	漢字表記	原語	出	詞	野	語	釈
ボダイじゆ	菩提樹		名				1.【仏】釈迦牟尼仏、其下に座して大正覚を成したりといふ樹、…2.【植】「しなのき」に同じ。
ボダイしよ	菩提所		名				檀那寺。香花院。
ボダイしん	菩提心		那				仏道に入る心。又、正覚を開く心。
ボダイず			名				1.【植】菩提樹に同じ。2.菩提子に同じ。
ボダイのしか	菩提鹿		名				菩提の容易に得がたきを鹿にたとへいふ語。
ボタシウム		Potassium	名	化			「カリウム」に同じ。
ボタン	鈕釦	Botao	ボ	名			「シャツ」・洋服其他衣類の一方に着け他方にある穴にはめ入れて合はせとむるもの、介殻又は金属などにてつく。(扣鈕)。
ほつけザンマイ	法華三昧		名				一心に法華経を誦読して其妙理を観念すること。
ホツケン	黄絹		名				(字の唐音)東京(トンキン)より舶来する絹布、黄蘗の糸にて織れるもの。
ポツタース		Potash	名	化			水酸化「カリウム」に同じ。
ポツタシウム		Potassium	名	化			「カリウム」に同じ。
ポットロード		Pot lood	蘭	名			鉛筆。
ホテル		Hotel	名				大なる旅館。やど屋。旅舎。
ポテンシャル		Potential	名	理			「でんゐ」(電位)に同じ。
ホトケ	仏		名	仏			(梵語 Buddha の転) 1. 仏陀。2. 仏像。3. 釈迦牟尼。4. 仏葬したる死者の霊。5. (いと正直にして無邪気なる人の称)。
ホトケいちり	仏弄		名				香花を供し読経などして仏に事ふること。
ホトケぎ	仏気		名				いと正直にして無邪気なる性質。

見出し	漢字表記	原語	出	詞	野	語	釈
ホトケくさし	仏臭		形				坊主くさし。仏教くさし。
ホトケしやう	仏性		名				仏氣に同じ。
ホトケのざ	仏座		名	植			鶏腸(カハラケナ)を春の七種に用ふる時の称。
ホトケづくる	仏作		動				死顔になる。
ホトケまつり	仏祭		名				仏に供養すること。
ボニ	盆		名				盂蘭盆の略言なる盆(ボン)に同じ。
ホニムーン		Honey-moon	名				1. 新婚の当月。結婚後の一ヶ月。2. 新婚旅行。
ほふしんブツ	法身仏		名	仏			常住普遍なる法身の仏。
ボヘミア・ガラス		Bohemian glass	名				「カリガラス」に同じ。
ほほづきヂヤウチン	酸漿提燈		名				赤く染めたる正圓の小提燈。(鬼燈)。
ボラビユーク		Volapuk	名				西暦一千八百七十九年「ドイツ」人「シュライエル」が万国共通用としてつくれる言語、材量は多く「ローマンス」語及び「チュートン」語より採り、...
ボリス		Police	名				巡查。
ボルト		Volt	名	理			電力の差、即ち電圧の単位、抵抗一「オーム」の導線に「アムペア」の電流が通ずるとき、其導線の両端の電位の差に等し。
ボルドー		Bordeaux	仏	名			「フランス」国「ボルドー」より産出する上品なる葡萄酒。
ホルトガル			名				(「ボルトガル」国より渡来せし故に名づく) 1. 橄欖油の称。2. 仏狼機(フツラウキ)の称。
ホルトさう	統随子		名	植			大戟科に属する草、茎は圓く太くして高さ一二尺、葉は対生す、四弁黄紫色の花開く、果実は毬状にして中は褐色の種子を蔵す。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ホルトのあぶら	統随子油		名 「ホルト」さうの種子より採取したる油。
ほろミソ	法論味噌		名 胡麻・麻・山椒などの実を碎(クダ)き入れたる焼味噌の乾したるもの。
ボン	盆		名 1.「ウラボン」(孟蘭盆)の略言。2.孟蘭盆の布施・供物。3.孟蘭盆の前後の頃。
ボン	梵	Brahma	梵 名 1.言説すべからず、思惟すべからず、ただ煩悩を脱したる絶対唯一の真理。2.汚染なきこと。けがれなきこと。3.梵天(ボンテン)の略言。
ボン-	梵		頭 仏教に関する物事に冠する語。「-刹」。「-妻」。
ボンかく	梵闍		名 テラ。寺院。
ボンきやう	梵境		名 寺院の境内。
ボンぎやう	梵行		名 「バラモン」の修行。仏門の修行。清浄なる行。
ボンくれ	盆暮		名 孟蘭盆の頃と年末と。
ボンご	梵語		名 印度の古代の言語。「サンスクリット」語。
ボンさい	梵妻		名 僧侶の畜ふる妻。だいこく。
ボンさつ	梵刹		名 「ボンせつ」に同じ。
ボンさん	梵讃		名 梵語のままに唱ふる仏徳を称したる文。和讃または漢讃の対。
ボンじ	梵字		名 梵天王の作りたりといひ伝ふる印度の文字、其母字を悉曇(シツタン)といひ、…合はせて摩(口+多)体文ともいふ。(悉曇章)。
ボンしよう	梵鐘		名 寺院のかね。
ボンス		Punch	蘭 名 砂糖・檸檬汁(レモン)及酒精に水を和したる飲料。(橙果汁)。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ボンせつ	梵刹		名 テラ。寺院。
ボンチ		Punch	英 名 西洋の人形芝居のおどけものの称。又、寓意風刺の畫。
ボンチ系			名 俗に滑稽なる畫の称。戯畫。
ボンてん	梵天		名 (梵語 Brahma の略) 1.おもに婆羅門教にて祭れる圓満具足大自在なりといふ神、仏教にててもこれを祭る宗派あり。2.修験道にて、祈禱に用ふる東。
ボンてんごく	梵天国		名 放逐せらるること。「-になる」。
ボンてんまい	梵天米		名 のしね。
ボンてんわう	梵天王		名 「ボンてん」(一)に同じ。
ボンド		Pound	名 1.「イギリス」国の衡量の單位。「アウオイルチユボイス」衡にては七千「グレイン」…「トロイ」衡にては五千七百六十「グレイン」…2.「イギリス」国の貨幣の名…(磅)。
ボンバイ	梵唄		名 (「バイ」は梵語 Bhasa) 如来を讚歎供養する讚。声明(シャウミヤウ)。
ほんピロウド	本天鷲絨		名 経(タテ)緯(ヨコ)共に絹糸なる天鵝絨。
ポンプ		Pump	名 水を高きにあぐるに用ふる機械、即ち押し上「ポンプ」・吸上「ポンプ」の總称。みづはじき。(唧筒)。
ボンベン		Bom-ben	蘭 名 破裂彈。
ボンまへ	盆前		名 孟蘭盆に近き頃。
ボンわう	梵王		名 「ボンてん」に同じ。
ボンをどり	盆踊		名 盆に、男女群れあつまりてなすをどり。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
マ	魔		名 (梵語 Mara の略) 修道の障害をなす靈。善事に障害を興ふる神。
マイス	売僧		名 (字の宋音) 1. 商ひする僧侶。2. 僧侶を罵りていふ語。
マイル	哩	Mile	名 「イギリス」国の長さの単位、八〇「チエイン」にして我国の十四町四十三間一尺三寸余に当る。(英里)。
マカ	摩訶	Maha	梵名 大なること。「一般若」。
マかい	魔界		名 悪魔の世界。
マカふしぎ	摩訶不思議		名 甚し不思議なること。
まきタバコ	巻煙草		名 煙草を細長く巻きたるもの、紙巻と葉巻とあり。(子+子) 姑煙)。
まきタバコ入れ	巻煙草入れ		名 巻煙草を入れて携ふる具。
マグネシア		Magnesia	蘭名 化 「マグネシウム」の酸化物、苦味あり、下剤に用ひらる。(苦土)。
マグネシウム		Magnesium	名 化 銀白色の金属、空気中にては徐々に酸化して光沢を失ひ、熱すれば強き種々の鉱物を成し、ひろく散布す。
マグネット		Magnet	名 磁石。
マジゆつ	魔術		名 不思議なる術。あやしき術。
マしん	魔神		名 人に禍する神。まがつひ。
マスク		Mask	名 「ベースボール」にて捕手の用ふる面。
マスト		Mast	名 ぼぼしら。
マタ	摩(口+多)		名 (梵語 Matrkā 母の義) 梵字の点畫。
マだう	魔道		名 悪魔のみち。あしきみち。
マダラ	曼陀羅		名 (梵語 Mandala の転) 浄土の実相の図。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
マダラ	斑		名 (前條の転) 種々の色の入り雜りたるもの。ぶち。
マダラうり	斑瓜		名 植 瓜の一種、果実に黄色の斑あるもの。
マダラぐも	斑蜘蛛		名 動 女郎蜘蛛の一名。
マダラだけ	斑竹		名 植 「はんちく」に同じ。
マダラまく	斑幕		名 一幅ごとに色の異なる布を用ひて縫ひたる幕。だんだらすちの幕。(斑幔)。
マダラじん	摩多羅神		名 仏 天竺の神、常行三昧の守護神といふ。
マチン	馬錢		名 植 馬錢科に属する小木本、東「インド」に産す、葉は柄なく対生し、花は小形有るなり、偏圓形の種子を生ず、種子は有毒にして重要な薬品とす。(番木鱉)。
マツサージ		Massage	名 西洋風の按摩、我国在来の按摩と殆ど同じく、ただ皮膚に薬液を塗布するを異なりとす。
マツチ	燐寸	Match	名 すりて火を出す具。塩素酸「カリウム」・硫化「アンチモン」及硫黄等の混合物を…箱の赤燐・過酸化「マンガン」硫化「アンチモン」等の混合物を塗布したる側面に摩擦…
まどガラス	窓硝子		名 ガラス窓に用ひたるガラス。
マドロス	水夫	Matroos	蘭名 1. ふなのり。船頭。2. 気の利かぬ人。
マニしゆ	摩尼珠		名 仏 («マニ」は梵語 Mani) 龍王の腦中にありといふ清浄なる珠。
まはりスゴロク	廻双六		名 一種の遊戯、道中双六の如く、振りたる采(サイ)の目の数によりて、順次に区画を追ひ進み、早くあがり達したるを勝とするもの。
マほふ	魔法		名 魔力にて怪しき事を行ふ術。(妖術)。
マほふつかひ	魔法遣		名 魔法をつかふ人。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
マホメツトけう	麥哈默教	Mahometanism	名	「アラビヤ」国「メッカ」の人「マホメット」…神を「アラール」(Allah)…經典を「コーラン」(Koran)…「アジア」…「アフリカ」…「フキフキ」教。(回回教)
マもの	魔物		名	ばけもの。禍をなすもの。
マよけ	魔除		名	魔を除(ヨ)くるたよりとなるもの。神符。
マラ	魔羅	Mara	梵名	1. 思念又は修道の障害をなすもの。(悪魔、邪魔)。2. {院茎の称。(もと僧家の陰語)}。
マラリア	麻拉利亞		名	(「イタリア」語 Malaria 悪しき空気の義) 1. 沼澤・湿地…不健康なる物質を含有する気。(瘴氣)。2. 一種の伝染病、先づ悪寒を…遠(オコリ)これなり。
マラリアねつ	麻拉利亞熱		名	前條(二)に同じ。
マリシてん	麻利支天		名 仏	(「マリシ」は梵語 Marici) 悪鬼神の名、後世誤りて武勇の神として祀る。
まるガツバ	丸合羽		名	ひきまはし。
マルク	馬	Mark	独名	「プロシア」国の貨幣、我国の四十八九銭にあたる。
まるチャウチン	丸提灯		名	丸形の提灯。
まるブしゆかん	丸仏手柑		名 植	仏手柑の一種、果実は柚に似て稍や楕円状をなす、砂糖漬として食用に供せらる。(枸櫞、香櫞)。
マルメロ	櫞(木十字ノ字)	Marmelo	ポ名 植	薔薇科の植物、葉は楕円形にして、縁に密毛を有し、下面にして毛を有す、…果実は球状黄緑色にして香気あり、食用に供せらる。(香圓)。
マルモット	土撥鼠		名 動	(い) (「オランダ」語 Marmot) 齧歯類に属する獣、四肢短くして…もと「アメリカ」の原産なりしが、…「モルモット」。(ろ) 誤りて、天竺鼠の称。

見出し	漢字表記	原語	出詞	野語釈
マンガ	滿儼	Manganese	名	1. 灰赤色を帯びたる金属、…酸素を得る料に供せられ、又、玻璃・陶器の染料に供せらる。2. 俗に過酸化「マンガ」の特称。(無名異)。
マンガンド	滿儼土		名	酸化「マンガ」の一種、極めて軟弱にして軽きこと黒土の如きもの。
まんゴフ	萬劫		名	限りなき世。萬世。(劫の條参照)。
まんゴフまつだい	萬劫末代		名	萬世の後。永遠の後。
マンジュシヤ	曼珠沙華		名 植	(「マンジュシヤ」は梵語 Manjushaka の略、天上の華の義) 石蒜科に属する草、一根より数葉を生ず、…しびとばな。(石蒜)。
マンダラ	曼陀羅	Mandala	梵名	1. 【仏】浄土実相の図。2. 種々雑多の色。
マンダラげ	曼陀羅華		名 植	(い) 蓮の花。(ろ) 「きちがひなすび」に同じ。
マンヂユウ	饅頭		名	(字の唐音の訛、蜀の諸葛孔明が南征して瀘水を渡りしとき、土俗人頭を塊を以て其神を祭りしかば、…麩を以て塊をつくりこれに人頭を描き…我國に…) 一種の菓子、饅頭粉に…
マンテイカ		Mantaiga	ポ名	猪・豚などの脂肪。
マンテル		Mantel	蘭名	西洋服の上衣。外套。
マント			名	「マンテル」に同じ。
マントル		Mantle	名	1. 「マンテル」に同じ。2. 白熱燈の火筒を覆ひ、火輝を発するもの、硝酸「ドリウム」・硝酸「セリウム」を染ませたる筒状の網を焼き、灰となしてつくる。
マンモス		Mammoth	名	前世界に生存せし極めて巨大なる獣、象の種類なりといふ。
マンラン	孟浪	字の唐音	名	「まうらう」に同じ。
ミイラ	木乃伊		名	1. (「イギリス」語 Mummy を支那にて、木乃伊(モノイ)と誤訳せし俗のの転訛) 「エジプト」国古代にて、…薬用に供せらる。2. 転じて、生物体の化石。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ミシン	彌針		名 (「イギリス」語 Sewing、machineの略の転) 洋服「シャツ」など縫ふ機械、手にて回して使用するもの。足にて踏(フ)みて使用するものあり。
ミソ	味噌		名 味噌豆を搗(ツ)き碎(クダ)きて麴と塩とを和し、これを桶に蔵(ヲサ)めてならしたるもの、…其他種々食味の調理に用ひらる。(味噌)。
ミソをつける			失敗す。しくじる。
ミソあへ	味噌麴		名 味噌にて調理したるあへもの。
ミソうづ	味噌水		名 味噌汁の雑炊(ザフスキ)。
ミソがゆ	味噌粥		名 味噌汁にてたきたる粥。
ミソこし	味噌漉		名 曲物(マゲモノ)の底に竹の簀を張りたる篩、味噌汁の滓(カス)を漉(コ)すに用ふ。
ミソしる	味噌汁		名 味噌を摺(ス)りて水に溶(ト)かして煮たるもの、野菜又は肉を突となす。
ミソすり	味噌摺		名 1.味噌を摺ること。2.「ミソすりばうず」又、「ミソすりようにん」の略言。
ミソすりばうず	味噌摺坊主		名 寺院の炊事などにつかはるる僧侶。又、僧侶をあざけりていふ語。
ミソすりようにん	味噌摺用人		名 貴人の邸に仕ふる用人をのしりていふ語。
ミソづけ	味噌漬		名 味噌に漬けたる肉又は菜などの称。
ミソツば	味噌歯		名 {「ミソは」に同じ。
ミソは	味噌歯		名 黒くなりそこなはれかけたる歯、小児に多し。
ミソやき	味噌焼		名 味噌をつけて焼きたる料理。
ミダ	彌陀		名 仏 阿弥陀の略言。「-の本願」。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
みちブシン	道普請		名 道路の修繕又は開設。
みづガラス	水硝子		名 化 無水珪酸の粉末を水酸化「アルカリ」布と共に融解するとき生ずるもの、せられる。材木等に塗布して防火の用に用ひらる。又、染色・人造石製造等に用ひらる。
ミツダ	密陀		名 「ミツダソウ」の略言。
ミツダソウ	密陀僧		名 化 酸化鉛の称。
ミツダのあぶら	密陀油		名 密陀僧を荏の油に溶かしたるもの、油絵に用ふ。
みづタバコ	水煙草		名 植 苦苣苔科に属する草、葉は平滑にして根より生ず、…観賞用として栽培せられ、葉は食用に供せらる。(苦苣苔)。
ミット	Mitt		名 野球にて球を受くるために用ふる手袋、中に毛を入れ大きくしたるもの。
みつめこソウ	三目小僧		名 目の三つありといふ怪物。
ミリグラム	匙 Milligramme		名 一瓦(グラム)の千分の一。
ミリメートル	耗 Milimetre		名 一米(メートル)の千分の一、三厘三毛に当る。
ミルク	Milk		名 1.牛乳。2.「コンデンスミルク」。
ミルク・ホール	Milk-hall		名 客に牛乳を飲みしむる家。
ミロク	彌勒		名 1.【仏】(梵語 Maitreya (梅咄麗耶)、慈氏と訳す) 当来の仏、即ち未来に現出するといふ仏。2.布袋(ホテイ)の異称、彌勒の化身なりといふ。
ミロクブツ	彌勒仏		名 仏 前條に同じ。
ミロク会	彌勒会		名 古昔、毎年三月志賀の崇徳寺にて彌勒仏を勧請する法会。
ミン	明		名 支那の有名なる朝、我紀元二千二十三年に朱元璋が元を建てて永明王が清の太祖に滅されたる迄の間。

見出し	漢字表記	原語	出詞野	語釈
ミンてう	明朝		名	明(ミン)朝のときに伝来したる木版活字の書体、縦畫太くし横畫細きものもと宋朝より始まりたるが故に宋書ともいふ。
ミンてき	明笛		名	笛の一種、七孔あり中央の一孔には竹紙を貼(ハ)る。
むえんボトケ	無縁仏		名	無縁の亡者。
むしヤウカン	蒸羊羹		名	菓子的一種、煮たる小豆を搗りて皮をとり、其水をしぼりたるものに麩粉を加へ、砂糖の汁にてこね、これを蒸して蒸したるもの。
むダン	無檀		名	檀家の無きこと。
むりやうじゆ ブツ	無量壽仏		名	前條に同じ。
メース	錢		名	清国貨幣の名。
メートル	米突	Metre	名	長さの基本単位、約地球子午線の四千萬分の一、其原器は「フランス」国万国「メートル」同盟度量衡局に保管せらる。(米)
メートルはふ どりやうかう	米突法度量衡		名 数	長さの単位を一「メートル」として他の単位を導き出だす式、「フランス」国の創定にして、広く世界に行はる。
めいソウ	名僧		名	すぐれたる僧。
メイロ	迷躰	Meru	梵名	「ソメイロ」に同じ。
めガハラ	靴瓦		名	屋根の上にあふむけて葺(フ)く瓦。
めしバチ	飯鉢		名	めしびつ。
メシヨン			名	(「ドイツ」語 Meerschäum の訛)巻煙草の「パイプ」などにする一種の紙物。
メス			名	(「オランダ」語、Mes)西洋形の小刀。
メタル			名	「メダル」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野	語釈
メダル		Medal	名	賞牌。
メタン		Methane	名 化	無色無味無臭にして点火し易き気体、炭化水素中最小の分子量をもつた石油産地の地中或は沼澤の沼に生ずるもの。
メチル・アル コホル		Metyl-alcohol	名 化	木材を乾溜するとき生ずる一種の香氣ある液体に木精と称す。
メリキ			名	{「ミルク」の訛。
メリケンコ	米利堅粉		名	「アメリカ」合衆国より輸入する小麦の粉。
メリヤス	莫大小		名	1. (「スペイン」語 Medias)糸にて密に編みて、伸縮するやうに作りたる織物、…2. {長唄の一種、文短くして演劇の間の伸縮に合はするもの。
メリンス			名	薄く柔かく織りたる一種の毛織物。たうちりめん。「メレンス」。
メルカトルと うえいはふ	- 投影法	Mercator's projection	名 地	円柱投影法に同じ、「フランス」人「メルカトル」の初めて造りしなるものが故に名づく。
メルカトルへ いめんづはふ	- 平面図法	- 's plane projection	名 地	前條に同じ。
メレンス			名	「メリンス」の転。
メンチ			名	(「イギリス」語 Mince の訛)西洋料理にて、細かく刻みたるもの。
メンチ・エキ ス			名	「メンチ」の牛肉に卵をかけたる西洋料理。
メンチ・ビー フ			名	馬鈴薯を搗(ス)りたる汁にて、「メンチ」の牛肉を煮(ニ)たるもの。
メンチ・ポー			名	牛肉と馬鈴薯とを搗(ツ)き合はせてあげたるもの。
メンツウ	面桶	字の宋音	名	飯を一人前づつ配る曲物(マゲモノ)。普通乞食の持つもの。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
めんピロード	綿天鵝絨		名 綿糸を用ひて織りたる天鵝絨(ピロード)。
モーニング・コート		Morning-coat	名 洋服の一種、「フロツクコート」の前方のつま先を丸くとりたる如きもの。
モール	毛織		名 もと「インド」國「モゴル」より産出したる織物、緞子に似て…金「モール」といひ、…銀「モール」といふ、別に風通と称するものあり、…(回回織)。
モールがは	毛織皮		名 いんでん皮の類、厚くして皺あるもの。
もくタール	木(父/多)児	Wood tar	名 木材などを乾溜して生ずるタール、防腐剤等に用ふ。
モザイツク		Mosaic	名 着色したる大理石又は玻璃・木材等の小立方體をなす片子を組みあはせて、人物又は風景若しくは文様を描出し、建築又は器具などの面にはめこみて裝飾となすもの。
モスリン		Muslin	名 「メリンス」に同じ。
モデル		Model	名 かた。模型。手本。
モネー		Money	名 かね。金銭。
モヘル		Mohair	名 舶来の下等なる毛織物、毛を長く織出だす。(長羊毛絨)。
モリブデン		Molybdenum	名 化 銀白色の稀有なる金属元素。
モルタル		Mortar	名 化 消石灰に砂を混じ水を加へて煉(ネ)りたるもの、時日を経過すれば堅硬となる、煉瓦石・石材等を接合するに用ひらる。
モルチール		Mortier	名 蘭 「きうほう」(白砲)に同じ。
モルヒネ			名 化 「モルフィン」に同じ。
モルフィン		Morphin	名 化 「アルカロイド」の一種、苦味を有し水に溶(ト)け難き結晶、体なり、其塩は水に溶解易く、少量を服すれば催眠を催(モヨホ)し、多量すれば有毒なり、医薬として用ひらる。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
モルモツト			名 動 「マルモツト」に同じ。
モロモツト			名 動 「マルモツト」に同じ。
モンゴリアン		Mongolian	名 蒙古人種。
モンジユ	文珠		名 仏 (梵語 Manjusri (曼珠室利) の略、妙徳又は吉祥の義) 菩薩の、明かに仏性を見て法身・般若・解脱の三徳を具足し不可思議微妙の功徳ありといふ。
モンジユのち	文珠智慧		名 すぐれてよき知恵。「三人よれば一」。
モンバ	紋羽		名 綿布の一種、「フランネル」に似、地質粗にして毛の立てるもの。(文派、紋派)。
モンローしゅぎ	-主義	Monroe doctrine	名 …「スペイン」が…南「アメリカ」に…北「アメリカ」が…合衆国の「モンロー」が発表…「アメリカ」大陸…北「アメリカ」大陸…

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ヤード	碼	Yard	名 「イギリス」国の長さの基本単位、三呎にして我國の三・〇一七五尺に当る。
ヤール	碼		名 {「ヤード」の説。}
やうイオン	陽一	Cation	名 化 陽電氣を負ふ「イオン」。
ヤウカン	羊羹		名 (字の唐音の説) 蒸羊羹及煉羊羹の総称。
やくソウ	役僧		名 寺院の事柄を取扱ふ僧。
やこゼン	野狐禪		名 禪を学びて、未だ証見する所なきに、自ら深く造詣せりと慢ずるもの。
ヤシヤ	夜叉	Yaksa	梵 名 猛悪なる鬼神。
ヤシヤびしやく	夜叉柄杓		名 植 虎耳草科に属する植物、深山に生じ、他の樹木に寄生す、春の頃、五弁青、白色の花開き、平滑なる漿果を生ず。てんばい。てんのうめ。
ヤシヤぶし	夜叉五倍子		名 植 樺木科に属する木、葉は卵状披針形又は長楕円形なり、果実は褐色の染料に供せらる。
ヤソけう	耶蘇教		名 「キリストけふ」に同じ。
やまデラ	山寺		名 山中にある寺院。
ゆうづうねんブツ	融通念仏		名 仏 (い) 自称身のふる念仏を衆生に回向すれば其功德また自身に融通するといふこと。(ろ) 「ゆうづうねんブツしゆう」の略言。
ゆうづうねんブツしゆう	融通念仏宗		名 仏 仏教の一派、融通念仏を教義とす、大治年中僧良忍これを創(ハジ)め、元享年中僧法朗これを再興せしもの。
ゆきダルマ	雪達磨		名 雪をかためて造りたる達磨の像。
ゆきのホトケ	雪仏		名 雪をかためてつくりたる仏像。
ゆきボトケ	雪仏		名 「ゆきのホトケ」に同じ。
ゆきまるひバチ	雪丸火鉢		名 青と白と釉(クスリ)をかけたる陶製の火鉢。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ユジユン	由旬	Yojnaa	梵 名 里程の名、九「マイル」弱、十六里ともいふ。
ゆずミソ	柚味噌		名 味噌に柚子の果実の汁を和したるもの、これに胡麻の種子などを雑(マ)ずるもあり、普通これをなかがとりたる柚子の果皮に盛る。
ユダヤけう	猶太教	Judaism	名 「ユダヤ」人の奉ずる一神教、「モーセ」の法を基礎とするもの。
ゆタンボ	湯婆		名 「タンボ」に同じ。
ゆうづうねんブツしゆう	融通念仏宗		名 仏 「ゆうづうねんブツしゆう」に同じ。
ゆトン	油団		名 {紙を貼(ハ)り合はせて油をひきたるもの、多く夏の敷物に用ふ。(油布)}。
ユニテリアン		Unitarian	名 「キリスト」教の一派、三位一体説を排斥して唯一の神格を主張するもの、おもに、「アメリカ」合衆国に行はる。
ゆひケサ	結袈裟		名 袈裟の一種、菊綴(キクトヂ)の如きものを着く、山伏の用ふるもの。
ゆミソ	柚味噌		名 「ゆずミソ」に同じ。
ゆみはりヂヤウチン	弓張提燈		名 提燈の一種、竹を弓のごとくに撓(タワ)め、其上下にかけ張りて開らくやうにつくれるもの。
ユキマゑ	維摩会		名 古昔、十月十日より十六日まで行はれし公事、興福寺にて維摩経を誦せられたり。
ヨークワカリウム	沃化一ウム	Kalium iodide	名 化 沃素と「カリウム」との化合物にして水に溶解易き白色立方体の結晶体、医術又は写真術等に用ひらる。沃度加里。
ヨークワぎん	沃化銀	Silver iodide	名 化 沃素と銀との化合物、黄色の粉末にして水及酸に溶解せず、日光に当つれば変色して紫黒色に變ず、写真術に用ひらる。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ヨ一そ	沃素	Iodine	名 化 性質塩素に類似せる元素、灰黒色板状の結晶体にして、「アルコール」に溶解易し、溶液を澱粉溶液に加ふれば濃青色の沈澱を生ずるより澱粉の鑑識に用ひらる。
ヨ一ド	沃度	Iodine	名 化 「ヨ一そ」(沃素)に同じ。
ヨ一ド・カリ	沃度加里		名 化 「ヨ一くわカリウム」に同じ。
ヨ一ド・チンキ	沃度丁幾	Iodo-tincture	名 化 沃素の「アルコール」溶液、医療に用ふ。
ヨ一ドホルム	沃度(人+方)膜	Iodoform	名 化 沃度の「アルコール」溶液と水酸化「アルカリ」との反応によりて生ずる黄色の結晶体、防腐剤として医薬に用ひらる。
ようがんとンネル	溶岩隧道		名 流出したる溶岩の外部冷却し内部の液体流出するによりて生じたる洞穴、富士の人穴の如きこれなり。
よくブツせち	浴仏節		名 「くわんブツ系」(灌仏会)に同じ。
ヨヂウム		Iodium	羅 名 「ヨヂウムチンキ」に同じ。
ヨヂウム・チンキ		Iodine tincture	名 「ヨ一ドチンキ」に同じ。
ヨツト		Yacht	名 軽快なる小船、遊航又は競走などに用ひらる、帆を用ふるものと蒸汽機関を備ふるものとあり。
よねマンヂユウ	米饅頭		名 餡を包みたる米の餅、圓くして、両端尖りたるもの。
よのブトン	四幅布団		名 布四幅にて仕立てたる布団。
よびリン	呼鈴		名 人を呼びよこすために鳴らす鈴。
よわミソ	弱味噌		名 (弱きものをののしりいふ語。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ラーケン		Laken	蘭 名 羅紗の類。
ライス・カレー		Rice-curry	名 西洋料理にて、「カレー」即ち胡椒・薑等を含む一種の醬油と肉とを煮(二)て、其汁を飯にかけたもの。
ライス・ペーパー		Rice-paper	名 或種の木髓を原料として製したる一種の紙、花簪の弁などをつくるに用ひらる。
ライデンびん	一 瓶	Leyden jar	名 理 「レイデンびん」に同じ。
ライフル		Rifle	名 施條銃。
ラウ	羅宇		名 (初め「ラオ」(Lao)国より来たる竹を用ひしよりいふ)煙管の火口と吸口との間を接ぐ竹管。ラオ。(煙管竹)。
らうソウ	老僧		名 としとりたる僧。
ラウだけ	羅宇竹		名 「ラウ」に同じ。
らうブツ	老仏		名 老荘の教と仏陀の教と。
ラオ	羅宇		名 「ラウ」に同じ。
ラカン	臘乾		名 燻(フス)べたる豚の股の肉。
ラカン	羅漢		名 「アラカン」(阿羅漢)の略言。
ラカンしょう	羅漢松		名 植 「いぬまき」に同じ。
ラカンはく	羅漢柏		名 植 「あすはひのき」に同じ。
ラカンまき	羅漢楨		名 植 「いぬまき」に同じ。
ラケット		Racket	名 「ローンテニス」などにて球を打つ具、杓子状をなし、縁は木にて枠をつくり、中は鬚にて綱を張れり。
ラシヤ	羅紗	Raxa	ボ 名 もと西洋より伝来したる毛織物、羊毛にて薄く密に織りたるもの。(口+多)羅絨)。
ラシヤめん	羅紗綿		名 1.【動】「めんやう」(綿羊)に同じ。2.【日本】の婦人にして西洋人の妾なるもの。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
ラセイタ	羅背板	Raxeta	ボ 名 昔時西洋より舶来せし毛織物、羅紗に似て、毛剛(コハ)く地厚く、織目の見ゆるもの。(華机織)。
ラセツ	羅刹	Raksasa	梵 名 仏 悪鬼の名、黒身朱髪にして眼碧く獣の如き牙と雁の如き爪とを有する像を描(エガ)く。
ラせつ	羅切		名 陰茎を切断すること。
ラせん	羅氈		名 (羅紗に似たる毛氈の義)西洋の毛織物、敷物に用ふ。
ラヂウム		Radium	名 理 「フランス」国人「キュリー」の発見せる元素、…「アルファ」(α)線・「ベータ」(β)線・「ガンマ」線(γ)と称す、…「ラヂウム」塩…「エウキス」線…
ラツコ	臘虎		名 動 食肉類中鼬鼠科に属する哺乳動物、…天鵝絨(ビロード)の如し、毛皮は頗る高価なり、北太平洋の海岸に産し、我国にては千島にて多く捕獲せらる。
ラツバ	喇叭		名 一種の楽器、吹きて鳴らすもの、よく遠きに達する音を発す、金属にてつくられ、吹く方細くして端末大なり。形状種々あり、軍隊にて号令の合図に用ひらる。
ラツバくわん	喇叭管		名 婦人の卵巣より子宮に達する管。
ラツバしゆ	喇叭手		名 喇叭を吹くもの。
ラツバそつ	喇叭卒		名 喇叭を吹く兵卒。
ラツバふき	喇叭吹		名 1.喇叭手。2.〔うそつき。ほらふき。〕
ラテンゴ	拉丁語		名 古昔の「ラテン」民族の語、今は死語となれるが学術語として万国に通用せらる。(羅甸語)。
ラバ		Lava	名 地 溶岩。
ラビス		Lapis infernalis	名 化 硝酸銀。
ラベイカ	羅面絃	Rabeca	ボ 名 昔時、「ポルトガル」人の麁(モタラ)しし一種の楽器、三弦を張り弓にて弾くもの、現時の胡弓これなり。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
ラマ	喇嘛		名 (西藏語Lama無上の義)喇嘛教の最上位の僧、宗教、政治の全部を握れるもの。
ラマけう	喇嘛教		名 仏教の一派、西藏を中心として蒙古及滿州地方に行はるるもの、黄教と紅教とあり、黄教の僧侶は黄色の僧衣をつけ且つ妻帯せず、紅教の僧侶は紅色の僧衣をつけ妻帯す。
ラマソウ	喇嘛僧		名 喇嘛教の僧侶。
ラミー	苧麻	Ramie	名 植 「からむし」に同じ。
ラム		Rum	名 糖蜜を発酵せしめて得たる酒、多く西印度諸島に産す。
ラムネ			名 (「イギリス」語Lemonadeの訛)無水炭酸を水に溶解したるものを、少量の砂糖又は「レモン」液を混ぜ、飲料として用ひらる。
ランセツタ		Lanceta	蘭 名 はばり。
ランタフ	蘭塔		名 (梵語Rasiの転、高積の義)卒堵婆。墓。(卵塔)。
ランタフば	蘭塔場		名 はかば。墓地。
ランタン		Lanthanum	名 暗灰色の稀有なる金属。
ランテルン		Lantern	蘭 名 「ランプ」に同じ。
ランドセル			名 「はいなう」(背囊)に同じ。
ランニヤ	蘭若		名 (梵語、阿蘭若の略言、林の義)寺院。テラ。
ランビキ	蘭引	Lambique	ボ 名 一種の蒸留器、鍋の上に鍋を蓋とし、其上に更に冷水を盛る装置のもの。
ランプ	洋燈	Lamp	名 火をとぼす器普通燃料として石油を用ふ、石油を入るる器に口金を付し、火を点じて「ホヤ」と称する玻璃製の円筒をさす。
ランプじん	洋燈心		名 洋燈に火を点ずる心、木綿糸にてつくりたるもの。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ランプだい	洋燈台		名 洋燈をすゑおく台。
ランプつり	洋燈釣		名 洋燈をつるす自在鉤。
リウ	六		数 (字の唐音)ろく。むつ。(拳の語)
りうさんカルシウム	硫酸-	Calcium sulphate	名 化 「カルシウム」の硫酸塩、即ち石膏これなり。
りうさんナトリウム	硫酸-	Natrium sulphate	名 化 芒硝の称。
りうさんバリウム	硫酸-	Barium sulphate	名 化 バリウムの硫酸塩、白色の粉末、顔料に用ひらる。
りうさんマグネシウム	硫酸-	Magnesium Sulphate	名 化 「マグネシウム」の硫酸塩、即ち瀉利塩に同じ。
リウマチス	僂麻質斯	Rheumatism	名 冷湿におかされ若しくは滋養の不足等より起る一種の病氣、専ら関節を侵すものは関節の疼痛又は強直を、専ら筋肉を侵すものは疼痛処々に転移す。
リキウ	利休	Liquor	名 西洋の下品なる酒。
リスリン			名 「グリスリン」に同じ。
リチウム		Lithium	名 化 銀の如き光沢を帯び鉛より軟かく「ナトリウム」より硬く水より軽き金属。
りつソウ	律僧		名 律宗の僧侶。
リットル		Litre	仏 名 容量の単位、一立方「デシメートル」にして、我國の五合五勺四才に当る。
リト	吏道	Rito	朝 名 新羅の薛聰の創意の出でたりといふ一種の仮字、朝鮮語を書くために漢字の音訓を仮りたるものにして、我國の万葉仮名に類す。(史吐)。
リトマス		Litmus	名 化 地衣類の或種属より得る染色液、赤ければ「アルカリ」液を加ふれば青色となり、後、酸を加ふれば赤色となり、故に「アルカリ」性或は酸性反応の試験に用ひらる。
リボン		Ribbon	名 幅の狭き、紐の如き布、装飾に用ふ。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
りやうテンビン	両天秤		名 1.「テンビン」に同じ。2.すべて、両様に事を引き掛けて置くこと。
リヤン	両		名 1.清国の重量の単位。2.朝鮮の貨幣の名。
リヤン	兩	字の唐音	数 ふたつ。(拳の語)。
リヨウマチ			名 {「リウマチス」の訛。
リン	鈴		名 (字の唐音)1.すず。れい。2.小さき鉢の形をなす仏具、あふむけにして小さき棒もて打ち鳴らすもの、さはりにつくる。3.「ベル」に同じ。
リンうち	鈴打		名 「リンうちどけい」の略言。
リンうちどけい	鈴打時計		名 鈴の時を打つ時計。
りんさんカルシウム	磷酸	Calcium phosphate	名 化 カルシウムの磷酸塩、動物の骨の重量の三分の二はこれより成る、又、土壤中に分布せり、肥料又は磷製造の原料に供せらる。
リンズ	綾子		名 (字の唐音)一種の絹織物、紗綾(サヤ)に似て光沢あり、滑かにして粘気あるもの。
リンダウ	龍胆		名 植 龍胆科に属する草、葉は卵状、披針形にして竹に似、秋の頃花開く、...觀賞用として栽培せらる。りんだん。りうたん。たつのいぐさ。にがな。
リンネル		Linnen	名 亜麻の纖維にて織りたる一種の布。
ルービー		Ruby	名 鉞 鋼玉石の一種、紅色を帯ぶ、瑕疵なきものは宝石として最も珍重せらる。(紅宝石)。
ルービー	留	Rupee	名 「イギリス」領印度の貨幣称呼の単位。
ルーブル	留	Ruble	名 「ロシア」国の貨幣称呼の単位、我國の一圓〇六銭許に当る。
ルウダ	書婆草		名 植 蓼科に属する草、舶来の種にして葉よめなに似、秋の頃、穂を出だす。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ルウフル		Rofle	名 遠き人を呼ぶとき、声をとどかすために用ふる筒、喇叭に似て長さ三尺余あり。
ルクランシエ電池 でんち		Leclanche's cell	名 理 「ガラス」瓶に塩化「アンモニウム」の濃溶液を入れ、これに亜鉛棒を立て、又、液中に炭素粉末を充（ミ）たし、…陰極とせるもの。
ルシャナブツ	蘆遮那仏		名 仏 「ビルシャナブツ」に同じ。
ルソン	呂宋		名 呂宋国より渡来せる陶器。
ルテニウム		Rutenium	名 化 硬（カタ）くして脆き稀有なる金属。
ルビヂウム		Rubidium	名 化 軟き銀白色の稀有なる金属。
ルリ	瑠璃	Vaidulya	梵 名 1.【仏】七宝の一、紺色なるもの。2.「るりいろ」の略言。
ルリいろ	瑠璃色		名 紫色に似たる紺色。
ルリくわうに よらい	瑠璃光如来		名 仏 薬師の一名。
ルリてう	瑠璃鳥		名 動 燕雀類中すずめ科に属する鳥、形雀に似、翅・背共に瑠璃色にして、腹部白色なり、よく囀る。（竹林鳥）。
レース		Lace	名 羊毛又は糸などにて透くやうに織りたる織物、帽子衣服其他装飾などに用ふる。
レース		Race	名 競走又は競漕。
レイテング	釐等具		名 （字の唐音）釐毫などの如き甚だ小さな量をはかる秤（ハカリ）。
レイデンびん	瓶	Leyden jar	名 理 蓄電器の一、「ガラス」瓶の内外を底より頸部に至るまで錫箔にて貼（ハ）り、瓶の栓を貫きたる金属棒の下端に鎖（クサリ）を吊（ツル）し…多量の電気を集むることを得。
レグミン		Regumine	名 化 大豆・小豆等に存在して「カゼイン」に類する蛋白質、豆腐は即ち苦塩（ニガリ）を以て「レグミン」を凝結せしめたるもの。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
レダマ	連玉		名 植 豆科に属する木、もと舶来種なり、稍に緑色なる細き枝を出だす、葉は細小なり、夏の頃緑豆（ブントウ）に似たる黄色の花開く。
レテグ	釐等具		名 「レイテング」に同じ。
レトルト		Retort	名 「じょうりうき」に同じ。
レモン	檸檬	Lemon	名 植 芸香科に属する木、葉は蜜柑に類す、果実は楕円形にして芳香及酸味を有す。（黎檬、利檬）。
レモンゆ	檸檬油		名 「レモン」の果実の皮より採取したる油、薬用・飲用に供せらる。
レモンすゐ	檸檬水		名 前條に同じ。
レンズ		Lenz	名 理 透明体の表面の、二つの曲面の一部より成るもの、…中央の厚きものを凸「レンズ」といひ、薄きものを凹「レンズ」といふ、光線「レンズ」に…凸「レンズ」…凹「レンズ」…
レンツのてい りつ	一定律	Lenz's law	名 理 感応電流の方向に関する定律、「コイル」を磁場に動かすときは此運動を妨げんとする方向に感応電流の起ること。
ローズ			名 （「イギリス」語 Roast の転訛）深紅色なる上等の肉。牛などの鞍下の肉。
ローマけう	羅馬教		名 「キリスト」教の一派、即ち天主教。
ローマじ	羅馬字		名 1. 羅国の文字、方今欧米各国に通用せらるるもの。2. 「ローマじつづり」の略言。
ローマじつづ り	羅馬字綴 り		名 国語を羅馬字を用ひて綴りたるもの。
ローマすうじ	羅馬数字		名 西洋にて古昔より用ひ来りたる数字。
ローマはふ	羅馬法		名 西暦紀元前八世紀頃より同紀元後六世紀頃まで羅馬にて発達したる法律現今欧米諸国に行はるる法律の源泉たり。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ロマンチック		Romantic	名 文芸上にて、感情又は空想を偏重する主義、其製作の取材はなほ普通見聞は空想を刺激するものを選ぶ傾向のもの。
ログリ		Logarithm	名 数 「たいすう」(対数)に同じ。
ろくアミダ	六阿彌陀		名 春と秋との彼岸に詣つれば、利益殊に多しといふ六つの阿彌陀。
ろくハラたん	六波羅探題		名 鎌倉時代に、北条氏が京師の護衛及關西の管理のために京師六波羅に鎮せしめたる職名。
ろくハラミツ	六波羅密		名 仏 成就すれば仏果を得といふ六種の行、即ち布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智慧の称。
ろくろうソウ	六老僧		名 仏 日蓮門下の六傑、即ち日照・日朗・日高・日向・日頂・日持の称。
ロクワイ	蘆薈		名 植 (羅旬語 Aloa の音訳) 百合科に属する植物、熱帯地方に産す、其分泌せる液汁を採取したるものは、色黒く光沢ありて薬用に供せらる。
ロゴ	露語		名 「ロシヤ」語。
ロザニリン		Rozaniline	名 化 「アニリン」より得る一種の誘導体、染料に用ひらる。
ロシヤがは	露西亜革		名 「ロシア」国より産出する革、光沢ありて滑かなり。
ロスケ	露助		名 (「ロシア」語 Russkii の訳) 「ロシア」人をのしりていふ語。
ロたん	露探		名 (日露戦争のとき露国のため我国の事情を探報せるもの) 人をいたくいやしめていふ語。
ロヂウム		Rhodium	名 化 灰色を帯びたる堅硬なる稀有の金属。
ロング・トン	長噸		名 米 国重量の単位、二二四九封(ポンド)の称。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
わうごんブツ	黄金仏		名 黄金にて鑄造したる仏像。
わうじやうく	往生観念仏		名 前條(二)に同じ。
わんねんブツ			
わかダンナ	若旦那		名 1.主人の長子。2.富豪の子弟の敬称。
ワジャウ	和上		名 仏 「ヲシヤウ」(和尚)に同じ。(真言宗にていふ)。
ワツト		Watt	名 理 工率の単位、一馬力の七百四十六分の一。電気工業に用ひらる。
ワツフル		Waffle	名 西洋菓子的一种、煎餅の中にジャムを包みたるもの。
ワナヂウム		Vanadium	名 化 銀に似たる脆き稀有の金属。
ワナン	和南	Uandami	名 仏 礼拝。
ワニス			名 (「イギリス」語 Varnish の説) 一種の塗料、樹脂を「アルコホル」又は「エーテル」若しくは「テレピン」油に溶解したるものの総称。(仮漆)。
わらひボトケ	笑仏		名 傳大士(フダイシ)の條を見よ。
わらブトン	藁蒲団		名 綿のかはりに藁のはかまを入れたる布団。
ゐカタル	胃加答兒		名 胃の粘膜のただるる病。
キダてん	韋駄天		名 (「キダ」は梵語 Veda) 仏法守護の神、俗に魔王の仏舍利を奪ひて逃げ去りたる時、これを追ひて取り戻しりといひ伝へてよく走る神とす、一に韋天將軍といふ。
キダてんばし	韋陀天走り		名 いとすみやかに走ること。
ゐなかミソ	田舎味噌		名 麦麴にてつくりたる味噌。
ゐもんテント	慰問-		名 出征軍人を慰問するため、戦地の随所に「テント」を張り、中に娯楽又は便宜の設備をせるもの。

ページ番号 164
10/21/95

見出し	漢字表記	原語	出詞野	語釈
をガハラ	牡瓦		名	竹筒を半切したる如き形の瓦、屋根にうっむけて葺(フ)くもの。女瓦の対。(菘瓦、(竹ノ甬)瓦)。
をぐらカン	小倉糞		名	小豆又は隠元豆等の粒を交へたる煉羊糞。
ヲシャウ	和尚		名	(梵語 Upadhyaya (鳥+里)波遮迦)の転、教師の義。(い)道ををしへ伝ふるもの。(ろ)僧位。
をだはらチャウチン	小田原提燈		名	要あるときは延べひろげ、要なきときはたたみて携へ得るやうにつくれる細長き提燈。
ヲツチ		Watch	名	たもとどけい。
をどりねんブツ	踊念仏		名	彼岸の中日に、摂津国四天王寺の念仏堂にて、大和河内道の者集まりて行けたる念仏、おのおの十徳を着け紐をつけたる鉦(カネ)を持ち、これを叩(タタ)きて踊りながら念仏す。
ヲルフラム		Wolfram	名 化	光沢ある鋼色薄板状の堅き金属。
ヲンドル	温突		名	(字の朝鮮音)朝鮮などにて、室内の床下に土を以てつくりたる坑を通じ、中に火を焚(タ)きて暖を取るもの。
をんなザンマイ	女三昧		名	女色に荒(スサ)むこと。女に溺るること。

《資料4》『辞林44年版(「明治版」)』に登録された原語付き和語・漢語見出し、および、語釈(の一部)として外来語を用いている見出し語

『辞林44年版(「明治版」)』に登録された、原語が付されている和語・漢語見出し、および、語釈中で見出し語の言い換え、または言い換えの一部として外来語(主に西洋語起源でカタカナで表記される語)を用いている見出しを、登録順に列挙する。

凡例

1. 各見出し語は、親見出し・子見出しを特に区別せず、登録順に挙げる。よって、必ずしも五十音順とはならない。
2. 「見出し」におけるひらがなとカタカナの使い分けは資料どおりとする。但し、語の区切りとしての「・」は、カタカナとカタカナの区切りを除き、省略した。
3. 「漢字表記」は資料に従った。
4. 「原語」および「出(出自)」は資料の原語欄に掲載されたものを用いた。語釈中に原語が示されている場合は、資料どおり語釈中に示した。
5. 「詞」は品詞を、「野」は分野を表す。この欄の記載内容も資料どおりとする。
6. 語釈はなるべく資料どおりに記載するよう務めたが、長すぎる場合は適宜省略し、旧漢字の一部は新漢字に直した。
7. 『辞林44年版(「明治版」)』の凡例については《資料3》を参照されたい。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
いううつびや う	憂鬱病		名 気のむすぼる、病気の称にして、「ヒステリー」などにいふ。
いしわた	石綿		名 鉱 蛇紋石又は角閃石の変種、繊維をなして、軟弱にして、強靱性を有する。包貝ト」。 (石綿)。
いよじろめ	伊予白味		名 (初め、伊予より出だし、が故に名づく)「アンチモニー」の一名。
うしのち	牛乳		名 牛の乳房より搾り取る乳汁。ぎうにう。うしのち。「ミルク」。
うまのたま	馬玉		名 馬の腹中に生ずる石塊の如きもの、鼠ば又茶色模様の「ドウサラ」。 (馬墨)。
うみうそ	海獺		名 動 「ラッコ」の一名。
うんかう	芸香		名 植 「ヘンルウダ」の一名。
うんめいろん	運命論	Fatalism	名 哲 人生の賢愚又は浮沈等すべて先天的に定まるものにして、人力の如何ともすべからずといふ説。
えいがく	英学		名 「イギリス」国の語学。
えいご	英語		名 「イギリス」国のことば。
えいち	叡智		名 1.最も深遠なる智識。2.【哲】[Intellect]・宇宙の本体たる理性。時空の制限を受けず因果律に支配せられざる自由なるものにして、…それ自身にして真の实在即ち本体なり。
えいちせかい	叡智世界	Intellectual world	名 哲 吾人が宇宙の本体の一部として存在せる位置、感覚即ち現象世界の対。
えいぶん	英文		名 「イギリス」国の言語を以て記載せる文章。
えり	襟		名 1.頭にまとふべき衣類の部分。(衿)。2.えりに当たる頸脊。うなじ。(領)。3.「カラー」。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
えん	掩		名 1. おほふこと。おほひ。2. [Occultation]・【天】の天体が他の天体をおほふこと、殊に日恒星又は衛星をおほふこと、又は遊星が其所属衛星をおほふこと。
えんえき	演繹	Deduction	名 1. 一事より他事に及ぼしつゞけて論ずること。推論。2. 【論】推論下して、大法の、既知の原理より漸次理由を説明する。現前の事実の到達し、其理由を説明すること。帰納の対。
おくじま	奥緋		名 緋柄の名、紺色と権茶色との堅じま。サントメじま。(黎單)。
おくせつ	憶説		名 1. 事体を極めず推測していふ意見。2. [Hypothesis] 事物の原因を説明せんがために、仮定したる意見。
おぼえがき	覚書		名 1. 記憶のために書き付けておくこと。又、其書き付け。2. [Memorandum] 一種の外交文書、一國政府又は其使臣が、一相手の政府又は其使臣に対して…即ち、一種の協定書なり。
かいざう	海象		名 動 「セイウチ」に同じ。
がいたん	骸炭		名 石炭を大気に触れしめずして熱したる多孔質の墨塊、且炭素に比すれば其質又燃は密に堅く、且炭素を要するときは高熱を要する。コークス。
かいちゆうだ いげん	海中原	Continental shelf	名 地 海の底が、海岸より緩き傾斜を以て漸次に低下し、急に傾斜の度を加へて一階段をなす処の称。
かかくてき	可覚的	Sensible	形 吾人が感覚し得べきにいふ。
かきがくかう	夏期学校	Summer school	名 多くは夏期の休業などを利用して、其間だけ学科を教授するために設立したる学校。
かくくわん	客観	Object	名 自己以外の多物又は意識の目的物、即ち、主たるものゝ対象にして、自己又は意識に観察せらるゝ一切の外物。
がくげき	楽劇		名 「オペラ」に同じ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
かくし	隠		名 1. かくすこと。2. 着物に縫ひつけある一種のふくろ、中に細かなる持物などを入る。「ポツケツト」。
かちいろ	勝色		名 「カーキー」に同じ。
かつしよくじ んしゆ	褐色人種		名 世界の人種を五類別したるものゝ一、皮膚濃褐色にして髪黒く、顎、骨の突出したるを特徴とす。「マレイ」人種。
がふ	合		名 …6. [Synthesis]・【哲】弁証法にて、一事物若しくは一概念が、発展して、或矛盾の状態を経過し、更に新しき事物若しくは概念となること、…
がふり	合理	Rationality	名 1. 正に然るべきこと。公平なることとする。道理に合ふこと。2. 論理的な論証結果ること。推論上其道理が必然なること。経験又は想像の対。
がふりせつ	合理説	Rationalism	名 1. 合理的に組織したる説。2. 基督教の一派、聖書の中に、合理的部分のみを取りてこれを信じ、不合理的部分はこれを排除するもの。
がふりてき	合理的	Rational	名 論理的に判断論証するにいひ、又、道理に合するにいふ。
カラウリ	唐瓜		名 植 「カボチャ」に同じ。
かんかくろん	感覚論	Sensualism	名 哲 知識の根源は感覚にありとなす説にしなると、外界の刺激に伝はりて感覚となると、此感覚蓄積して諸種の高尚なる知識を生ずとなす。
かんだんけい	寒暖計	Thermometer	名 温度を計る器、通常用ふるものは、水銀を入れたる「ガラス」球に、目盛のある「ガラス」の毛細管を絡ぎたるものにして、…(寒暑計、験温器)。
かんらんゆ	橄欖油		名 オリーブの果実の仁より採取したる油、食用とし、又、発泡薬用石鹼等を製する料とす。オリーブ油。
ぎうらく	牛酪		名 牛乳などの脂肪質を製しかためたるもの。「バター」。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
きし	騎士		名 1.馬にのれる兵士。2.馬にのるべき家格の武士。3.「イギリス」語Knightを訳し呼ぶ語。
きだう	軌道		名 1.車の過ぎゆく道。わだちのみち。2.車両の軌道と進行する道。布設したる鉄條、【天路】天体を視軌道と見る道、地球より見たる軌道
きていめいだい	規定命題	Categorical proposition	名 論 特殊の概念を一般の概念に從属せしめ命題の「繁はさめ易きものなり」といふ題の如し。
きなふ	帰納		名 1.かへしをさむこのこと。…2.[Induction]論理の致し、この法を求め、その中最高理を集めて案出せしこと。これを対し、これを演繹すること。
きべんがくは	詭弁学派	Sophism	名 哲 紀元前五世紀頃「ギリシア」にて唱へられたる存心論の対し存するもの。真の観念を對し存するもの。
きやうさう	競漕		名 「ボートレース」に同じ。
きやくくわん	客観	Object	名 「かくくわん」に同じ。
きやくせつ	逆説	Paradox	名 1.主義又は意見の反対なる議論。あれど衆人。2.衆に論理の対するぬれば、究は衆論と一致せる話。
きよう	拱		名 1.両手にて合わせ持ち又は抱へ持つほどの太さ。2.「アーチ」(一)に同じ。
きようさんしゆぎ	共産主義	Communism	名 私有権を撲滅して社会の総財産を社会共有の総財を消費は労働を平等ならしめんとする説。
きよむしゆぎ	虚無主義	Nihilism	名 現在の政治・宗教・社会上の一切の制度を否認し、之を組織すべしと共産主義より更に之を組織すべしと

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 積
くりき	苦力		名 (「クーリー」(Coolie)の転)賤しき労働に従事するもの。人夫(ニンブ)。
くろんぼう	黒坊		名 1.(「セイロン」島の地名Colomboに起るといふ説あり)熱帯地方に住める黒人種の稱。黒奴。黒人。2.芝居の舞台に、…3.皮膚の色黒き人。4.「くろぼ」(黒種)に同じ。
ぐわいえん	外延	Extension	名 論 概念が代表する事物の範囲、例へば生物の外延より名辞の広きが如し。
ぐわいぎろん	懐疑論	Scepticism	名 哲 吾人の認識を不確定なるものとし、一切を否認し真理を疑ふ哲学論。
ぐわいけう	回教		名 「フキフキけう」の稱。
ぐわいけう	外教		名 其国固有のものにあらずる外国伝来の宗教、昔時、我国にては「キリスト」教をさしていへり。
ぐわいせつ	廻折		名 1.をれまがるごと。2.[Diffraction]【理】光がむむ方向を達すること、白光を用ふる時は「スペクトル」数個順次に現はる。
ぐわいせつか	廻折格子	Diffraction grating	名 理 硝子板又はよく磨きたる金属板に無数の平行線を密接して刻したるもの、光を金属板にては反射の光の廻折の現象を檢するに用ふ。
ぐわいらくせ	快樂説	Hedonism	名 倫 人生の目的は感情の幸福即ち快樂にあるりとし、快樂を増進し苦痛を減退するべしと、多少派の悦、道徳的快樂と公衆的快樂説の二つとす。
くわうくわ	黄禍	Yellow peril	名 黄色人種が他人種を侵害するといふこと。黄色人種の勢力に對する恐怖心より起りたる想像説。黄人禍。
くわうねつ	黄熱	Yellow fever	名 「マラリア」性の一種の熱病、患者は黒色の「フリカ」及「メキシコ」等に流行す、水点以下の時候には発生せずといふ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
くわがく	化学	Chemistry	名 化学 物質の元素及其化合物の分量定則等を研究する科学。「セイミ」。
くわがく	科学	Science	名 仮定の上に立ち、特殊なる現象の原証に、理に、概して系統的に論述して、明せる科学。精神科学の二とす。…説明自然科学・規範学の二とす。
くわくらん	霍乱		名 「コレラ」病の一種、吐瀉はげし、多くは夏日飲食より起る。
くわせい	和声		名 1.やはらぎたる声、又、和してうたふて声。2.[Harmony]・数個の旋律に同時に響くこと。又、或旋律に或声を調和すること。
くわとうせい	寡頭政治	Oligarchy	名 共和政治の一、或少数の人員が協同して政治を行ふこと、貴族政治の如きことなり。
くわろ	火炉		名 ゐろり。こたつ。又「ストーヴ」。
くわんねんろん	観念論	Idealism	名 哲 認識論の一派、吾人の認識する外物は、主観的観察に止まり、必ずしも正当のもにあらず、吾人の認識する外世界は、単に吾人の対に在る。…
けいけう	景教		名 「キリストけう」に同じ。
けいけんろん	経験論		名 1.[Empiricism]【哲】知識は盡く経験により取得したる結果にして、派の認識に外に知識の根源なしといふ。純理論の対。2.経験上より立てたる議論。
けいしきしゆ	形式主義		名 1.[Formlism]【倫】善悪は行為又は意志の傾向に属する性質にして、何事によらず内容より形式に重きを置くこと。
けいりぎ	経緯儀	Theodolite	名 天体又は地物の方位角及仰角を測るに用ふる一種の器械、板あり、これを水平に回して望遠鏡の水平軸を支柱にありて、

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
げきし	劇詩	Drama	名 演劇にうたふ韻文。
げつけいじゆ	月桂樹	Laurel	名 植 樟科に属する木、高さ三丈乃至五丈に達し、枝葉互生す、…実は卵形にして桑実に似る、葉実共に香料に供せらる。
げつせき	血石	Hamatite	名 鉱 方六面形の結晶をなす鉱物、通常塊状をなす。
げつせき	月石	Moon-stone	名 長石の一種、透明にして氷の如き色をなす。
げぶりぐさ	煙草		名 「タバコ」の一名。
げんざい	原罪	Original sin	名 「アダム」「イブ」の墮落の結果として、其子孫たる人類は、生まれながらにして罪ありといふこと。
げんし	原子	Atom	名 1.【化】如何なる科学的作用を施すと最も早分つべからずと仮定して物質の極微なるもの、…2.不可分のもとなす。
げんしせつ	原子説	Atomixm	名 1.【化】物質は原子より成り、又、異化する元素の原子は一定の割合を以て化合すと説く。2.【哲】単一のものを以て宇宙の原理となす説、…
げんじつは	現実派	Realism	名 実際の事実又は状態を立場とし目的として、説を立て又は事を行うもの。理想派の対。
げんしやうろん	現象論	Phenomenalism	名 哲 吾人の知識は現象に限られ、本体其物の真相を知る能はずといふ説。又、知識に現はれたる現象は即ち本体にして、知識を離れたる本体は存在せずといふ説。
けんじゆう	拳銃		名 「ピストル」に同じ。
げんしゆくし	嚴肅主義	Rigorism	名 倫 諸種の欲情を屈伏し諸種の快楽を拒絶し、理性の命に従ひ己に克(カ)ち行を制するを以て道徳の標準となす倫理説。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
けんびきやう	顕微鏡	Microscope	名 細微なる物体を拡大して見る具、一個の凸「レンズ」をははるは、顕微鏡の一端に普通顕微鏡と称するは、円筒の一端に凸「レンズ」あり、…むしめがね。
げんもん	諺文		名 「オンモン」に同じ。
けんり	権利	Right	名 1.【法】法律の創定保護により人の享受する利益。2.物事をなす得る資格。自由に物事を処分し得る分限。
こうせい	恒星	Fixed star	名 天 一の星群の中心となりて其位置を変せざる星、太陽も一の恒星なり。
こうちう	鈕紐		名 こはぜ。「ボタン」。
こうていめい だい	肯定命題	Affirmative proposition	名 論 主辞と賓辞との一致を許容する命題、例へば「墨は黒し」、「鶯は動物なり」の如き命題これなり。
こうりけう	功利教	Utilitarianism	名 倫 一派の倫理説、其中心にも自身の利益幸福を道徳の標準とする者あり、その標準を多数者の幸福とする者あり、…
こうりつ	工率	Power	名 理 器械が毎単位時間になす仕事。
こくかしやく わいしゆぎ	国家社会主義	State socialism	名 経 国家が個人放任主義を取らず国家すべからざるを主張し、個人放任主義を取らず国家すべからざるを主張し、…
こくかしゆぎ	国家主義	Nationalism	名 1.【倫】人生の行為の目的は、其属する国家の福利・主権の増進にあり、…2.【経】国際貿易の政策上、個人を単位とし、…
こくかまんの うしゆぎ	国家万能主義	Collectivism	名 経 経済上の事業を個人に放任するは、社会上の秩序を乱し、貧富の差を拡大するは、経済上の事業を個人に放任するは、社会上の秩序を乱し、貧富の差を拡大するは、…
こくみんしゆ ぎ	国民主義	Nationalism	名 異なる民族を排斥して同一の民族を以て、異なる民族を排斥して同一の民族を以て、…

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
こくみんせい しん	国民精神	Nationality	名 国家のために盡くす国民の気風。国家の保護発達を図る国民の精神。
こじんしゆぎ	個人主義	Individualism	名 1.【倫】個人の独立自由を重んじ、自家を基礎として一切の行為を規定せしむ。2.【教】国家を又社会に個人関係なく、たゞ個性を又社会に個人関係なく、たゞ個性を重んじ、自家を基礎として一切の行為を規定せしむ。3.【経】個人放任主義に同じ。
こつさうがく	骨相学	Phrenology	名 人の頭蓋骨を相して、其性質又は運命をトする学。
こつぱい	骨牌		名 「カルタ」。
ことう	弧燈	Arc lamp	名 電灯の一、二本の炭素棒を対向せしめたる装置のものを強き電流を相接触せしめ、電流の相接触部分に紅熱して光を放つ、…(弧光燈)。
こにし	胡(草/妄)		名 植 「コエンドロ」の古名。
こみや	込矢		名 前装銃の付属具、細長き鉄の棒にして、弾薬を銃身の底に突き入るもの。こめや。「カルカ」。(梁杖)。
こんがうせき	金剛石	Diamond	名 鉦 純粹なる炭素の結晶物、天然に現出するものは、多くは細小にして珍重せらる。「ダイヤモンド」。
こんぎようど	混凝土		名 「コンクリート」に同じ。
さいきん	細菌	Bacteria	名 植 微生物の一種、生物界中の最も細微なるものにして、肉眼を以て見ることができず、他物に寄生し養分を吸収して繁殖する。「バクテリア」。
さいみんじゆ つ	催眠術	Mesmerism	名 人をして意識を或一点に集注せしめ、以て催眠若しくは恍惚状態とならしむる術、近時大に流行する。或は超時空を認むべしといへり。
ササラサツボ ウ	霸王樹		名 植 「サボテン」の異称。(仙人掌)。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
さつびつが	擦筆画		名 「コンテ一」りといふ黒の棒の粉を擦筆画を以てその如く仕上るもの。
さんりようは	三稜玻璃		名 理 「プリズム」に同じ。
さんりようし	三稜洲		名 地 川流の海に注ぐところ、流水の運搬したる土砂が形成したる「デルタ」。
じあいしゆぎ	自愛主義	Egoism	名 倫 「りこしゆぎ」(利己主義)に同じ。
じいういし	自由意志	Free will	名 1. 随意に思慮し決定する意志。又、衝動又は神學上の徳法を有する。2. 神學上の徳法を有する。
じいうかう	自由港	Free port	名 1. 各国の船が自由に出入し得る港。2. 開放して市場の普通なる諸種なる。
じいうぼうえ	自由貿易	Free trade	名 国家が国際貿易に關して、個人の自由貿易を其主義とし、保護を要しないこと。
じいしき	自意識	Self-consciousness	名 心 内に省みて、自己は如何なる意識を有するかを自覚すること。
しいん	子音	Consonant	名 文 肺臓より出る時、呼吸の妨げをなす音。
しうえきてい	収益遞減	Diminishing return	名 経 土地の生産力に投ずる資本が増加すれば、その収益は減少する。
しうきりつ	周期律	Periodic law	名 化 元素の性質が周期的に繰り返すこと。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
しうくわぎん	臭化銀	Silver bromide	名 化 通常温度にても塩化銀に臭化水素を液を加へると、触媒作用により、光写真に用ひらる。
しうくわすみ	臭化水素	Hydrogen bromide	名 化 無色の気体、大気に触ると、水に溶解して、水と作用して、塩化水素を生成する。
しうじがく	修辭学	Rhetoric	名 修辭に関する法則を研究する科学。美辭学。
しうそ	臭素	Bromine	名 化 「ハロゲン」の一、揮発し易く、劇(ハゲ)しき臭氣を有する赤褐色の液体にして、元素の一なり。
じがじつげん	自我實現	Self realization	名 倫 「じこじつげん」(自己實現)に同じ。
じけし	字消		名 誤りたる文字を塗(ヌ)り消すこと。又、これに用ふる白墨又は「ゴム」などの称。
じこあんじ	自己暗示	Autosuggestion	名 心 自ら自己を睡眠又は無意識の状態に変ぜしむ作用。
じこじつげん	自己實現	Self realization	名 倫 自己に具有する諸性能を、完全に發達せしむること。
しぜんくわが	自然科学	Natural science	名 自然の物質的現象を研究する科学、即ち動植物学・理化学等の類。
しぜんけう	自然教	Natural religion	名 自然崇拝の宗教、即ち原始の宗教、其神々はたゞ慈恵を得るのみならず、其物中最も貴重なるものを神前に捧げ、...
しぜんしゆぎ	自然主義	Naturalism	名 1. 自然の順序・法則若しくは状態・作用等に根拠して、説明は物買の【哲】宇宙論的明瞭によらずして、形而上的原理によらずといふ主義。又、唯物論。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
しぜんたうた	自然淘汰	Natural selection	名 外界の状態に適した者は、競争に勝ちて生存し、外界の状況に適合するものは、競争に敗れて死滅する状態。人為淘汰の対。
しぜんてつがく	自然哲学	Natural philosophy	名 自然の本体・課程及理想を研究する哲学。
しぜんはふ	自然法	Natural law	名 1.【哲】自然を支配する原因の結果の法則。2.【法】一切の法以外に自然の法、或は自然の法、或は人間の理性中に...
しぜんぶんるゑ	自然分類	Natural system	名 動植物の性質の異同を比較し類別して系統を立てたるもの。
じつけんしき	実験式	Empirical formula	名 化学物質の組成を最も簡単に示す式、例へば炭素水の実験式はH ₂ Oとなるが如し。
じつけんろん	実験論	Positivism	名 哲 「フランス人「ゴント」の創唱せざる哲学と、吾人は「現象」を認めざることを、其間の関係を知らず、此等の知識を得るのみ、哲学とは此等の知識を得るのみ、哲
じつざい	実在	Reality	名 哲 (い) 事物は吾人の観念に止まらざる、客観的存在に在る。又、認識を離れて現象の外に存在する本体
じつざいろん	实在論	Realism	名 哲 (い) 事物の客観的存在を確信し、吾人の認識は、其真相を正確に模写するものなりと、説く「じつねんろん」(実験論)に同じ。
じつしようろん	実証論	Positivism	名 哲 「じつけんろん」(実験論)に同じ。
じつせんてきりせい	実践的理性	Practical reason	名 倫 理性が善と認むる所を行為動作に表現せんとする道徳的意志の力。
じつたいろん	実体論		名 哲 (い) [Ontology] 吾人に認識し又は思考せらるゝ実在の終極の本性を研究する哲学。(ろ) [Substantialism] 現象若しくは作用を離れて、其実体ありとす。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
じつねんろん	実念論	Realism	名 哲 概念は実在に於て個物は其模写に過ぎず、池の月の影に於ては、唯名論の對。
しはい	詩牌		名 1. 歌骨牌の如く漢詩をして用いたる字。2. 詩會の多き普通のもの。
しやうこうねつ	猩紅熱	Scarlet fever	名 「マラリヤ」性の一種の熱病、体温(ハゲ)しく昇り、身体の各所に赤色の発疹を生ず。
しやうこしゆぎ	尚古主義	Classicism	名 古代の文物を模範標準とする主義。
じやうしき	常識	Common sense	名 健全なる普通一般の理解又は道義心。常識にはずれず時代に適應したる見識又は思想。
しやうちやう	象徴	Symbol	名 文芸に於て、言語文字は思想的感情の媒介とならざる、語直に思想感情の列し、以て、言を動かし、超自然の妙の天地に接せしめ...
しやくわいし	社会意思	Collective will	名 統一せられ組織せられたる社会一般の意志、即ち或は多数の人の合意、或はこれに感化せられたる結果...
しやくわいがく	社会学	Sociology	名 社会の構造・形式及発達・変遷等を研究する科学。
しやくわいしゆぎ	社会主義	Socialism	名 1.【経】社会に於ける富の分配を目的とし、貧乏を救済し、財を目的とする主和を保障し、個人と社会との調和を啓蒙... 2.【教】個人と社会との調和を保障し、公共的精神を啓蒙...
しやくわいせいしん	社会精神	Collective will	名 社会意思に同じ。
しやくわいてきかんじやう	社会的感情	Social feeling	名 愛情・同情等の如き社会を結合する自然の情。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
しやりえん	瀉利塩		名 化 硫酸「マグネシウム」の通称。
じゆうそくげんり	充足原理	Principle of sufficient	名 「物あれば必ず其成立の理由又は原因存す」といふ原理。
しゆうたうた	雌雄淘汰	Sexual selection	名 動 きじ・やまどり・孔雀等の雄(マス)が、其雌(メス)より今日の状況は、幾百代別ぐれたるを択すに…
しゆきん	手巾		名 てぬぐひ。「ハンケチ」。
しゆくめいせつ	宿命説	Fatalism	名 哲 人生の行為境遇は、すべて其人の宿命により、これを避(サ)くこと能はずといふ説。
しゆくわん	主観	Subject	名 1. 知覚し思考し又は感動する自身。客観の対。2. 其もの自身。
しゆせい	酒精		名 「アルコール」に同じ。
しゆせいぶん	酒精分		名 「アルコール」の成分。
じゆんおう	順応		名 1. 障害なく応ずること。又、順序をたがへず生活が外界の状態に適應して変化するこ。
じゆんくわ	醇化	Idealization	名 哲 (い) 雑多なる知識を分子除去し、…
じゆんくわん	循環論法	Circlus in probando	名 一の立言を論証せんがために、其理由よりて其理由の断案を証明し、なすこと。
じゆんせいてつがく	純正哲学	Metaphysics	名 哲 一切現象の実体原理を研究する哲学。形而上学。
じゆんりろん	純理論	Rationalism	名 哲 真理の認識は知覚経験を離れたるものにして、全く先天的理性の作用なりといふ説。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
しょうかく	衝角	Ram	名 軍艦の艦首に装置したる鋼鉄の尖角、敵艦に衝突して、これを突き破るもの。
しょうけん	証権	Authority	名 一般のものをして服従又は信仰せしむる権威又は典拠。
しんくわ	進化	Evolution	名 1. 事物の発達に伴ひ漸次に変化すること。2. 時々の経過が漸次に異なること。
しんくわろん	進化論	Evolution theory	名 西暦一千八百五十八年「イギリス」の道始に述べられたる各個人種を…
しんけう	新教		名 「キリスト」教の一派、「カルビン」の主義に基くもの。
じんだうけう	人道教	Religion of Humanity	名 「フランス」国人「コムト」の唱道せるし宗教、愛福を増進するを旨とするもの。
じんだうしゆぎ	人道主義	Humanism	名 1. 「ヨーロッパ」の中世に、教権の拘束に反対し「ロシ」の古道人道主義。2. 「ロシ」の古道人道主義。
しんびせつ	神秘説	Mysticism	名 哲 事物の真相は尋常の理論認識の外に超え、沈黙するべからざるもの。
じんぶんしゆぎ	人文主義	Humanism	名 1. 「じんだうしゆぎ」(人道主義)に同じ。2. 出世間の事を中心とした主義。
しんらい	神来		名 神の靈を吹きこまれたるが如く感ぜらるること。「インスピレーション」。
しんりせつ	心理説	Psychologism	名 哲 吾人の意識は対象なくして思惟することを得、普通に対象なくして意識の作用によりて現出するといふ説。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語	積
しんわ	神話	Myth	名	太古、人類の知識極めを以て幼稚な神話なりし時、代に、宇宙の諸現象を現るに、類と想像せしむるの物語。
じんゐたうた	人為淘汰	Artificial selection	名	一定の生物中より人為に選りて特殊の予めを以て、その生存に有利なるものを選び出し、これを繁殖せしむる間、人為的に行はるる自然淘汰の作用を模倣するもの。
じんゐぶんるゐ	人為分類	Artificial system	名	ただ人為の便宜をはかりて生物を分類するが故に、鳥類と魚類とを混同し、類をいふ。
すべた			名	(西洋骨牌の「スペード」より出た語) 1. 容姿の醜い。2. 婦人をいふ。
すりつけぎ	摺附木		名	マッチ。
すみさんくわぶつ	水酸化物		名 化	水素と酸素との化合物、即ち水酸化「カルシウム」・水酸化「カルシウム」等の総称。
すみそ	水素	Hydrogen	名 化	無色無味無臭なる最も軽き気体、点火し易く、硫酸を加ふればこれを得。
すみだう	隧道		名	地中を穿ちたる通路。あなみち。「トンネル」。
すみりよく	水力		名	美津濃ちから。水のいきほひ。流水の「エネルギー」。
すみろ	隧路		名	地下の通路。「トンネル」。
せい	正		名	... 17. 【哲】[Positive]弁証法にて、発展して反となりたる一事物若しくは一概念のもとの状態。...
せいうけい	晴雨計		名 理	大気の気圧によりて晴雨を測る器、ひざり、ひざり、計、其條を見よ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語	積
せいがう	正号		名 数	正数を表はす符号、即ち+。「プラス」。
せいけう	聖教		名	1. 「キリスト」教の称。2. 聖人のをしへ。
せいけう	西教		名	西洋の宗教。即ち、「キリスト」教の称。
せいけうと	清教徒	Puritan	名	西暦千五百五十八年に「エリザベス」女王の虐待を受けることを肯せずして一致の団結したる「イギリス」国の新教徒の称。
せいじつ	聖日		名	「キリスト」教にて、日曜日の称。
せいしよ	聖書		名	「キリスト」教にて、新約全書と旧約全書との総称。「バイブル」。
せいせいしゆぎ	生生主義	Energism	名 哲	「せいりよくしゆぎ」(精力主義)に同じ。
せいせきくわい	生石灰		名 化	白色の塊、水を注げば、化合して熱を発生し水酸化「カルシウム」の通称。
せいやう	西洋		名	我国又は清・韓等より「ヨーロッパ」及北「アメリカ」の諸国を指していふ称。東洋の対。
せいやうあんま	西洋按摩		名	「マッサージ」に同じ。
せいやうくわし	西洋菓子		名	西洋より渡来し又は西洋風に製したる菓子、即ち「ビスケット」「ワッフル」等の類。
せいりよくしゆぎ	精力主義	Energism	名 倫	道徳の標準たる至善を以て、社会の安寧にありとし、これを實現するたむの、人生の能力を円満に発達完成せしむることを主義となす倫理説。又すべての心身の能力を発達完成...
せいりよくしゆぎ	勢力主義	Energism	名 倫	精力主義に同じ。
せいりよくほぞん	勢力保存		名 理	「エネルギー」の保存、其條を見よ。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
せいらいせつ	精霊説	Animism	名 哲 「れいこんせつ」(霊魂説)に同じ。
せうせきくわい	消石灰		名 化 生石灰に水を注ぐとき、相化合して生ずる白色の粉末、即ち水酸化「カルシウム」の通称。
せうてつ	沼鉄	Bog iron	名 化 多少の砂を混じて、沼などより出づる鉄鉱。
せきかう	石膏		名 化 結晶水を含有する硫酸「カルシウム」の結晶を乾燥して存在する。無色透明な結晶で、薬用又は供せらる。
せきめん	石綿		名 鉱 いしわた。
せりもち	迫持		名 上部の重さを支ふるため、石又は煉瓦等をせりあはせて築き、又、「アーチ」の称。
せんきよ	船渠		名 「ドック」。
ぜんちし	前置詞	Preposition	名 西洋の文法にて、名詞及名詞と他の品詞との関係を指示する品詞。
せんてんろん	先天論	Nativism	名 哲 吾人の知識の或一定の部分は、本来吾人の精神に一機に具せざる或性質に基くといふ説。又、すべて物事の存在又は根源が先天的なりといふ説。
せんぬき	栓抜		名 「コロツブ」抜。
せんみそ	纖維素		名 化 「セルローズ」に同じ。
そくどう	唧筒		名 「ポンプ」。
たあいしゆぎ	他愛主義	Altruism	名 倫 「あいたしゆぎ」(愛他主義)に同じ。
たうじんぶえ	唐人笛		名 1.チャルメラ。2.ラツバ。
たうちりめん	唐縮緬		名 「メリンス」の一名。
たうなす	唐茄		名 植 「カボチャ」の一名。
たうにゆう	糖乳		名 「ミルク」の一名。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
たげんろん	多元論	Pluralism	名 哲 宇宙の諸現象には各其独立自存の實在ありとし、宇宙の本源を多数の實在に帰する説。
たんし	単子	Monad	名 物質組成のもととなる単一にして分つべからざる個体。
たんそ	炭素	Carbon	名 化 無味無臭の気体元素、或は遊離し或は無化合金剛石となり、最も純粋な化合物。常温にては他物と化合せず。
たんてい	端艇		名 1.はしけ。2.「ボート」。
だんろ	暖炉		名 「ストーブ」。
ちだう	地道		名 地下の通路。「トンネル」。
ちつそ	窒素	Nitrogen	名 化 無色無味無臭の気体、大気中約八分の一を占め、他元素と化合し、硝酸・石炭酸・尿素等を生ずる。
ちぶんがく	地文学	Physical geography	名 地 地球と他の天体の関係及自然の状況の変化又はこれの現象を研究する科学。
ちよくくわん	直感	Intuition	名 1.【哲】推理又は経験等によらずして、直接に知識を得ること。2.【教】感覚の作用により、直接に外物の知識を得ること。
ちよくくわんせつ	直感説	Intuitionism	名 1.【倫】吾人は先天的に道徳的意識を具備し一切の善悪を直感によりて絶対認識に到達すべしといふ説。2.【哲】直感にのみ絶対認識ありといふ説。
ちよくげんめいれい	直言命令	Categorical imperative	名 倫 絶対無条件に服従を命令する道徳法。
ちれきせい	地瀝青	Asphalt	名 石油中の粘油の凝固せるもの。
ていこくしゆぎ	帝国主義	Imperialism	名 機会を許す限り、国力の許す限り、なすべく其国の領土を拡張し、苦しくは其国の権力範囲を拡張せんことを目的とする主義。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
ていどうろん	定道論	Determinism	名 神の意志は自然法及道徳法によりて規定せらるるものな運命等は神若しくは人の意思動作によりて予められ、吾人は自然によりて自由を有せずといふ説…
てうぜつ	超絶		名 1. こえすぐること。こえ出づること。2. [Transcendence]・【哲】認識又は経験の範囲外に脱出すること。
てさげ	手提		名 1. 手にさげてもつ袋又は籠若しくは「カバン」の類。2. 小さき手桶。
てつき	鉄軌		名 鉄道の「レール」。
てりかへし	照返		名 1. 洋燈の光を反射し更に明かならしむるため、洋燈の背面に装置する凹面鏡。2. 「てりかへしランプ」の略。
でんりうけい	電流計		名 理 電流の強さを計る器械、正切電流計・電流計・電流計（各条を見よ）…この無定り、見ても直に「アンペア」計といふ。
どういつりつ	同一律	Law of Identity	名 倫 或一つのものとの他の一つのものとの同一なりとすること、即ち肯定の基礎たるもの。
とうかく	統覚	Apperception	名 1. 【哲】自己の心的状態を意識する作用、又、経験的知識を統覚する自己をいふ概念…2. 【心】旧概念が新概念を化して一の体系を形成する作用。
とうけい	統計		名 1. ひきくるめて併せ数ふること。2. [Statistics]同一範囲に属する個々の現象をみつめ、数字計算によりて其状態を表示すること。
どうめいひげ	同盟罷業		名 「ストラキキ」に同じ。
どくご	独語		名 1. 「どくげん」（独言）に同じ。2. 「ドイツ」国のことば。
とつきやう	凸鏡	Convex mirror	名 理 中央の凸起せる鏡、光線これにあたるときは発散するを以て、物体の実像を結ぶことなし。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
どれきせい	土瀝青		名 鉱 石炭の所在地より出づる一種の鉱物、色多くは黒塊をなし、げす、諸種の用に供せらる。一種の鉱物、色黒燃して発臭する。
ナンキンじん	南京人		名 支那人の称。
にくさ	肉叉		名 「ホーク」に同じ。
にくじゆばん	肉襦袢		名 肉色の「シャツ」。
にげんろん	二元論	Dualism	名 哲 宇宙の現象は二個の原諦を立て、一切を演繹する説。
にんしきろん	認識論	Epistemology	名 哲 認識の起源・本質及範囲等に就て研究する哲学、古来論と純理論とに分る。
ねつりやう	熱量		名 理 熱の多少の称、熱量は物質の温度の上昇を以て計るに要する熱量を単位とし、これを「カロリー」といふ。
のうりよくせ	能力説	Faculty theory	名 心 意識の作用は能力といふ実体が意識内にありてこれを用ひられざるもの。誤説として用ひられざるもの。
はいきき	排気機		名 「くうきポンプ」（空気唧筒）に同じ。
はいくわけう	拝火教		名 火を善神の象徴のとして拝する宗教。「ゾロアスター教」。
ばいせう	芒硝		名 化 硫酸「ナトリウム」の称。
ほうていしき	方程式	Equation	名 数 式中の或文字に格段なる値を與ふるときは、相等しきこと成立する等式、例へば $3x + 7 = 13$ 或は $2x^2 + 4xy + 5y^2 - 10 = 0$ の如し。
はくあく	白堊		名 1. 白色の土。しろつち。2. 【化】炭酸「カルシウム」の粉末を固めたる、黒板に書画をかくに用ひらる。
はくきん	白金		名 化 灰白色の貴金属、展性・延性に富み、反高温に於て「ガイ」は酸類等と燃焼し、電極に用ひらる。「プラチナ」。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
はくくわう	白光		名 1. しろく見ゆるひかり。2. 【天】日食の際、太陽の周囲に見ゆる白きひかり。「コロナ」。
はくしゆ	麦酒		名 「ビール」。
はくはつやく	爆発薬		名 物を爆発せしむる火薬、即ち「ダイナマイト」の類。
ばつば			名 タバコ。又、煙管。(小児の語)。
はひから	灰殻		名 「ハイカラ」に同じ。
ばひふう	馬脾風		名 「デフテリア」に同じ。
ばふんし	馬糞紙		名 1. 下等なる唐紙。2. 薬を原料としたる一種の紙、質粗儲にして厚く黄色なり、書籍の表紙又は紙箱などの料に供せらる。ボール紙。
はまき	葉巻		名 「はまきタバコ」の略言。
はやつけぎ	早附木		名 すりつけぎ。「マッチ」。
はやりかぜ	流行風		名 流行性感冒。「インフルエンザ」。
ばれいしよ	馬鈴薯		名 植 「ジャガタライも」に同じ。
はわうじゆ	霸王樹		名 植 「サボテン」に同じ。
はん	反		名 1. うらはら。反対…4. [Antithesis] 弁証法にて、物事若しくは概念が、正より発展して、一の矛盾の状態となること。
ばんいうしんけう	万有神教	Pantheism	名 万有は絶対唯一なる実在の現顕にして、其以外には何物も存在せず、即ち神と万有とは同一体なりと説く教義。
はんいしき	半意識	Subconscious	名 心 現在に於ては認知せられざれど将来に於て意識の現象に入り来るべき意識の内容。
ばんこくくわ	番紅花		名 植 「サフラン」に同じ。
はんさてつがく	煩瑣哲学	Scholasticism	名 「ヨーロッパ」の中世に行はれし哲学、当時一般に「キリスト」教の支配を受け、哲学はただ其教理の真理なることを証明する具となれり。

見出し	漢字表記	原語	出詞野語釈
はんちう	範疇	Category	名 1. 分類。部属。2. 【哲】吾人が外物を認識してこれを概念とする際、必ず執らざるべからざる形式、即ち根本的思维的の形式。
ひていめいだい	否定命題	Negation proposition	名 論 主辞と賓辞との一致を拒否する命題、例へば「人性は善にあらず」「人生は幸福にあらず」の如きこれなり。
ひようくわ	氷菓		名 「アイスクリーム」。
ふうきん	風琴		名 「オルガン」に同じ。
ふうしつ	風疾		名 「リウマチス」。つうふう(風湿)。
ふうつうおり	風通織		名 1. 「モール」の條を見よ。2. 浮織にしたる精好の絹布。
ふくろねずみ	袋鼠		名 動 「カンガルー」の異称。
ふつがく	仏学		名 「フランス」国の語学。
ふつご	仏語		名 「フランス」国の語。
ふようかんりつ	不容間位律	Law of Excluded Middle	名 論 二個の矛盾せる概念の間には、第三者の介立する概念をさざるべからず…は「人性は善なり」といへば、其間には「人性は善にもあらず」…
ぶんげいふこう	文芸復興	Renaissance	名 「ヨーロッパ」暗黒時代の末期即ち十四世紀より十五世紀に互て、「ギリシヤ」及「ローマ」の古文芸の復興せしこと、「イタリア」に始まりて次第に蔓延せり。
ぶんし	分詞	Participle	名 文 動詞体の形容詞、「掃り車」の「掃り」の類。
へんたう	扁桃		名 植 「アmendou」に同じ。
ほうり	鳳梨		名 植 「アナナス」に同じ。
ほふわう	法王		名 1. 孝謙天皇の時、僧道鏡に投げられたる位…2. 「カトリック」教の総首領の称号、…「イタリア」国「ローマ」に居り…「バツバ」。「パウブ」。「ホーブ」。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
ほんいうくわ んねん	本有観念	Innate ideas	名 哲 本来具有する観念。又、直接自明の観念。
みづはじき	水弾		名 空気の圧力を利用して水をひきあぐる器械、即ち「ポンプ」・龍吐水・水鉄砲等の類の称。
むいしき	無意識		名 1.【心】[Unconsciousness]・自我の観念が活動なき状態…例へば睡眠中に於ける意識の状態の如し。2.[Non-voluntary]・意思の選択を離れたる行動の状態、例へば反射運動…
むしめがね	虫眼鏡		名 凸「レンズ」の称、又、顕微鏡の称、微細なるものを見るに用ふるよりいふ。
むじゆんりつ	矛盾律	Law of contradict ion	名 論 一事物を否認若しくは肯定しながら、同時にこれを肯定若しくは否定し得ずといふこと、例へば甲が若し乙ならば非乙なるを得ずといふ類。
むしんろん	無神論	Atheism	名 神といふものゝ存在を否定する論。有神論の対。
むすめ	娘		名 1.女の子。息女。むすこの対。2.をとめ。3.横浜にて、「ラシヤめん」の称。
めいだい	命題	Propositio n	名 論 判断の結果を言辞に表示したるもの、主辞・賓辞及繫辞より成り、二個若しくは二個以上の概念間の関係を判断するもの。
めんぱう	麵包		名 「パン」に同じ。
もうふ	毛布		名 「ブランケット」。「ケット」。
もくせい	木精		名 化 「メチルアルコール」に同じ。
やうきん	洋琴		名 「ピアノ」に同じ。
やうけん	洋犬		名 西洋種の犬。「カメ」。
やうけん	洋剣		名 「サーベル」。
やうざん	洋算		名 「アラビア」数字を使用してなす数学、西洋より伝来したるもの。

見出し	漢字表記	原語	出 詞 野 語 釈
やうたう	洋刀		名 「サーベル」。
やうとう	洋燈		名 「ランプ」。
やきう	野球		名 「ベースボール」に同じ。
ゆめがろん	唯我論	Solipsism	名 哲 認識は吾人の心中に於ける主観的作用に外ならず、吾人の認識は自我及自我の変形にして、其以外は認識し得ずといふ説。又、自己以外に何物の実在せずといふ説。
ゆるしんろん	唯心論	Spirituali sm	名 哲 自然の本質は精神にして、物質的現象も精神的作用に外ならずといふ説。唯物論の対。
ゆるぶつろん	唯物論	Materialis m	名 哲 自然の本質は物質にして、精神的現象も物質的作用に外ならずといふ説。唯心論の対。
ゆるめいろん	唯名論	Nominalism	名 哲 普遍なるものは存在せずただ便宜上の名目に過ぎず真の存在は個物なりといふ説。(名目論)。
らくてんくわ ん	楽天観	Optimism	名 哲 人生及世界は最も善なるものにして最も快樂なりとする見解。
らんがく	蘭学		名 「オランダ」の学問又は其語学。
りうおん	流音	Liquida	名 文 舌を上顎に近づけ、其中間若しくは両側より有声の氣息を通ぜしめて発する音、即ちR・Lこれなり。
りうかうかん ばう	流行感冒		名 「インフルエンザ」に同じ。
りこしゆぎ	利己主義	Egoism	名 自己一身の利益快樂を増進することを行為の目的とする主義。
りたしゆぎ	利他主義	Altruism	名 「あいたしゆぎ」(愛他主義)に同じ。
りやうたうろ んばふ	両刀論法	Dilemma	名 論 仮言命題と選言命題とを使用したる三段論法、大前提に二個の仮言的命題を立て、小前提にこれを選言的に承認し若しくは拒否して断案を得るもの、…
りんだめ	厘揉		名 「レイテング」に同じ。

見出し 漢字表記 原語 出詞野語釈

れいこんせつ 靈魂説 名 物質の外に靈魂の存在することを認め、
する説。又、現象界に於ける一切の事
物は靈魂の作用に外ならずといふ説。

ろくぶんぎ 六分儀 Sextant 名 理 二物体の角距離を計る器械、約六十度
の弧より成る、台の中心に指針と一方に上
動く鉛直の鏡あり、台の縁の一方に「ガ
ラス」板鉛直にして下半は鏡をなす「ガ
ラス」板鉛直に立つ、…

わなてん 輪索天 名 「けきらずビロード」の一名。

